

# 事業報告

(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)



公益財団法人九州経済調査協会  
KYUSHU ECONOMIC RESEARCH CENTER

## 平成 29 年度 事業報告

定款第 5 条に基づき、平成 29 年度は、以下の事業を実施した。(総括)

<p>1. 創立 70 周年記念事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"><li>(1) 九州地域経済と九経調の 70 年史の作成</li><li>(2) 「30 年後に向けた九州地域発展戦略」に関する研究</li><li>(3) 九州・沖縄・山口各県の未来を考えるシンポジウム等の開催</li><li>(4) ビッグデータを活用した新たな情報サービスの提供</li><li>(5) 募金活動の状況</li></ul>
<p>2. 地域経済研究事業</p> <ul style="list-style-type: none"><li>(1) 自主研究事業<ul style="list-style-type: none"><li>①2018 年版 九州経済白書の刊行</li><li>②月報等定期刊行物の発行</li><li>③幹事会からの提案による自主研究</li><li>④その他の事業</li></ul></li><li>(2) 受託研究事業</li><li>(3) 九経調地域研究助成・顕彰事業</li></ul>
<p>3. 講演会・セミナーの開催</p> <ul style="list-style-type: none"><li>(1) 九州・沖縄・山口でのセミナー等<ul style="list-style-type: none"><li>①九州経済白書説明会</li></ul></li><li>(2) 定例の講演会・セミナー<ul style="list-style-type: none"><li>①九経調交流会</li><li>②研究報告会</li><li>③アジア経済講演会</li><li>④調査技法セミナー</li><li>⑤経済講演会</li><li>⑥九経調地域研究助成・顕彰事業研究発表会</li></ul></li><li>(3) BIZCOLI でのセミナー・イベント<ul style="list-style-type: none"><li>①イブニングセミナー</li><li>②共催セミナー</li><li>③経営・スキルアップセミナー</li><li>④地域応援セミナー</li><li>⑤九州国立博物館応援セミナー</li><li>⑥サイエンスカフェ</li><li>⑦ビズコリクラブ</li><li>⑧文化セミナー</li><li>⑨アートイベント</li><li>⑩ビズコリテック</li><li>⑪新しいまちづくりセミナー</li><li>⑫アフタヌーントーク (旧・女性セミナー)</li></ul></li><li>(4) 外部主催の講演会・セミナーへの協力</li></ul>
<p>4. 経済図書館 (BIZCOLI) 事業</p> <ul style="list-style-type: none"><li>(1) BIZCOLI の利用状況</li><li>(2) 企業・団体との共同展示</li></ul>

5. 経済団体等支援事業

- (1) 福岡経済同友会からの事務局受託
- (2) 九州経済を考える懇談会の共同事務局
- (3) 地域政策デザイナー養成講座の事務局
- (4) 九州水フォーラム 2017 の事務局

6. 社会貢献活動等

- (1) 審議会・委員会への委員派遣
- (2) 大学への非常勤講師の派遣
- (3) テレビ・ラジオ等への出演
- (4) 新聞・雑誌等への寄稿・コメント掲載

7. 運営基盤の拡充

- (1) 会員数の維持・拡充
  - ①賛助会員 ②BIZCOLI 会員
- (2) 理事会、評議員会、幹事会の開催
- (3) 研究員の育成

## 1. 創立 70 周年記念事業の実施

### (1) 九州地域経済と九経調の 70 年史の作成

地域の未来を考える一助とするために、終戦から 70 年間の九州・沖縄・山口の経済社会と当会の創立から現在までをふりかえる「九経調 70 年のあゆみ -九州・沖縄・山口とともに-」の刊行の準備を進めた。年表や図表の作成、過去の研究レポート・記録写真の収集整理、関係者へのインタビュー等の作業を行った。

### (2) 「30 年後に向けた九州地域発展戦略」に関する研究

平成 28 年度に引き続き、テーマに応じて、当該分野の識者を招聘しての未来セミナーを開催し、30 年後の未来に関する情報収集に努めた。平成 29 年 11 月には、金沢大学の林准教授らを招聘し「撤退の農村計画」について開催した。12 月には一橋大学の久保准教授による「文化人類学からみた人間と AI・ロボットの近未来」、平成 30 年 2 月には西南学院大学の本間教授らを招聘し「日本の農業の 30 年後を問う～新たな食料産業の構築に向け」を開催した。

このような研究会や文献調査と統計分析、ヒアリング調査を進め、【総論】【各論（地域編）】【各論（産業編）】の 3 部構成としてとりまとめる予定である。

#### ① 「30 年後に向けた九州地域発展戦略」構成案

##### **【総論】**

##### **I メガトレンド(大潮流)**

- |                          |                        |
|--------------------------|------------------------|
| 1. 人口減少・少子高齢化の進展         | 3. 成熟化する東アジア           |
| 2. データ主導型社会(AI・ロボット等)の到来 | 4. 世界的な自然災害/気候変動リスクの増大 |

##### **II 九州が直面する危機、乗り越えるべき課題**

- |                                   |                |
|-----------------------------------|----------------|
| 1. 産業活動への影響                       | 4. 成熟する東アジアと九州 |
| 2. 消費市場への影響                       | 5. 地方・地域自治への影響 |
| 3. モビリティの変化とネットワーク<br>インフラストラクチャー |                |

##### **III 九州発展のポテンシャル**

- |                                 |                    |
|---------------------------------|--------------------|
| 1. 人口減、データ主導型社会の到来に対する<br>発想の転換 | 4. 九州発新素材の可能性      |
| 2. 教育改革による職業人材育成のポテンシャル         | 5. グローバルリスクに対する耐性力 |
| 3. “成熟したアジア”に近い九州の好機            |                    |

##### **IV 2045 年への戦略と実現へのファーストステップ**

1. 小括～めざすべき姿
2. 戦略、戦略実現へのステップ

##### **【各論(地域編)】**

- |           |                 |
|-----------|-----------------|
| 1. 都市     | 3. 広域ネットワークのあり方 |
| 2. 農山漁村空間 |                 |

## 【各論(産業編)】

- |            |            |
|------------|------------|
| 1. 農業      | 7. 観光産業    |
| 2. 水産業     | 8. 情報サービス業 |
| 3. 製造業     | 9. 航空・宇宙産業 |
| 4. 建設業     | 10. 海洋産業   |
| 5. 医療・介護   | 11. 水ビジネス  |
| 6. 流通・サービス |            |

## ②九経調未来セミナー（計3回）

九経調未来セミナーは30年後の九州を考えるセミナーである。今年度は山間地や農業、ロボットをテーマに3回開催した。

回・日時・会場	テーマ	講師	参加者数
第6回 11月2日(木) アクア博多	撤退の農村計画「少し引いて勝機を待つという考え方」 無居住化に向き合う住民：京丹後市の事例	金沢大学人間社会研究域人間科学系 准教授 林直樹氏 特定非営利活動法人 TEAM 旦波（たにわ） 佐々木哲平氏	42人
第7回 12月11日(月) 電気ビル共創館	文化人類学からみた人間とAI・ロボットの近未来	一橋大学大学院社会学研究科 准教授 久保明教氏	51人
第8回 2月2日(金) ホテルニューオータニ博多	日本の農業の30年後を問う ～新たな食料産業の構築に向けて 民間農業ビジネススクール AGSA の挑戦	西南学院大学経済学部教授・東京大学名誉教授 本間正義氏 (株)アグリガーデンスクール&アカデミー 代表取締役社長 堂脇広一氏	67人

## (3)九州・沖縄・山口各県の未来を考えるシンポジウム等の開催

大分、佐賀、宮崎の3都市で開催した。地域の特徴や課題にあわせて、観光・サービス業の活性化やICTの活用、コンパクトシティをテーマとして取り上げ、多くの方に参加頂いた。

日時・会場 共催機関	テーマ	講師	参加者数
【大分】 6月8日(木) 大分オアシスタワーホテル (株)大分銀行、(株)大銀経済経営研究所	未来をつくるイノベーション 観光・サービス産業の成長と発展～生産性向上がもたらすもの	「観光・サービス産業の成長と発展」 ＜基調講演＞：一橋大学イノベーション研究センター特任教授/ 法政大学大学院教授/日本元気塾塾長 米倉誠一郎氏 ＜パネルディスカッション＞ ジャクール(株) 代表取締役 後藤玄利氏 モバイルクリエイイト(株) 代表取締役 村井雄司氏 (一財)日本経済研究所 専務理事 鍋山徹氏 当会 調査研究部 片山次長	124人

<b>【佐賀】</b> 11月30日(木) マリトピア (株)佐賀銀行	ICTの進化によって社会はどう変わるのか  “ICT活用先進県佐賀”の未来を探る	「“ICT活用先進県佐賀”の未来を探る」 <基調講演>: アクセンチュア(株) 取締役相談役 程近智氏  <パネルディスカッション> 木村情報技術(株) 代表取締役 木村隆夫氏 (株)オプティム 取締役 友廣一雄氏 佐賀大学 理事・副学長 寺本憲功氏 アクセンチュア(株) 取締役相談役 程近智氏	102人
<b>【宮崎】</b> 2月22日(木) 宮崎観光ホテル (株)宮崎銀行、 (一財)みやぎん経済研究所	未来の年表～人口減少宮崎でこれから起きること  宮崎県ならではの戦略的コンパクトシティとは	「戦略的に創るコンパクトシティ」 <基調講演>: 産経新聞社論説委員 河合雅司氏 <トークセッション> NHK報道局チーフプロデューサー 大鐘良一氏 (一財)みやぎん経済研究所 杉山智行氏	150人

#### (4) ビッグデータを活用した新たな情報サービスの提供

昨年度に引き続き、①ビッグデータの活用による早期かつ精緻な県別景気動向の提供サービスと、②位置情報ビッグデータの活用によるインバウンド観光の1kmメッシュ単位での経済効果情報の提供サービス、③宿泊予約サイトwebデータ等を用いた宿泊施設の日次稼働予測システムの開発に向けて作業を進めた。

①については、物流関連企業との間でデータ活用に関する協議を行い、九州大学情報基盤研究開発センターのサーバーを活用しながら、ビッグデータの分析手法の確立に向けて作業を進めた。

②については、1kmメッシュ単位での宿泊消費額の推計を目指し、宿泊予約サイトを活用して全国の宿泊ビッグデータ収集を開始した。

③については、長崎大学と早稲田大学との共同研究により、福岡県を中心に複数の宿泊施設の参加を得て、宿泊商品売上予測システムと収益管理システムの開発を進めた。

最終的には、これらの3つのシステムと、システム構築で活用する民間企業の未利用ビッグデータや行政のオープンデータを統合したデータベースを作成・公開し、九州の経済動向を一元化したデジタルデータのプラットフォームの構築を目指している。

#### (5) 募金活動の状況

平成29年度末時点の募金活動の状況は次のとおりである。

- ・ 募金目標額 1億円
- ・ 募集期間 平成28年4月1日～平成32年3月31日
- ・ 依頼先数 70社
- ・ 寄附承諾 59社/1億220万円

## 2. 地域経済研究事業

### (1) 自主研究事業

自主研究事業では、「①2018年版 九州経済白書の刊行」「②月報等定期刊行物の発行」「③幹事会からの提案による自主研究」を中心に取り組んだ。

#### ①2018年版 九州経済白書の刊行

##### 『スマホ時代の新しい消費と流通』 平成30年2月 刊行

九州経済白書は、2月1日に「スマホ時代の新しい消費と流通」のタイトルで公表。九州・沖縄・山口12会場にて説明会を実施し、計875名に会場いただいた。

2010年代のスマホの普及に象徴される「多くの情報を、いつでも、どこでも、手軽に扱える」ことを通じた環境と社会の変化を「スマホ時代」の到来と位置づけ、人口減少とスマホ時代の到来が、消費と流通に与えるインパクトについて検討した。統計分析やアンケート調査、ヒアリング調査をもとに、スマホ時代の新しい消費と流通に対応していく上では、人材の確保と育成、データ経営の導入、感動体験を通じた売り手と買い手の関係性の深化がキーワードとなることを指摘した。

#### ②月報等定期刊行物の発行

##### 1) 九州経済調査月報

上期は社会的関心の高いテーマの特集化に力を入れ、シェアリングビジネス（7月号）や地方創生を意識した地域ブランディング（8月号）、九州の文化芸術（9月号）にも取り組んだ。下期は恒例の九州経済の見通しに加え、人口減の中で地域の持続可能性を維持する上で重要となるテーマに重点を置いた。例えば、11月号は国内外で需要が増大する一方で担い手不足や再造林問題が顕在化する森林・林業・木材産業を特集した。3月号では「居住地域の高齢化対応」特集として、山間地とニュータウンを対象に高齢化対応のむら・まちづくりについて提言している。

7月号の「“民泊”解禁による地域経済への影響の展望」、9月号の「都道府県別文化産業の経済規模の推計」、3月号の「ニュータウン地域における高齢化の現状」には、特に大きな反響が寄せられた。

5月号 4月28日 (金) 発行	<b>特集 九州の地域研究</b> (Report) 2016年度九経調地域研究助成・顕彰事業概要と審査結果、研究発表会 潜在的就業女性達のキャリア開発が創業拡大にもたらす社会的価値の試算 ユニバーサルデザインが生み出す市場と経済性 「着地型観光」による離島・半島の地域活性化と次世代モビリティが果たす 役割についての検討
6月号 6月2日 (金) 発行	<b>特集 人口減少下の教育機関再編</b> (Report) 九州における小中学校の再編状況 人口減少・少子化の下で地域密着化する高校・大学の現状 (One point) 2040年までの九州・山口の人口構造の変化と高齢化
7月号 6月30日 (金) 発行	<b>特集 シェアリングビジネス</b> (Report) シェアリング市場の拡大とビジネス・チャンス “民泊”解禁による地域経済への影響の展望～福岡市を例に (連載) アグリプレナーの実践 (16) 地域農業の全てを引き受ける受け皿づくり 価値創造の源流 (39) 西日本技術開発㈱
8月号 8月1日 (火) 発行	<b>特集 地域ブランディング</b> (Report) 「一村一品運動」が示唆する地方創生と地域ブランディング 九州における地域製品のブランド化に向けた動向 (連載) 価値創造の源流 (40) 石橋工業㈱
9月号 9月1日 (金) 発行	<b>特集 九州の文化芸術</b> (Report) 歴史・文化を通じた地方創生～「かるた」によるシビックプライドの醸成 都道府県別文化産業の経済規模の推計 地域における博物館について～文化の有する経済的効果をめぐって (連載) 九経調創立70周年事業 大分県の未来を考えるシンポジウム 観光・サービス産業の成長と発展～生産性向上がもたらすもの 九州の文化・芸術 (1) よみがえった馬人形～宇賀神社の取り組み アグリプレナーの実践 (17) 効率的なビニールハウスでパブリカの国内栽培を実践
10月号 10月3日 (火) 発行	<b>特集 九州の景気を読む</b> (Report) 2017年度九州経済の見通し (改訂) 景気トピックス (One point) 産業のボーダーを彷徨う「その他」サービス産業の存在感と成長力 (連載) 価値創造の源流 (41) エネフォレスト㈱
11月号 10月31日 (火) 発行	<b>特集 転換期を迎えた森林・林業・木材産業</b> (Report) 木材需要拡大期における九州の原木流通構造の変化 九州の再造林問題 森林経営計画策定の地域性と制度課題～認定率と計画種類について (連載) 価値創造の源流 (42) 竹下産業㈱ (柳川市)
12月号 12月1日 (金) 発行	<b>特集 九州の不動産</b> (Report) 九州の土地取引の変化 福岡のオフィスマーケット動向～極端な供給不足の招いた未曾有の低空室率時代 (One point) 民泊施設への不動産投資収益を左右する条例制定進捗状況 (連載) 九州の文化・芸術 (2) 世界文化遺産・三角西港 デザイン思考で会社を変える! (1) 知財情報を活用したビジネス戦略、ブランド戦略

1月号 12月27日 (水) 発行	<b>特集 九州の新たな1年</b> (Report) 2018年九州の論点 (連載) 第85回 イブニングセミナー講演録 山奥の小さな旅館が連日外国人客で満室になる理由 九州今昔物語(7) 山の中の海軍のまち 人吉球磨～錦町所在人吉海軍航空 基地跡の保全と活用の取り組み デザイン思考で会社を変える!(2) 知財の強みを最大化して可視化するビジネス モデルキャンパスの活用
2月号 1月31日 (水) 発行	<b>特集 九州経済の見通し</b> (Report) 2018年度九州経済の見通し 4年連続のプラス成長 平成29年度 経済講演会 講演録 地域再生と日本経済 (連載) 九州の文化・芸術(3) 天草陶磁器 デザイン思考で会社を変える!(3) デザイン企業力プログラムを考える座談会
3月号 3月5日 (月) 発行	<b>特集 居住地域の高齢化対応</b> (Report) 「わからない」からはじまる山間地の保険的なむらづくり ～死守でも諦めでもない第三のむらづくり ニュータウン地域における高齢化の現状 九経調創立70周年記念事業 九経調未来セミナー 講演録 無居住化に向き合う住民たち:京丹後市の事例 (連載) デザイン思考で会社を変える!(4) 「デザイン企業力養成プログラム」構想
4月号 4月5日 (木) 発行	<b>特集 災害への備え</b> (Report) ため池の減災、防災に必要なこと ～ ICTを用いたため池水位監視・予測への取り組み くまもとアトポリスを礎とした「痛みを最小にする」仮設住宅 九経調創立70周年事業 佐賀県の未来を考えるシンポジウム “ICT活用先進県佐賀”の未来を探る (連載) アグリプレナーの実践(18) 門川町高濃度トマト部会が目指す反収1,000万円の 農業

## 2) データ九州 (九州経済調査月報付録)

データ九州は、月報付録として1年に4回発行している。8月号では7年ぶりに「九州・山口市町村財政ランキングー市町村別決算状況 2005・2015年度ー」を発表し、10月号で「九州・山口の設備投資 2017 上半期 (1～6月)」、3月号で「九州・山口の海外進出」、4月号で「九州・山口の設備投資 2017 下半期 (7～12月)」についてとりまとめた。

8月号	データ九州 (№1160)	「九州・山口市町村財政ランキングー市町村別決算状況 2005・2015年度ー」
10月号	データ九州 (№1161)	「九州・山口の設備投資 2017 上半期 (1～6月)」
3月号	データ九州 (№1162)	「九州・山口の海外進出」
4月号	データ九州 (№1163)	「九州・山口の設備投資 2017 下半期 (7～12月)」

### 3) 2018年版 図説九州経済

九州・山口の経済を、図表やデータで分かりやすく解説したもので、毎年1回刊行している。2018年版は、冒頭の「九州経済サマリー」に図表を挿入することで、内容の充実とわかりやすさを向上させた。また、前年度に続き、前半の解説部分に、統計編の関連ページを記載することによりデータの照合を容易にした。

『2018年版 図説九州経済』

平成29年10月19日刊行

### 4) メールマガジン（九経調ニュースレター）

九州・山口におけるビジネスの動きをヘッドライン形式で配信する「KYUSHU BUSINESS HEADLINE」を月2回配信した他、当会主催・共催のセミナーや当会刊行物の案内を配信した。

メールマガジン配信件数143件（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

### ③幹事会からの提案による自主研究

幹事会からの提案を受け、今年度は「ITSが拓く地域経済活性化（仮題）」をテーマに自主研究を行った。調査対象を「物流」に絞り、当該分野における安全運行と労務改善、幹線輸送と末端輸送の効率化に寄与するITS活用方策を調査し、地域独自のITS活用方策を具体策に提案した。「アジア太平洋地域ITSフォーラム」（平成30年5月8～10日開催）にて成果報告を行った。

#### ◆『ITSが拓く地域経済活性化（仮題）』報告書構成

はじめに

第1章 我が国におけるITSの現状と地域活性化の方向性

第2章 物流事業者の労働環境改善と安全運行支援

第3章 物流シェアリングによる幹線輸送効率化

第4章 交通・配送インフラ情報の統合による末端輸送効率化

おわりに

### ④その他の事業

地方銀行調査担当部長会議、地方シンクタンク協議会に参加する他、国内外の主要会議への協力、国の出先機関や自治体幹部等との意見交換会などを行っている。

#### 1) 九州・山口地方銀行調査担当部長会議

昭和42年度より毎年2回、九州・沖縄・山口の地方銀行や系列シンクタンクの部長級が集まり、各地の情勢報告と情報交換を行っており、平成29年度も同様に実施した。

日程	会議名	テーマ	講師・参加者	参加人数
7月13日 (木)	九州・山口地方銀行調査担当 部長会議(佐世保)	「地域課題解決に向けたIoT技術の活用について」	岡野部長(講演)	15人
12月7日 (木)	九州・山口地方銀行調査担当 部長会議(沖縄)	「道を生かす～既存道路ストックの活用のために」	岡野部長(講演)	11人

加盟機関

㈱FFG ビジネスコンサルティング	(公財)地方経済総合研究所	㈱りゅうぎん総合研究所
㈱ちくぎん地域経済研究所	㈱大銀経済経営研究所	㈱おきぎん経済研究所
㈱佐賀銀行総合企画部	(一財)みやぎん経済研究所	(一財)山口経済研究所
㈱長崎経済研究所	㈱九州経済研究所	(公財)九州経済調査協会

## 2) 地方シンクタンク協議会

当会は地方シンクタンク協議会に加盟しており、3回の会合に参加した。6月の会合では、当会は「福岡市の屋台問題の解決に向けての考察」を発表した。なお、九州・沖縄ブロックでは、今年度から(一財)南西地域産業活性化センターが加盟した他、1機関が退会した。

日程	会議名	テーマ	講師・参加者	参加人数
6月7日 (水)	総会・研究事例発表会・交流会(ちくぎん福岡ビル)	「福岡市の屋台問題の解決に向けての考察」	八尋部長(報告者) 田中副部長	13人
11月22日 (水)	意見交換会(筑邦銀行八女支店)	「地域資源を活かした観光まちづくり」	八尋部長、田中副部長	10人
3月15日(木)	若手研究員交流会(ちくぎん福岡ビル)	「北九州フィルム・コミッションの取り組みについて」	八尋部長、田中副部長	15人

九州・沖縄ブロック加盟機関

㈱よかネット	(公財)福岡アジア都市研究所	㈱ちくぎん地域経済研究所
(一財)南西地域産業活性化センター	(公財)九州経済調査協会	—

## 3) 国内主要会議、国際会議、意見交換会等

日程	会議名	テーマ	講師・参加者	参加人数
5月31日(水)	釜山・福岡の交流拡大に向けたシンポジウム [韓国:釜山広域市]	韓日間の連携を通じた人材の育成及び活用	高木理事長、加峯次長、大谷次長(報告)	46人
8月29日(火) ～9月1日(金)	Open Living Lab Days 2017 in Krakow the 8 <sup>th</sup> edition [ポーランド:クラクフ]	Multiple Helix Innovation without Boundaries	原口研究員	300人
8月30日(水) ～31日(木)	日韓海峡圏研究機関協議会 総会・研究会[嬉野市]	少子高齢化への対応II	高木理事長、大谷次長 (指定討論者)	41人
9月1日(金) ～2日(土)	第12回福岡・釜山フォーラム、福岡会議2017[福岡市]	全体テーマ「福岡・釜山を起点とした日韓パートナーリング」	高木理事長(第3セッション報告)、加峯次長	70人
9月9日(土)	日中国交正常化45周年シンポジウム[中国:長春市]	クルーズトレイン“ななつ星”と観光列車による地域創生	大谷次長(報告)	60人

## (2) 受託研究事業

平成 29 年度の受託研究として計 52 本のプロジェクトに取り組んだ。

内閣府による「地域別支出総合指数 (RDEI)」は、全国の県別月別 GDP の算出・発表をするもので、内閣府から全国に参考値が発表されている。同様に、景気ウォッチャー調査は、全国調査の九州担当となっており、景気動向分析に継続的に取り組んでいる。

また、地方創生関連では観光や林業などで具体的な事業化支援を行った。産業振興関連では、エネルギー分野と観光分野の調査が多く、医療・福祉分野では、地域包括ケアのモデルづくりや、IoT を活用したヘルスケア分野の産業づくり・しくみづくりに取り組んだ。

その他、港湾や幹線道路といった社会インフラの将来ビジョンづくり、人手不足の解消を企図した各種の雇用・人材関連調査にも取り組んだ。

### 「環黄海経済・技術交流大賞」の受賞

当会は、11 月 30 日に「環黄海経済・技術交流大賞」を受賞した。この賞は、環黄海地域内で先進的・模範的な取り組みを行う団体や企業等を、日中韓の三国共同で表彰するものである。受賞のきっかけとなったのは、平成 28 年度の日中韓における再生可能エネルギーに関する調査だったが、当会が 1990 年代から環黄海経済圏の研究を行ってきたことも評価された。

### 【分野別受託研究一覧】

(統計作成・分析)		
1	地域別支出総合指数(RDEI)の作成・分析・検証業務	内閣府 政策統括官 (経済財政分析担当) 付 参事官室
2	福岡市シティプロモーションサイトコンテンツデータ作成支援業務	㈱クープス
3	唐津地域短観作成支援業務	唐津市
4	景気ウォッチャー調査 (九州地域)	三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング㈱ (内閣府)
(地方創生)		
5	にしきまると創造プロジェクト運営支援業務	錦町企画観光課
6	森林資源流通実態調査業務	日田市
7	壱岐市生涯活躍のまち基本指針・実施計画策定業務(人口及び移住定住に係るデータ分析業務)	福岡地域戦略推進協議会 (FDC)
(地域振興)		
8	筑後川における上下流関係についての調査分析業務	(公財)筑後川水源地域対策基金
9	久留米市新総合計画次期基本計画基礎調査業務	久留米市
10	九州経済を考える懇談会	(一財)九州地域産業活性化センター
11	地域政策デザイナー養成講座支援事業	地域政策デザイナー養成講座実行委員会
(産業振興)		
①環境・資源エネルギー		
12	太陽光発電設備保守点検事業者データベース作成業務	福岡県
13	K-RIP 環境エネルギー研究会の運営支援・業務請負	(一財)九州産業技術センター
14	平成 29 年度地域中核企業創出・支援事業(太陽光発電の 3R 事業化促進事業)	九州経済産業局

15	地域中核企業支援事業	(一財)九州地域産業活性化センター
16	福岡県再生可能エネルギー導入支援システムに係るデータ更新業務	福岡県エネルギー政策室
17	自然エネルギーの普及と促進に係る事業(グリーン電力基金事業)	九州環境エネルギー産業推進機構
18	スマート保安プラットフォーム FS 調査	(一社)OSTi
②観光		
19	うきは市森林・温泉連携による健康産業創出事業業務委託	うきは市
20	福岡県観光動態調査業務	福岡県商工部観光局
21	波照間島における大型宿泊施設の実現可能性調査	竹富町政策推進課
22	総合特別区域事後評価書等の作成支援業務	(一社)九州観光推進機構企画部
23	平成 29 年クルーズ船寄港地観光実態調査	福岡市
24	八代港におけるクルーズ船寄港地ツアー実態調査事業	熊本県商工観光労働部
25	宿泊施設誘致の方向性等検討業務委託	福岡市経済観光文化局
26	日本遺産「関門」ノスタルジック"海峡" マーケティング調査業務	関門海峡日本遺産協議会
③農林水産・食料品		
27	県内中山間地域における農業集落等実態調査	熊本県農林水産部
28	輸出向け農産物開発・ブランド化に向けたアジアでの実態調査事業に関する役務請負	九州経済産業局
29	農業分野における IoT ニーズ調査・ワークショップ業務	(公財)福岡県産業・科学技術振興財団
④医療・福祉		
30	高齢社会課題解決に向けた共創拠点の構築	(国研)科学技術振興機構
31	平成 29 年度福岡市地域包括ケアシステム推進事業支援業務委託	福岡市保健福祉局
32	生活支援サービス創造事業支援業務委託	(社福)福岡市社会福祉協議会
33	健康日本 21 福岡市計画中間評価報告書作成支援業務	福岡市保健福祉局
34	IoT を用いた運動行動変容のためのプログラム開発：フレイルの観点から	(国研)日本医療研究開発機構
35	ICT を活用した地域の見守り活動モデル事業についての報告書作成業務委託	福岡市保健福祉局
⑤新産業・新技術		
36	学研 2 期「大学・関連施設地区」土地利用検討業務委託	北九州市産業経済局
37	平成 29 年度九州地域ものづくり中小企業事業化支援事業(技術開発戦略策定)	九州経済産業局
⑥流通		
38	飯塚市地方卸売市場等施設整備基本構想策定支援業務委託	飯塚市経済部
(社会資本)		
39	平成 29 年度九州管内における物流ネットワーク検討業務	パシフィックコンサルタンツ(株)(九州地方整備局)
40	平成 29 年度アジアとの貨物輸送における九州港湾の活用に関する情報把握業務	九州地方整備局物流企画室
41	福岡都市圏の道路ネットワークの地域経済・産業に与える影響調査	九州地方整備局福岡国道事務所
42	平成 29 年度ウォーターフロント地区再整備に伴う効果等に関する検討業務委託	福岡市住宅都市局
43	次期物流拠点化戦略基本方針策定事業にかかる予備調査	北九州市港湾空港局
(雇用・人材育成等)		
44	平成 29 年度生涯現役促進地域連携事業 小売業事業所ヒアリング支援及び企業ニーズの把握・分析業務委託	(公社)福岡県雇用対策協会

45	平成 29 年度食料品製造業における事業所アンケート調査支援業務委託	福岡県雇用対策協会
46	福岡県プロフェッショナル人材戦略拠点事業 成果検証業務	福岡県商工部
47	職業教育の効果測定調査	九州大学教育学部
48	女性の活躍推進福岡県会議 調査部会アンケート設計・調査集計・分析業務	NPO 法人ママワーク研究所
(行財政)		
49	アイランドシティにおける税収効果に係る調査業務委託	福岡市港湾空港局
(その他)		
50	福岡市文化芸術振興ビジョン改定にかかる調査・検討業務委託	福岡市経済観光文化局
51	平成 29 年度政策金融評価の支援業務	沖縄振興開発金融公庫
52	The 17th International Workshop on Microelectronics Assembling and Packaging	アジア半導体機構 (ASTSA)

### (3) 九経調地域研究助成・顕彰事業

九経調地域研究助成・顕彰事業は、九州の地域浮揚のための知恵やアイデア、人材を発掘するために、平成 26 年度から溝江建設(株)の支援を受けて実施している。

助成事業については、6 月 15 日～7 月 14 日の応募期間に 20 本の申請があり、8 月 8 日に開催した「九経調地域研究助成・顕彰委員会」で 5 本の助成先候補を選定した。顕彰事業については平成 30 年 2 月 20 日に、助成した 5 本の論文と自由応募の 2 本、合計 7 本の論文を審査し、みぞえ賞（最優秀賞）、溝江建設賞（優秀賞）、奨励賞を決定。3 月 14 日（水）に各賞の顕彰と研究発表会を開催した。なお、各賞の受賞者には、溝江建設(株)より副賞を贈呈した。

#### ■九経調地域研究助成事業 審査結果

	テーマ	申請者・研究代表者	助成額
1	災害派遣時における保育支援	航空自衛隊築城基地 蓮池勢津子	20 万円
2	1 人のスタープレイヤーより、100 人の普通の母ちゃんプレイヤー～地方都市でのこれからはたらき方・暮らし方の提案～	糸島女性支援プロジェクト 佐藤倫子	20 万円
3	北九州・八幡の薬剤師と医師らによる地域一体型在宅看取りへの挑戦	九州国際大学現代ビジネス学部 江本伸哉	20 万円
4	外国人留学増加地域における多様性を活かした地域づくりのあり方についての研究 ―福岡市南区塩原地区を事例として―	九州大学大学院芸術工学府 宮寄 慧	20 万円
5	八女市予約型乗合タクシーの事業性及びライドシェアの実装可能性に関する研究	九州大学大学院芸術工学府 吉岡智哉	20 万円

## ■九経調地域研究顕彰事業 審査結果

対象、審査	テーマ	受賞者	副賞
みぞえ賞 (最優秀賞)	災害派遣時の保育支援	航空自衛隊築城基地 蓮池勢津子	30万円
溝江建設賞 (優秀賞)	八女市予約型乗合タクシーの評価 運用実績の分析・その他地域交通政策事例との比較より	九州大学大学院芸術工学府 吉岡智哉	10万円
奨励賞	多文化共生に向けた歩み寄り ー福岡市南区の縁むすび事業を事例としてー	九州大学大学院芸術工学府 宮寄 慧	高級ボールペン
	発達障害者の就労支援から始まる新しい九州の未来像 に向けた提案～自己肯定感を醸成する企業が集うイン クルージョン社会～	九州大学大学院経済学府産業 マネジメント専攻 田中芳彦	

注) 受賞者の所属・役職は平成 30 年 3 月 27 日時点

## ■九経調地域研究助成・顕彰委員会 委員

	氏名 (敬称略)	所属	役職	備考
1	川崎隆生	(株)西日本新聞社	会長	民間
2	山岐真作	(株)日本政策投資銀行	九州支店長	民間
3	安浦寛人	九州大学	副学長	大学
4	松田美幸	福津市	副市長	公共
5	高木直人	(公財)九州経済調査協会	理事長	主催者

## ■九経調地域研究助成・顕彰事業スケジュール

	テーマ
6月～7月14日(金)	平成29年度 研究テーマの募集
8月8日(火)	九経調地域研究助成顕彰委員会開催。助成先を選定 (書面理事会で承認) (平成30年1月31日 論文提出締切り)
2月20日(火)	九経調地域研究助成顕彰委員会開催。最優秀賞(みぞえ賞)、優秀賞(溝江建設賞)、奨励賞を選定(3月9日 理事会で承認)
3月14日(水)	研究発表会を開催し、顕彰論文を表彰(於:西鉄グランドホテル)。来場者176人

## 3. 講演会・セミナーの開催

当会では、研究成果を広く伝えるために、定例の講演会やセミナーを各地で開催している。また、BIZCOLI では多様なテーマで定期的にセミナーを開催している。平成 29 年度の九経調主催による講演会・セミナーは、合計 61 回であった。

### (1) 九州・沖縄・山口でのセミナー等

#### ①九州経済白書説明会 (計 12 回)

九州経済白書「スマホ時代の新しい消費と流通」の刊行後、九州・沖縄・山口の 12 都市で開催した。

地区	日時	会場	共催・後援機関	説明者	参加者数
福岡	2月13日 (火)	FFGホール (福岡銀行本店地下)	(株)ふくおかフィナンシャルグループ 福岡商工会議所 (株)FFGビズネスコンサルティング	大谷次長	152人
北九州	2月26日 (月)	FFG北九州本社ビル	(株)ふくおかフィナンシャルグループ (一社)西日本工業倶楽部 北九州商工会議所 (株)FFGビズネスコンサルティング	岡野部長	62人
久留米	3月6日 (水)	筑邦銀行本店 3階大ホール	(株)筑邦銀行 久留米商工会議所 (株)ちくぎん地域経済研究所	岡野部長	100人
佐賀	2月27日 (火)	佐賀銀行本店8階	(株)佐賀銀行	大谷次長	52人
長崎	2月21日 (水)	十八銀行本店 10階会議室	(株)十八銀行 (株)長崎経済研究所	大谷次長	50人
佐世保	3月1日 (木)	FFG佐世保ビル 4Fセミナールーム	(株)ふくおかフィナンシャルグループ (株)親和銀行 佐世保商工会議所 (株)FFGビズネスコンサルティング	岡野部長	24人
熊本	2月20日 (火)	肥後銀行熊本駅前支店 セミナールーム くまもと森都心プラザ2階	(株)肥後銀行 (公財)地方経済総合研究所 熊本経済同友会	大谷次長	76人
大分	3月13日 (火)	大分銀行 宗麟館	(株)大分銀行 (株)大銀経済経営研究所	大谷次長	107人
宮崎	3月23日 (金)	第一宮銀ビル	(株)宮崎銀行 (一財)みやぎん経済研究所	大谷次長	81人
鹿児島	3月7日 (水)	鹿児島中央ビルディング8階	(株)鹿児島銀行 (株)九州経済研究所	大谷次長	55人
沖縄	2月19日 (月)	ダブルツリー by ヒルトン 那覇首里城 守礼の間	(株)沖縄銀行 (株)おきぎん経済研究所	大谷次長	58人
山口	3月16日 (金)	シーモールパレス	(株)山口銀行 (一財)山口経済研究所	岡野部長	58人

## (2) 定例の講演会・セミナー

### ①九経調交流会 (1回)

当会の会員各位との交流を目的に毎年開催している。平成29年度は、224人の参加があった。

日程	テーマ	講師	参加者数
2月9日 (金)	〈インターネット〉の次に来るもの～未来の考え方	関西大学客員教授 服部桂氏 翻訳者	224人

### ②研究報告会 (1回)

九経調幹事会終了後に、前年度の幹事会提案の自主研究について研究報告会を開催している。平成29年度は、「道を生かす～九州の道路ストック活用調査～」をテーマに研究報告会を開催した。

日程	テーマ	講師	参加者数
7月20日 (木)	道を生かす～九州の道路ストック活用調査～	当会 調査研究部 藤井次長	105人

### ③アジア経済講演会（1回）

昭和37年以来、アジア経済研究所との共催で毎年開催している。平成29年度は、ASEAN地域で急成長する環境産業をテーマに開催した。

日程	テーマ	講師	参加者数
9月13日 (水)	ASEAN 共同体における環境問題への取り組みと環境ビジネス	ジェトロ・アジア経済研究所 新領域研究センター上席主任調査研究員 小島道一氏	43人

備考) ジェトロ・アジア経済研究所、ジェトロ福岡、当会の三者共催

### ④調査技法セミナー（2日間開催。1回）

九州・山口の地方銀行系シンクタンク研究者を主な対象とした勉強会を毎年開催している。平成29年度は、九州経済のアウトルック（概観）、景気分析と経済指標、九州の観光産業など統計を広く活用した調査技法の他、観光産業をテーマにワークショップの理論と実践を学ぶプログラムを組んだ。

日程	内容	講師
8月22日 (火)	九州経済のアウトルック	当会 調査研究部 大谷次長
	景気分析と経済指標	当会 調査研究部 柿野研究員
	九州の観光産業	当会 調査研究部 島田研究主査
8月23日 (水)	ワークショップとは	当会 調査研究部 南主任研究員
	実践 ワークショップ（九州観光の未来）	当会 調査研究部 南主任研究員、原口研究員

注1) 自主研究・事業基金を活用した事業

参加機関

(株)FFG ビジネスコンサルティング	(株)長崎経済研究所	(株)鹿児島銀行
(株)NCB リサーチ&コンサルティング	(株)肥後銀行	(株)りゅうぎん総合研究所
(株)北九州経済研究所	(株)大銀経済経営研究所	(一財)山口経済研究所
(株)ちくぎん地域経済研究所	(一財)みやぎん経済研究所	(公財)九州経済調査協会

### ⑤経済講演会（1回）

明治大学政治経済学部准教授飯田泰之氏を招いて、「地域再生と日本経済」をテーマに、(株)ふくおかフィナンシャルグループとの共催で開催した。

日程	テーマ	講師	参加者数
11月10日 (金)	地域再生と日本経済	明治大学政治経済学部 准教授 飯田泰之氏	153人

### ⑥九経調地域研究助成・顕彰事業研究発表会（1回）

前出の九経調地域研究顕彰事業において選定された優秀な論文を顕彰し、それらの論文についてプレゼンテーションを行う研究発表会を開催した。

日程	テーマ	講師	参加者数
3月14日 (水)	平成29年度 九経調 地域研究顕彰事業 研究発表会	(平成29年度論文応募者) 航空自衛隊築城基地 蓮池勢津子氏 糸島女性支援プロジェクト 佐藤倫子氏 九州国際大学現代ビジネス学部 江本伸哉氏 九州大学大学院芸術工学府 宮寄 慧氏 九州大学大学院芸術工学府 吉岡智哉氏 九州大学大学院経済学府産業マネジメント専攻 田中芳彦氏 (一社)ツタワールドボク 片山 英資氏  (昨年度最優秀賞受賞者) NPO 法人ママワーク研究所 理事長 田中彩氏	176人

### (3) BIZCOLIでのセミナー・イベント

BIZCOLIでは、自主事業として数多くのセミナーやイベントを開催しており、今年度は合計43回であった。セミナー終了後には、交流ラウンジで名刺交換会を開催し、参加者相互の人脈形成の場を提供している。

#### ①イブニングセミナー (計4回)

当会研究員や当会月報への寄稿者によるセミナーを不定期に開催しており、民泊解禁、インバウンド観光客受入促進等をテーマにセミナーを開催した。

No. 日程	テーマ	講師	参加者数
第85回 9月28日 (木)	山奥の小さな旅館が連日外国人客で満室になる理由 "民泊"解禁による地域経済への影響と展望	湯平温泉「山城屋」代表 二宮謙児氏 当会 調査研究部 片山次長	103人
第86回 11月6日 (月)	ユーザー×企業×大学×行政の社会変革推進アプローチ 「リビングラボ」の可能性： OpenLivingLab Days 2017 in クラクフの参加報告	当会 調査研究部 原口研究員	11人
第87回 1月9日 (火)	2018年度九州経済の見通し	当会 調査研究部 柿野研究員	40人
第88回 2月26日 (月)	九経調地域研究助成・顕彰事業 平成28年度最優秀賞受賞論文について	NPO 法人ママワーク研究所 理事長 田中彩氏	20人

#### ②共催セミナー (計2回)

会員との共催によるセミナーに取り組んでおり、平成29年度は九州朝日放送(株)と(株)電通九州と実施した。

日程	テーマ	講師	共催機関	参加者数
5月29日 (月)	1歩進んだインバウンド 集客	日本政府観光局 (JNTO) ソウル事務所 所長 熊野伸彦氏 北九州フィルム・コミッション事務局 次長 上田秀栄氏	九州朝日 放送(株)	86人

12月8日 (金)	Uターン人材を FUKUOKAの活気に	<基調講演> リクルートワークス研究所 所長 大久保幸夫氏 <調査報告> (株)電通九州コミュニケーションプランニング 部 部長 和泉宏氏 <パネルディスカッション> リクルートワークス研究所 所長 大久保幸夫氏 HRソリューションズ(株) 代表取締役 武井繁氏 (株)アソウ・ヒューマンセンター 常務取締役 溝口猛氏 (株)電通九州コミュニケーションデザイン局 次長 小野和美氏 当会 調査研究部 小柳研究主査	(株)電通九州	114人
--------------	------------------------	---	---------	------

### ③経営・スキルアップセミナー（計5回）

ビジネスの最前線で活躍する講師による経営・スキルアップセミナーを5回開催した。いずれも講師への依頼等で会員企業の協力を得て実現した。

日程	テーマ	講師	参加者数
7月25日 (火)	組織を強くするLGBTへの取組み	(株)ミライロ 人事部長 堀川歩氏	41人
8月30日 (水)	民法改正で変わるビジネスの流儀 ～皆さんの契約書は大丈夫？	西村あさひ法律事務所 福岡事務所 弁護士 舞田靖子氏	135人
9月1日 (金)	デジタル技術時代のビジネスモデルを考 える	九州大学ビジネススクール 教授 高田仁氏	41人
11月21日 (火)	ヒアリ防除ビジネス（第1回）	九州大学決断科学センター 准教授 村上貴弘氏	35人
1月23日 (火)	ヒアリ防除ビジネス（第2回）	九州大学決断科学センター 准教授 村上貴弘氏	7人

### ④地域応援セミナー（1回）

九州では世界文化遺産への登録が増えており、「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」も登録にむけた準備が進められていることから、「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」と「世界遺産を活用した地方創生」をテーマにしたセミナーを開催した。

日程	テーマ	講師	後援機関	参加者数
12月15日 (金)	長崎と天草地方の潜伏キリ シタン関連遺産の魅力 世界遺産を活用した地方創 生～残念な観光地にならな いために	長崎の教会群を世界遺産にする会 事務局長 柿森和年氏 高崎経済大学 特命教授 佐滝剛弘 氏	(株)十八銀行 (株)長崎 経済研究所 長崎県 熊本県 (一社)九州観 光推進機構 (一社)九 州経済連合会	118人

### ⑤九州国立博物館応援セミナー（計4回）

九州国立博物館の企画展にあわせて4回開催した。

日 程	テーマ	講 師	参加者数
4月20日 (木)	タイ～仏の国の輝き～	九州国立博物館 特別展室長 原田あゆみ氏	17人
7月31日 (月)	世界遺産 ラスコウ展～クロマニヨン人が見た世界～	九州国立博物館 課長 河野一隆氏 九州国立博物館 アソシエイトフェロー 西島亜木子氏	24人
10月27日 (金)	新・桃山展～大航海時代の日本美術	九州国立博物館 企画課 主任研究員 鷺頭 桂氏	22人
2月20日 (火)	王羲之と日本の書～運命的な書との出会いを	九州国立博物館 学芸部文化財課 資料登録室長 丸山猶計氏	31人

#### ⑥サイエンスカフェ（計10回）

サイエンスカフェは、九州大学が企画し当会が主催して行う、科学者による市民向け勉強会である。九州大学の若手研究者が燃料電池や生命科学等のテーマを取り上げ、科学の最前線的话题を提供した。

日 程	テーマ	講 師	参加者数
4月14日 (金)	燃料電池で地球を救えるか!?	九州大学工学研究院 准教授 白鳥祐介氏	34人
5月26日 (金)	ウナギの産卵の謎に迫る!	九州大学農学研究院 准教授 望岡典隆氏	32人
6月23日 (金)	原子炉の謎に迫る!	九州大学工学研究院 教授 藤本望氏	35人
7月28日 (金)	海洋への進出を目指す!	九州大学工学研究院 准教授 山口悟氏	28人
9月8日 (金)	南極の空を飛行する!	九州大学工学研究院 准教授 東野伸一郎氏	26人
10月13日 (金)	極微の世界に迫る!	九州大学工学基幹教育院 特任助教 小林良彦氏	44人
11月18日 (土)	最先端生命科学に迫る!	九州大学システム情報科学研究院 伊良皆啓治氏 東京大学生産技術研究所 統合バイオメディカルシステム国際研究センター 教授 竹内昌治氏	33人
12月15日 (金)	眠りを科学する!	九州大学芸術工学院 助教 元村祐貴氏	48人
1月19日 (金)	粘着・剥離の謎に迫る!	九州大学大学院工学研究院機械工学部門 准教授 山口哲生氏	37人
2月23日 (金)	二酸化炭素の貯留に迫る!	九州大学カーボンニュートラル・エネルギー国際 研究所 助教 北村圭吾氏	37人

#### ⑦ビズコリクラブ（計7回）

ビズコリクラブは、教養を深める少人数セミナーとして平成27年度に開始した。29年度は、中国哲学及び日本の歴史研究家の橋一徳氏による「今に生きる陽明学」を2カ月に1回程度の頻度で7回開催した。

日 程	テーマ	講 師	参加者数
4月24日 (月)	陽明学セミナー「本体工夫」	たちばな教育総合研究所 所長 橋一徳氏	6人

6月13日 (火)	陽明学セミナー「知行合一」	たちばな教育総合研究所 所長 橘一徳氏	9人
8月21日 (月)	陽明学セミナー「格物致知」	たちばな教育総合研究所 所長 橘一徳氏	8人
10月24日 (火)	陽明学セミナー「明治維新の原動力」	たちばな教育総合研究所 所長 橘一徳氏	9人
12月12日 (火)	陽明学セミナー「明治維新の原動力」	たちばな教育総合研究所 所長 橘一徳氏	13人
2月2日 (金)	陽明学セミナー「明治維新の原動力」	たちばな教育総合研究所 所長 橘一徳氏	11人
3月19日 (月)	陽明学セミナー「明治維新の原動力」	たちばな教育総合研究所 所長 橘一徳氏	11人

### ⑧文化セミナー（計2回）

今年度の文化セミナーは中洲の変遷と、本格焙煎コーヒーについて紹介した。

日程	テーマ	講師	参加者数
7月6日 (木)	中洲の今、昔、そして未来～	中洲町連合会 専務理事 川原雅康氏	30人
2月8日 (木)	焙煎世界チャンピオンによる 本格焙煎コーヒーセミナー	豆香道コーヒー 店主 後藤直紀氏	31人

### ⑨アートイベント（1回）

BIZCOLIでは、平成24年度より「アートによる地域力創造 inBIZCOLI」を開催している。29年度は電気ビルみらいホール5周年応援企画として、みぞえ画廊と㈱電気ビルの協力を得て、ルノワールの絵画2点を展示した。

日程	テーマ	展示内容	参加者数
3月5日 (月)	ビジネスに効くアート inBIZCOLI～渡辺通でルノワール	「エンリオ嬢、または青いリボンの娘」(1876年) 「肌着を直す若い娘」(1905年) *画家はピエール・オーギュスト・ルノワール	150人

### ⑩ビズコリテック（1回）

ビズコリテックは、先端技術をテーマにしたセミナーである。自動車用エンジンをテーマに世界の技術者の観点から発想やプロセスを考える勉強会を開催した。

日程	テーマ	講師	参加者数
4月25日 (火)	世界の技術観～発想プロセスの違いをみる～自動車用エンジンの燃焼と排気ガス対策～	㈱ODY 代表 柳原弘道氏	5人

### ⑪新しいまちづくりセミナー（計3回）

地域づくりや地方創生に係るセミナーを3回開催した。

日程	テーマ	講師	参加者数
10月14日 (土)	「SIM ふくおか 2030」～対話型自治体経営シュミレーションゲームを体験する～	福岡市経済文化局 総務部長兼中小企業振興部長 今村寛氏	29人
2月15日 (木)	RESASを使いこなす ーこれからの地域政策立案・分析手法	内閣官房 まち・ひと・しごと創生本部事務局ビッグデータチーム チーム長代理 森大輔氏 東京大学大学院総合文化研究科 教授 松原宏氏	57人
3月29日 (木)	地方創生 ICO について～新技術ブロックチェーンを活用した地方創生の今	㈱chaintope 地方創生 ICO 推進室 室長 深堀剛氏	32人

## ⑫アフタヌーントーク（旧・女性セミナー）（計3回）

働く女性達が自分の働き方を考えるきっかけとして、企業トップと交流するセミナーである。竹下製菓(株)竹下真由社長、(株)K アライアンス・ジャパン川邊康晴会長、(株)博多大丸柚木和代社長を講師に迎えて3回実施した。

日程	テーマ	講師	参加者数
6月20日 (火)	私の事業継承と次世代に向けて	竹下製菓(株) 代表取締役社長 竹下真由氏	35人
10月30日 (月)	「働く」から「傍楽」へ	(株)K アライアンス・ジャパン 代表取締役会長 川邊康晴氏	26人
3月6日 (火)	博多大丸柚木和代社長に聞く10のこと	(株)博多大丸 代表取締役社長 柚木和代氏	11人

## （4）外部主催の講演会・セミナーへの協力

### 1）外部主催の講演会・セミナーへの講師派遣

調査研究業務を通じて蓄積した知見は、地域貢献の一環として幅広く公開している。その手段の一つとして、会員をはじめとする外部からの依頼に応え、当会から講師を派遣した（巻末参照）。

### 2）セミナー等への参加・企画協力

産学官が主催し、当会が賛同するセミナーについては、告知や集客、BIZCOLI の会議室提供などで協力した。

## 協力実績（計25件）

日程・場所	主催者	会合名	備考
5月12日（金） 電気ビル共創館 みらいホール	国土交通省九州地方整備局 （一社）九州地域づくり協会	「九州を元気に～観光と交流を支えるインフラ～」	後援
5月22日（月） 電気ビル共創館 カンファレンス	在日フランス商工会議所	「フランス-福岡（九州）経済フォーラム」～新時代の産業革命へと繋がるイノベーションと新技術～	後援

5月27日(土) 電気ビル共創館 カンファレンス	日本ファシリテーション協会	「ファシリテーションであなたの明日と社会の未来をつくる」	後援
5月29日(月) 福岡大学 中央図書館	福岡大学 福岡大学産学連携協議会	「IoTセミナー2017」	後援
6月29日(木) 電気ビル共創館 カンファレンス	九州大学持続可能な社会のための 決断科学センター	決断化学への招待	後援
7月5日(水) リーガロイヤルホテル小倉	駐福岡大韓民国総領事館 北九州市 韓国貿易センター(KOTRA)	2017 韓国人材活用セミナー	後援
7月6日(木) FUKUOKA growth next 「イベントスペース」	(公財)福岡アジア都市研究所	平成29年度第1回 都市セミナー チャレンジするスタートアップ都市「福岡」	後援
7月27日(木) 電気ビル共創館 カンファレンス	(公財)九州生産性本部・九州経営品 質協議会	九州経営品質協議会特別講演会	後援
7月28日(金) レソラ NTT 夢天神ホール	㈱BCN	BCNConference2017inFUKUOKA 「デジタル革命最前線 ～デジタル の実ビジネスをつかむ一日～」	後援
8月2日(水) ANAクラウンプラザホテル 福岡	日本政府観光局 (JNTO)	「訪日ウェディングツーリズムセ ミナー・交流会 (香港市場)」	後援
9月8日(金)～10日(日) ホテルオークラ福岡	アートフェアアジア実行委員会	ART FAIR ASIA FUKUOKA 2017	後援
10月19日(木) あじびホール	(公財)福岡アジア都市研究所	(公財)福岡アジア都市研究所 平成 29年度第2回 都市セミナー	後援
11月9日(木) 福岡市科学館	㈱しくみデザイン	+Creative～新しいシゴトの作り方 とクリエイティビティ	後援
12月1日(金) STARTUP CAFE	福岡市、国立研究開発法人理化学研 究所横浜事務所	理研よこはまサイエンスカフェ	後援
12月7日(木) BIZCOLI 交流ラウンジ	若林ビジネスサポート	国際観光ビジネスセミナー 「なぜ中国人は財布を持たないの か」～モバイル先進国、中国の現状 について考える～	後援
12月15日(金) 電気ビルみらいホール	内閣府、福岡市、九州大学、理化学 研究所、(公財)九州先端科学技術研 究所	サイエンス&イノベーションフォ ーラム in Fukuoka	後援
12月15日(金)～18日(月) 福岡国際会議場、マリンメ ッセ福岡、福岡国際センタ ー等	福岡モーターショー実行委員会	福岡モーターショー2017	後援
12月22日(金) 福岡大学中央図書館 1階多 目的ホール	福岡大学 福岡大学産学連携協議会	福岡大学産学連携フォーラム インバウンド～訪日客 4000 万人時 代への対応～	後援
1月18日(木) 日田玖珠地域産業振興セン ター・研修会議室	(公財)筑後川水源地域対策基金	筑後川流域の上下流交流・地域経済 活性化セミナー	共催
1月24日(水) BIZCOLI 交流ラウンジ	福岡大学	ビジネスとランニングに効く"スロ ージョギング"～運動生理学の研究 から生まれた「走るための最強メソ ッド」	後援
1月31日(水) BIZCOLI 交流ラウンジ	㈱電通九州、若林ビジネスサーポ ート	国際観光ビジネスセミナー 「中国のモバイル決済 (QR コード	後援

		決済)の最前線報告」～財布を持たない中国人に学ぶ～	
2月19日(月) BIZCOLI	専門図書館協議会	図書館の新しいカタチ～地域づくりを实践する図書館	後援
2月22日(木) 電気ビルみらいホール	(一社)九州地域づくり協会	第4回地域づくり政策セミナー 九州の未来を支えるインフラ～九州の未来を支えるプロジェクトとは～	後援
3月15日(木) 鹿児島サンロイヤルホテル	九州未来アワード実行委員会	第4回九州未来アワード	後援
3月16日(金) あじびホール	(公財)アジア都市研究所	(公財)福岡アジア都市研究所 平成29年度第3回 都市セミナー	後援

\*上記には、コーディネーターや講師、発言者としての協力を含む

#### 4. 経済図書館 (BIZCOLI) 事業

BIZCOLI は、「九州における知の集積・交流・創造拠点」をコンセプトに、“知”を活用する人が集まる空間づくりに努めている。知の集積拠点としては、業界専門書籍やマーケティング関連書籍の充実を図り、新聞記事等のインターネットによる検索サービスを提供している。知の交流拠点としては、セミナーやイベントを開催して、人が集まり、知的刺激を受ける場を提供している。知の創造拠点としては、企業との共同展示を通じて、アイデアの創出や発想の転換を促進している。

また、ビジネスに集中できるマイデスクゾーン（個室）を提供しており、企画書作成や自己研鑽の空間として活用されている。

##### (1) BIZCOLI の利用状況

平成29年度の利用者数は16,743人となった。利用者数はこれまで順調に増加してきたが、初めて前年を下回った(1.4%減)。今後の状況を注視しながら、広報活動に力を入れたい。

##### BIZCOLI 利用者数

年 度	利用者数	年 度	利用者数
平成24年度	8,044人	平成27年度	15,486人
平成25年度	12,238人	平成28年度	16,984人
平成26年度	13,479人	平成29年度	16,743人

##### (2) 企業・団体との共同展示

BIZCOLI では、書籍や資料のほか、企業の新製品や話題のグッズを展示することで、豊かな発想につながる仕掛けづくりに努めている。今期は、26件の行政や企業、団体等と連携して、展示を行った。

## 【企業・団体との共同展示】

### ①常設展示

企業・団体名	展示物など
大分県	県作成のパンフレット、関連統計書など
沖縄県	県作成のパンフレット、関連統計書など
鹿児島県	県作成のパンフレット、関連統計書など
ギャラリー風	絵画の提供
九州エネルギー問題懇話会	書籍、資料の提供
(一社)九州観光推進機構	写真、資料の提供
九州防衛局	防衛白書、地図、スクランブル発信数のグラフなど
熊本県	県作成のパンフレット、関連統計書など
熊本市	政令市作成のパンフレット、関連統計書など
佐賀県	県作成のパンフレット、関連統計書など
(株)ゼンリン	交流ラウンジの地図
DRATION	ドローンの提供
長崎県	県作成のパンフレット、関連統計書など
福岡県	県作成のパンフレット、関連統計書など
福岡財務支局	「九州の未来力」関係資料
福岡市	市作成のパンフレット、関連統計書など
みぞえ画廊	絵画の提供
宮崎県	県作成のパンフレット、関連統計書など
(株)安川電機	双腕ロボットの模型
山口県	県作成のパンフレット、関連統計書など

### ②企画展示

企業・団体名	展示物など
(一社)九州経済連合会	写真、資料の提供
(株)電通九州	電通九州のクリエイターによる“感じる”“考える”“伝える”をテーマとした書籍と書評を展示
(株)西日本新聞社	パネル「2027 首都・福岡」の展示
(株)野村総合研究所	パネル「未来年表 2017-2100」の展示
福岡商工会議所	パネル「二十年後ノ大福岡構想圏」の展示
みぞえ画廊	ルノアールによる絵画2点の展示

## 5. 経済団体等支援事業

### (1) 福岡経済同友会からの事務局受託

会員数 510名 (3月末現在)  
 平成29年度決算 72,702千円 (経常費用計)

#### 平成29年度の主な活動 (九州経済同友会を含む)

福岡経済同友会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通常総会、常任幹事会、幹事会の開催</li> <li>・第9期九州メンタープロジェクト実施</li> <li>・九州メンタープロジェクト・メンティー発表会の開催</li> <li>・Fukuoka Growth Next の視察会</li> <li>・グローバル人材の育成について大学との意見交換会の実施</li> <li>・海外視察 (インド)</li> <li>・「福岡市都心部における航空法の高さ制限の緩和に関する意見書」提出</li> <li>・福岡県教育委員会との連携・協力に関する協定締結</li> <li>・県立高等学校、市立中学校計 20 校にて出前講座を開催</li> <li>・大和ハウス工業(株)九州工場への視察会の実施</li> <li>・70周年記念式典の開催</li> <li>・北部九州豪雨被害に対する義援金の贈呈 など</li> </ul>
九州経済同友会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第66回九州経済同友会大会 (長崎市) 開催</li> <li>・企画委員会、同人口提言ワーキングの開催</li> <li>・会員合同懇談会の開催、九州はひとつ委員会の開催</li> <li>・九州地域戦略会議への参加</li> <li>・西日本経済同友会 代表者会議への参加など</li> </ul>

\*その他講演会、会合など開催 上記を含む総会合数 171回  
 (他団体の共催・後援7回を含む)

### (2) 九州経済を考える懇談会の共同事務局

九州経済を考える懇談会は、九州の経済団体のトップが九州経済に関する重要課題について、認識を共有し、課題解決策について議論する会議体である。平成22年度に「地域経営を考える政策懇談会」として始まり、平成25年1月から現在の名称に変更した。(一社)九州経済連合会、(一財)九州地域産業活性化センター、(公財)九州経済調査協会の3者が共同事務局を組織して運営しており、当会理事長がコーディネーターを務めている。平成29年度は計4回開催した。

No	日時・場所	テーマ	参加者
第1回	7月4日 (火) 九経調 会議室	1) 「第一次産業の魅力づくり」について 2) 九州・大学発ベンチャー振興会議の状況報告 3) 九州地域戦略会議の状況報告	(一社)九州経済連合会 会長 麻生泰氏 (座長) (一財)九州地域産業活性化センター 会長 麻生渡氏 九州商工会議所連合会 会長 礪山誠二氏 (欠席) 九州経済同友会 代表幹事 貫正義氏 九州経営者協会 会長 竹島和幸氏 (公財)九州経済調査協会 理事長 高木直人(コーディネーター)
第2回	10月12日 (木) 九経調 会議室	1) 「地域文化発信によるインバウンド観光促進」について 2) 九州・大学発ベンチャー振興会議の状況報告 3) その他 (KIMONO PROJECT、福岡 JAPAN 市、九州地域戦略会議)	(一社)九州経済連合会 会長 麻生泰氏 (座長) (一財)九州地域産業活性化センター 会長 麻生渡氏 九州商工会議所連合会 会長 礪山誠二氏 九州経済同友会 代表幹事 貫正義氏 九州経営者協会 会長 竹島和幸氏 (公財)九州経済調査協会 理事長 高木直人(コーディネーター)

第3回	1月30日 (火) 九経調 会議室	1) 「福岡・天神の活性化」について 2) 「ラグビーW杯を見据えた九州・山口PR強化」について 3) 2018年度当懇談会の進め方 4) その他（「九州・大学発ベンチャー振興会議」の進捗状況について） 5) その他（「KIMONO PROJECTを応援する会」の設立について）	(一社)九州経済連合会 会長 麻生泰氏 (座長) (一財)九州地域産業活性化センター 会長 麻生渡氏 九州商工会議所連合会 会長 礒山誠二氏 九州経済同友会 代表幹事 貫正義氏 九州経営者協会 会長 竹島和幸氏 (公財)九州経済調査協会 理事長 高木直人(コーディネーター)
第4回	3月6日 (火) 九経調 会議室	1) 「将来の労働力不足対策」について 2) 2018年度懇談会討議テーマについて 3) その他（「九州・大学発ベンチャー振興会議」について、ラグビーW杯を見据えた九州・山口PR強化策の進捗状況について）	(一社)九州経済連合会 会長 麻生泰氏 (座長) (一財)九州地域産業活性化センター 会長 麻生渡氏 九州商工会議所連合会 会長 礒山誠二氏 九州経済同友会 代表幹事 貫正義氏 九州経営者協会 会長 竹島和幸氏 (公財)九州経済調査協会 理事長 高木直人(コーディネーター)

### (3) 地域政策デザイナー養成講座の事務局

「地域政策デザイナー養成講座」（事務局長：谷口博文 九州大学教授）は、地域の具体的な課題を把握し、地域像をデザイン、政策立案できる人材を「官」「民」を問わず育て、九州地域の発展に貢献することを目的に、平成22年度から開始した九州大学のセミナーである。九州大学、(一社)九州経済連合会、(一財)九州地域産業活性化センター、(株)西日本新聞社、そして当会が実行委員会メンバーとなっている。

平成29年度は73名（受講生35名、聴講生38名）が受講した。4月から11月までに15回の授業を実施し、11月11日には研究発表会を開催した。

#### 平成29年度 地域政策デザイナー養成講座 講師一覧

氏名	所属
谷口 博文	九州大学 学術研究・産学官連携本部 教授
石丸 修平	福岡地域戦略推進協議会 事務局長/九州大学 客員准教授
紺野 登	多摩大学大学院教授/Future Center Alliance Japan 代表理事
佐々木 久美子	(株)グルーヴノーツ 代表取締役会長
藤沢 久美	シンクタンク・ソフィアバンク 代表
岡田 昌治	九州大学ユヌス&椎木ソーシャル・ビジネス研究センター エグゼクティブ・ディレクター 特任教授
モンテ・カセム	前立命館アジア太平洋大学 (APU) 学長
佐保井 久理須	(株)Kyulux 代表取締役 (CEO)
龍造寺 健介	本多機工(株) 代表取締役社長
崎田 恭平	日南市長
安浦 寛人	九州大学 理事・副学長
脇山 真治	九州大学 芸術工学研究院教授

#### (4) 九州水フォーラム 2017 の事務局

九州水フォーラムは、「九州ならではの水のありかた」を多様な視野からとらえ、九州の水環境や治水、技術開発の取組みを世界に向けて発信する組織である。今年度は運営規程やフォーラムの企画について協議する企画委員会を3回開催し、12月19日にシンポジウムを開催した。

日 程	テーマ	講 師	参加者数
12月19日 (火)  電気ビル 共創館	九州水フォーラム 2017 シンポジウム 基調講演 「水環境の生物多様性と環境投資」  パネルディスカッション 「九州の多様な主体による社会の形成に向けて」	講師 日経 BP 環境経営フォーラムプロデューサー 藤田香氏 パネリスト 九州大学教授 七戸克彦氏 国連ハビタット福岡本部長 是澤優氏 九州電力耳川水力整備事務所長 朝崎勝之氏 水の会会長 立花民雄氏 コーディネーター 九州大学准教授 清野聡子氏	133人

## 6. 社会貢献活動等

行政や経済団体等への委員派遣、大学への非常勤講師の派遣、テレビ・ラジオへの出演、新聞・雑誌への取材対応と掲載、雑誌等への寄稿等を下記の通り行った。

### 対外活動実績（平成 29 年度）

区 分	内 容	件数等
(1) 審議会・委員会への委員派遣	【行政】内閣府、九州経済産業局、九州農政局、九州管区行政評価局、九州防衛局、福岡県、長崎県、大分県、北九州市、福岡市、久留米市文化芸術振興審議会、行橋市、築上町 企業誘致推進委員会 【団体】(公社)日本ロジスティクスシステム協会 (JILS)、(公財) 経営者顕彰財団、(公財)福岡県国際交流センター、(公財)福岡県リサイクル総合研究事業化センター、(公財)福岡アジア都市研究所、(公財)福岡県産業・科学技術振興財団、福岡市科学館開館準備室、(一社)九州経済連合会、(一社)九州観光推進機構、(一社)福岡青年会議所、(一財)九州地域産業活性化センター、(一財)九州電気保安協会、九州経済フォーラム、北九州空港利用促進協議会、福岡ロータリークラブ、福岡日米協会、九州水フォーラム実行委員会、(一財)港湾空港総合技術センター (国土交通省) 【民間・大学】(学)福岡大学、(株)福岡放送、(株)アソウヒューマニーセンター、(株)富士通総研経済研究所	就任件数計 39件
(2) 大学への非常勤講師の派遣	福岡大学、九州産業大学、中村学園大学、近畿大学、西南学院大学、流通科学大学 (*1コマの派遣は含まず)	計6大学 8講座
(3) テレビ・ラジオ等への出演	TBS「ニュースバード」、RKB「アサデス」「今日感ニュース」、FBS「めんたいPlus」、TNC「もち浜ストア夕方版」「CUBE」「みんなのニュース福岡」、TVQ「ふくおかサテライト」、「ぐっ!ジョブ 九州ゲンキ主義経済」など	延33回
(4) 新聞・雑誌等への寄稿・コメント掲載	西日本新聞、日本経済新聞、朝日新聞、毎日新聞、読売新聞、産経新聞、佐賀新聞、長崎新聞、熊本日日新聞、大分合同新聞、宮崎日日新聞、南日本新聞、琉球新報、沖縄タイムズ、山口新聞、中国新聞、日刊工業新聞、日刊建設工業新聞、建設通信新聞、静岡新聞、中国新聞セレクト、鹿児島建設新聞、日本経済新聞電子版ニュース、西日本新聞経済電子版「qBiz」、日刊工業新聞「News ウェーブ21」、週刊金融財政事情、財界九州、ふくおか経済、データマックス、鉄鋼新聞など	延230件

## 7. 運営基盤の拡充

### (1) 会員数の維持・拡充

#### ①賛助会員

平成 29 年度の入会は 42 件、一方退会は 33 件で期首 574 会員から 9 会員純増となり、会費実勢額は 1 億 2,649 万円となった。BIZCOLI でのセミナーや講師派遣、企業団体への営業活動に加え、研究員のネットワークなど多様なルートを通じて、全職員一丸となって会員拡大に努めている。

#### 賛助会員の動向

	合 計				
	維持会員	普通会員	個人会員	町村会員	
平成 29 年度期首	574	74	484	14	2
入 会	42	0	41	1	0
退 会	33	1	32	0	0
増 減	9	-1	9	1	0
会員種別変更	0	0	0	0	0
平成 29 年度末	583	73	493	15	2

・平成 26 年度末	会員数	563 会員	・会費実勢額	1 億 2,446 万円
・平成 27 年度末	会員数	576 会員	・会費実勢額	1 億 2,648 万円
・平成 28 年度末	会員数	574 会員	・会費実勢額	1 億 2,574 万円
・平成 29 年度末	会員数	583 会員	・会費実勢額	1 億 2,649 万円

#### ②BIZCOLI 会員

平成 29 年度は、期首 105 会員から 3 会員純減して 102 会員となった。会費実勢額（月会費×12 ヶ月）は、822 万円となった。

#### BIZCOLI 会員の内訳（102 会員）

種 別	会員数	種 別	会員数
フルタイム	5	フルタイム+土曜日	5
デイトタイム	24	デイトタイム+土曜日	1
ナイトタイム	43	ナイトタイム+土曜日	15
土曜日	9	合 計	102

### (2) 理事会、評議員会、幹事会の開催

公益財団法人に移行して 5 年目を迎え、理事会、評議員会の決議の下、適正な組織運営を行っている。また、幹事会や参与会を定例化して、公益財団として組織力を強化してきた。

平成 29 年度は理事会を 6 回、評議員会を 4 回開催した他、幹事会を 2 回、企画委員会を 1 回、参与会を 1 回開催した。幹事会後には、幹事会の提案による自主研究の結果報告として「道を生かす～九州の道路ストック活用調査～」をテーマに、研究報告会を開催した。

## ①理事会の開催状況

開催日	開催理事会	議案等
4月1日 (土)	第20回理事会 (書面)	<b>【決議事項】</b> 第1号議案 役員退職慰労金の支給について 第2号議案 業務執行理事の選定について 第3号議案 役員報酬について 第4号議案 幹事の選任について
5月22日 (月)	第21回理事会	<b>【決議事項】</b> 第1号議案 平成28年度事業報告(案)について 第2号議案 平成28年度決算(案)について 第3号議案 評議員会の招集について <b>【報告事項】</b> 第1項 代表理事及び常務理事の職務執行状況の報告 第2項 その他
6月7日 (水)	第22回理事会 (書面)	<b>【決議事項】</b> 第1号議案 代表理事・会長の選定について 第2号議案 代表理事・理事長の選定について 第3号議案 業務執行理事の選定について 第4号議案 役員報酬について 第5号議案 幹事の選任について 第6号議案 参与の委嘱について 第7号議案 評議員会(書面表決)の招集について <b>【報告事項】</b> 第1項 評議員の選任について
8月18日 (金)	第23回理事会 (書面)	<b>【決議事項】</b> 第1号議案 幹事の選任について 第2号議案 参与の委嘱について 第3号議案 九経調地域研究助成・顕彰事業 助成先の決定について
11月20日 (月)	第24回理事会	<b>【決議事項】</b> 第1号議案 平成29年度更正予算(案)について 第2号議案 参与の委嘱について 第3号議案 評議員会の招集について <b>【報告事項】</b> 第1項 平成29年度上期事業報告について 第2項 代表理事及び常務理事の職務執行状況の報告 第3項 幹事会の開催について 第4項 企画委員会の開催について 第5項 その他
3月9日(金)	第25回理事会	<b>【決議事項】</b> 第1号議案 平成30年度事業計画(案)について 第2号議案 平成30年度予算(案)について 第3号議案 内閣府への定期提出書類について 第4号議案 顧問、参与の委嘱について 第5号議案 九経調地域研究助成・顕彰事業 顕彰作品の選定について <b>【報告事項】</b> 第1項 評議員会の開催について 第2項 その他

## ②評議員会の開催状況

開催日	開催評議員会	議案等
6月7日 (水)	第14回評議員会	<b>【決議事項】</b> 第1号議案 平成28年度事業報告(案)について 第2号議案 平成28年度決算(案)について 第3号議案 評議員の選任について 第4号議案 理事の選任について 第5号議案 監事の選任について
6月23日 (金)	第15回評議員会 (書面)	<b>【決議事項】</b> 第1号議案 評議員の選任の件 第2号議案 評議員会議長の選任の件 <b>【報告事項】</b> 第1項 会長、理事長、業務執行理事(常務理事)の選定について 第2項 幹事の選任について
12月5日 (火)	第16回評議員会	<b>【決議事項】</b> 第1号議案 次回評議員会(平成30年3月)の開催について <b>【報告事項】</b> 第1項 平成29年度上期事業報告について 第2項 平成29年度更正予算について 第3項 参与の委嘱について 第4項 幹事会の開催について 第5項 企画委員会の開催について 第6項 その他
3月12日 (月)	第17回評議員会	<b>【報告事項】</b> 第1項 平成30年度事業計画について 第2項 平成30年度予算について 第3項 顧問、参与の委嘱について 第4項 九経調地域研究助成・顕彰事業 顕彰作品について 第5項 その他

## ③幹事会の開催状況

開催日	開催幹事会	議案等
7月20日 (木)	第6回幹事会	議案Ⅰ 幹事会議長・副議長の選出 議案Ⅱ 平成28年度九経調事業報告 議案Ⅲ 幹事会提案の自主研究について 議案Ⅳ その他
2月14日 (水)	第7回幹事会	議案Ⅰ 新幹事の紹介 議案Ⅱ 平成29年度自主研究の中間報告 議案Ⅲ 平成30年度の自主研究テーマの選定 議案Ⅳ 30年後に向けた九州地域発展戦略(創立70周年記念事業)の中間報告 議案Ⅴ その他

#### ④企画委員会の開催状況

開催日	開催企画委員会	議案等
12月13日 (水)	平成29年度 企画委員会	議案Ⅰ. 平成29年度自主研究の中間報告 議案Ⅱ. 平成30年度自主研究テーマ(案)について 議案Ⅲ. 30年後に向けた九州地域発展戦略(創立70周年記念事業)の 中間報告 議案Ⅳ. その他

#### ⑤参加会の開催状況

開催日	開催参加会	議案等
2月8日 (木)	第8回参加会	意見交換会「スマホ時代の新しい消費と流通」 2017年版九州経済白書 報告者：岡野調査研究部長

### (3) 研究員の育成

当会では、研究員の資質向上に取り組み、専門分野に偏らない、新しい分野への知見の蓄積を進めている。また、国内・海外を問わず外部との交流を積極的に行うことで、各研究員がネットワークを広げることを重視している。

平成29年度は、前年度に続いて新卒職員を採用したことから、若手研究員の育成に力を入れている。まずは、統計の基礎知識と文章力の向上からはじめ、OJTを通じた現場での調査能力の向上に努めている。また、(株)日本経済研究所主催の地域シンクタンク研修等への参加を通じて、基礎能力の向上と人的ネットワークの形成を図った。

## 資料

外部主催の講演会への講師派遣（計 61 件）

### 講師派遣一覧

月 日	依 頼 先	会合名・タイトル	講 演 者	参加者数
4月4日(火)	長崎経済同友会	2017年度 経済見通し	片山次長	80人
4月12日(水)	(一社)九州経済連合会	東九州軸推進機構平成29年度第1回実務者会議「道を生かす～九州の道路ストック活用調査より～」	藤井次長	22人
4月17日(月)	九州電力(株)東京支社	九州経済講演会 「人材枯渇時代を生き抜く地域戦略」	大谷次長	50人
4月18日(火)	福岡銀行協会	福岡銀行協会情報交換会「2017年度九州経済の見通しと熊本地震後の九州経済」	片山次長	20人
4月18日(火)	(株)サワライズ	総合職研修会「九州経済見通しと福岡のプロジェクト」	片山次長	25人
4月18日(火)	(一財)運輸総合研究所	九州運輸セミナーパネルディスカッション 「九州の観光復興に向けて」	高木理事長	200人
4月19日(水)	(株)西日本新聞社	新聞広告基礎講座 「九州経済情報の収集と編集から見た『新聞』」	能本主任研究員	50人
4月20日(木)	パナソニックシステムネットワークス(株)	2017年度 KRP 会 期首方針発表会 「人材枯渇時代を生き抜く地域戦略」	大谷次長	60人
4月21日(金)	三菱電機(株)	九州支社 経営方針説明会 「九州経済と成長への戦略」	片山次長	50人
4月21日(金)	日本証券アナリスト協会九州支部	人材枯渇時代と九州の未来	片山次長	20人
4月21日(金)	九州経済産業局	エネルギー対策課勉強会 「九州の太陽光発電設備の実情」	松嶋研究主査	10人
4月23日(日)	福岡県環境保全技術者の会	福岡県環境保全技術者の会 全体研修会 「太陽光発電パネルリサイクル回収プロジェクトの実施状況と今後の可能性」	松嶋研究主査	30人
4月26日(水)	ナイス(株)	福岡ナイスパートナー会研修会 「人材枯渇時代を生き抜く地域戦略～建設業における現状と課題を中心に～」	大谷次長	80人
5月17日(水)	(株)宮崎太陽銀行	宮崎太陽銀行 行内勉強会	松嶋研究主査	15人
5月26日(金)	九州経済産業局	平成29年度九州地域再生可能エネルギー連絡会議	松嶋研究主査	30人
6月2日(金)	福岡県商工部	福岡 IoT プロジェクト推進会議第1回会議 「地域課題解決に向けた IoT 技術の活用について～IoT によるビジネス展開と地域活性化～」	岡野部長	28人
6月5日(月)	日本関税協会門司支部	平成29年度 定時総会「2017年度 経済見通し」	片山次長	180人
6月6日(火)	熊本県農林水産部農村振興局 むらづくり課	熊本県内中山間地域における農業集落等実態調査報告	能本主任研究員	40人
6月12日(月)	福岡ひまわり会(事務局:宮崎銀行福岡支店)	福岡ひまわり会総会 講演会 「人材枯渇時代を生き抜く地域戦略」	大谷次長	30人

6月21日(水)	北海道新幹線建設促進期成会	北海道新幹線建設促進期成会 総会・講演会 「北海道新幹線札幌延伸に向けて」	大谷次長	100人
6月25日(日)	日本社会教育学会	日本社会教育学会「九州の地域変動と社会教育」 シンポジウム「九州における地域経済の動向」報告、パネルディスカッション	片山次長	50人
7月10日(月)	福岡県 企画・地域振興部	太陽光発電メンテナンスセミナー 「太陽光発電の保守点検に係る実態や課題」	藤井次長	123人
7月13日(木)	地銀調査担当部長会議	地域課題解決に向けたIoT技術の活用について	岡野部長	15人
8月3日(木)	福岡県経営者協会	九州経営者協会職員研修 「人材枯渇時代を生き抜く地域戦略」	大谷次長	10人
8月5日(土)	日本経営診断学会 九州部会	日本経営診断学会 2017年度第2回九州部会 「人材枯渇時代を生き抜く地域戦略」	大谷次長	15人
8月8日(火)	大坪 GSI(株)	勉強会「三学会」 『「失敗の本質～日本軍の組織論的研究」を読む』	岡本次長	10人
8月22日(火)	(公財)飯塚研究開発機構	医工学連携推進フォーラム「一医療・介護現場における口腔ケアのニーズを製品化へ」	原口研究員	40人
8月25日(金)	久留米広域連携中枢都市圏推進協議会 産業振興 WG	地域経済分析システム(RESAS)の活用事例等についてー久留米広域連携中枢都市圏(4市2町)の分析報告ー	大谷次長	21人
8月25日(金)	久留米市産業振興協議会 「企業の成長支援」推進グループ	久留米市産業のRESAS分析、及び支援の方向性	大谷次長	22人
9月13日(水)	㈱福岡リアルティ	九州・福岡の経済・産業動向と福岡市内における宿泊状況について	片山次長	50人
9月14日(木)	北九州商工会議所(運輸交通部会)	北九州商工会議所運輸交通部会卓話会 「道を生かす～九州の道路ストック活用調査より～」	藤井次長	26人
9月20日(水)	四国アライアンス	「新幹線を活かした四国の地域づくりビジョン調査」 視察説明	大谷次長	11人
10月12日(木)	(独)日本学術振興会 第175委員会	日本学術振興会第175委員会 化合物薄膜太陽電池分科会 研究会	藤井次長	28人
10月16日(月)	福岡県トラック協会	物流セミナー「九州経済の動向と今後の見通し」	柿野研究員	250人
10月17日(火)	福岡県 企画・地域振興部 調査統計課	地域経済分析セミナー「『ひと』の出生・移動にみる九州・福岡経済の構造」	片山次長	70人
10月28日(土)	総合研究フォーラム	九州経済 AtoZ	大谷次長	50人
11月14日(火)	西日本ユウコー商事(株)	博多ロータリークラブ 卓話会	藤井次長	52人
11月16日(木)	九州ビルヂング協会	九州ビルヂング協会 11月例会	大谷次長	50人
11月16日(木)	九州大学	心理学的思考法演習	清水研究主査	10人
11月19日(日)	九州大学ビジネススクール	平成29年度九州大学ビジネススクール社会連携事業「経営幹部のための短期エグゼクティブ・プログラム」	岡野部長	20人
11月21日(火)	全国生コン工組連九州地区本部	全国生コンクリート協議会 九州大会	片山次長	250人
11月27日(月)	玄友会勉強会(堤田福岡市市議)	来年度の経済見通しについて	高木理事長	50人

11月27日(月)	(株)三広	九州・山口 70歳現役社会推進大会 福岡県大会 パネルディスカッション「エイジレス時代の到来～ 豊かな長寿社会に向けた現状と課題とは？」	岡野部長	580人
12月5日(火)	日本電機工業会	第95回企業研究会「2018年九州経済の見通しに ついて」	柿野研究員	20人
12月8日(金)	(株)電通九州	Uターン人材を FUKUOKA の活力に。～はじめよう 「東京卒業プロジェクト」	小柳研究主査	100人
12月8日(金)	三井物産ケミカル(株)九州支店	三井ケミカル会「人材枯渇時代を生き抜く地域戦 略」	大谷次長	60人
12月10日(日)	(一社)日本ヒープ協会	国・地方連携会議ネットワークを活用した男女共同 参画推進事業シンポジウム＝パネルディスカッショ ン×ヒープカフェ働きやすい地域は暮らしやすい 「九州男女」の共同参画～ワーキングスタイルか ら考えるまちづくり～	原口研究員	120人
1月10日(水)	北九州市立大学	環境都市論	松嶋研究主査	60人
1月22日(月)	大分県・特定非営利活動法 人大分県地球温暖化対策協 会	太陽光発電設備の施工・保守点検等スキルアップ 研修会「太陽光発電3R事業の挑戦」	藤井次長	40人
1月23日(火)	福岡県産業・科学技術振興 財団	ふくおか IST IoT ニーズ紹介・意見交換会	中川研究主査	26人
1月29日(月)	独立行政法人情報処理推進 機構(IPA)	自治体職員のための IoT 導入促進セミナー	岡野部長	80人
1月30日(火)	日本人材派遣協会 九州地 域協議会	賀詞交歓会講演「2018年度九州経済の見通し」	柿野研究員	46人
2月2日(金)	九州グローバル人材活用促 進協議会	「九州の企業の人材確保を考える！」Work in Kyushu シンポジウム	大谷次長	90人
2月16日(金)	福岡県経営者協会	経営者協会セミナー	柿野研究員	34人
2月20日(火)	下関港湾協会	下関港湾協会懇談会「地域課題解決に向けた IoT 技術の活用について」	岡野部長	150人
2月22日(木)	(一社)九州地域づくり協会	第4回地域づくり政策セミナー 未来の九州を支え るインフラ「これからの九州に必要なもの」	藤井次長	316人
2月24日(土)	NPO 法人日本FP協会(日本 ファイナンシャル・プランナ ーズ協会)	NPO 法人日本FP協会創立30周年記念講演&交 流会 in 福岡	岡野部長	300人
3月6日(火)	博多ロータリークラブ	博多ロータリークラブ例会「2018年版九州経済 白書」	大谷次長	50人
3月8日(木)	オービック	オービック情報システムセミナー「2018年版九州 経済白書」	大谷次長	40人
3月14日(水)	住友二水会	九州経済の構造・見通しと 2018年のトピック	大谷次長	40人
3月22日(木)	(公財)福岡県産業・科学技術 振興財団	IoT ニーズ紹介・意見交換会「最新技術を活用した 農業ビジネスと今後の展開」	中川研究主査	40人

# 事業報告

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)



公益財団法人九州経済調査協会  
KYUSHU ECONOMIC RESEARCH CENTER

## 平成 30 年度事業報告について

### 事業報告

定款第 5 条に基づき、平成 30 年度は、以下の事業を実施した。(総括)

1. 創立 70 周年記念事業 (1) 事業概要 ①「九経調 70 年のあゆみー九州・沖縄・山口とともにー」の作成 ②「30 年後に向けた九州地域発展戦略」に関する研究 ③九州・沖縄・山口各県の未来を考えるシンポジウム等の開催 ④ビッグデータを活用した新たな情報サービスの提供 (2) 募金活動の状況
2. 地域経済研究事業 (1) 自主研究事業 ①九州経済白書の刊行 ②月報等定期刊行物の発行 ③幹事会からの提案による自主研究 ④地域経済情報のデジタル配信 ⑤その他の事業 (2) 受託研究事業 (3) 九経調地域研究助成・顕彰事業
3. 講演会・セミナーの開催 (1) 九州・沖縄・山口でのセミナー等 九州経済白書説明会 (2) 定例の講演会・セミナー ①九経調交流会 ②研究報告会 ③アジア経済講演会 ④調査技法セミナー ⑤経済講演会 ⑥地域研究顕彰事業研究発表会 (3) BIZCOLI でのセミナー・イベント ①イブニングセミナー ②地域経営セミナー ③共催セミナー ④九州国立博物館応援セミナー ⑤サイエンスカフェ ⑥ビズコロクラブ ⑦文化アートイベント ⑧まちづくりセミナー ⑨ビッグデータセミナー
4. 経済図書館 (BIZCOLI) 事業 (1) 地域経済図書館としてのサービス (2) 講演会・セミナー会場の運営
5. 経済団体等支援事業 (1) 福岡経済同友会からの事務局受託 (2) 九州経済を考える懇談会の共同事務局 (3) 地域政策デザイナー養成講座の事務局 (4) 九州水フォーラム 2018 の事務局のサポート
6. 社会貢献活動等 (1) 行政機関・経済団体等が開催する各種審議会・委員会への委員派遣 (2) 大学への非常勤講師の派遣 (3) テレビ・ラジオ等への出演 (4) 新聞・雑誌等への寄稿・コメント掲載 (5) インターンシップの受入等
7. 運営基盤の拡充 (1) 会員数の増加 (2) 理事会、評議員会、幹事会、企画委員会の開催 (3) 人材育成の強化

# 1. 創立 70 周年記念事業

## (1) 事業概要

### ①「九経調 70 年のあゆみー九州・沖縄・山口とともにー」の作成

地域の未来を考える一助とするために、終戦直後から 70 年間の九州・沖縄・山口の経済社会の変化を、九経調のあゆみとともに整理して取りまとめ、平成 30 年 12 月末に刊行した。コラム風の文書スタイルを採り入れ、図表、写真を多数盛り込むことでわかりやすくまとめている。九経調と深い関わりのある方に、思い出や九経調への期待などをご寄稿いただいた。

### ②「30 年後に向けた九州地域発展戦略」に関する研究

前年度に引き続き、30 年後の未来に関する文献調査と統計分析、ヒアリング調査を進め、報告書の執筆を進めている。報告書は、【総論】【各論（地域編）】【各論（産業編）】の 3 部構成で、令和元年秋頃に完成予定である。

### ③九州・沖縄・山口各県の未来を考えるシンポジウム等の開催

九州・沖縄・山口の各県において「未来を考えるシンポジウム」を開催している。平成 30 年度は、鹿児島、山口、沖縄の 3 カ所で開催した。

日時・会場	講師	テーマ	参加者数
<b>【鹿児島】</b> 11 月 15 日（木） 城山ホテル鹿児島	「鹿児島の未来の交通インフラを考える」 <基調講演> 京都大学大学院工学研究科教授 藤井聡氏 <パネルディスカッション> コーディネーター： (株)九州経済研究所経済調査部長 福留一郎氏 パネリスト： 国土交通省大臣官房技術総括審議官 増田博行氏 (株)岡本産業代表取締役社長 (株)オキス代表取締役 岡本孝志氏 武盛グローバルコンサルティング代表 武盛武士氏 当会 調査研究部 片山部長	次の時代の交通インフラと モビリティマネジメント  鹿児島の未来を見据えた交 通インフラのあり方につい て	142 人
<b>【山口】</b> 1 月 22 日（火） ホテルサンルート 徳山	「稼ぐ事業・地域を創るために～Industry4.0 時代を迎えた地域戦略～」 <基調講演> (株)野村総合研究所 産業 IT イノベーション事業本部 兼コンサルティング事業本部主席研究員 藤野直明氏 <パネルディスカッション> コーディネーター： (株)野村総合研究所 産業 IT イノベーション事業本部 兼コンサルティング事業本部主席研究員 藤野直明氏 パネリスト： (株)ウェブアイ代表取締役社長 森川勇治氏 (株)グルーヴノーツ代表取締役社長 最首英裕氏 (株)三松代表取締役社長 田名部徹朗氏	Industry4.0 時代の地域戦略  稼ぐ事業・地域を創るために ～Industry4.0 時代を迎えた 地域戦略	207 人

<p>【沖縄】 2月27日(水) ANAクラウンプラザホテル沖縄ハーバービュー</p>	<p>「プレミアム沖縄創生戦略～観光 1,000 万人時代の先を見据えて」 &lt;基調講演&gt; 中央大学経済学部教授 山崎朗氏 &lt;パネルディスカッション&gt; コーディネーター： (一財)日本経済研究所専務理事(代表理事) 新産業創造業務統括兼地域未来研究センター・エグゼクティブフェロー 鍋山徹氏 パネリスト： 沖縄ツーリスト(株)代表取締役会長 東良和氏 (株)前田産業代表取締役社長 前田裕子氏 (株)りゅうぎん総合研究所代表取締役社長 照屋保氏 中央大学経済学部教授 山崎朗氏</p>	<p>プレミアム地方創生と沖縄  プレミアム沖縄創生戦略～観光 1,000 万人時代の先を見据えて</p>	<p>163 人</p>
---	---	---	--------------

#### ④ビッグデータを活用した新たな情報サービスの提供

オープンデータ・ビッグデータを活用した「地域経済分析プラットフォーム」の立ち上げに向け、クラウド等の基盤整備や、データの収集・整理を進めた。同プラットフォーム上では、当会の既存の刊行物に掲載しているデータに加え、新たに収集するデータをデジタルで提供するほか、それらのデータを自ら分析・加工した新たな経済指標・サービスを提供できるよう準備を進めた。なお、収集するデータの種類や見せ方については将来的な想定ユーザーから意見を聴取し、そのニーズを反映しつつ構築を進めている。同プラットフォーム上で提供予定のコンテンツは以下の通りである。

##### ア) 経済動向データ

『九州経済調査月報』において景気分析に用いている月次データ等を、地域別(県別等)かつ全国について可視化する。

##### イ) 即時景気分析システム

既存の経済動向データや新たに収集したビッグデータを活用し、早期かつ精緻な景気分析を行なう。また、都道府県別の景気動向指数を提供する。

##### ウ) 経済構造データ/地域経済マップ

『図説九州経済』に掲載しているような地域別の社会経済の年次データについて可視化する。

##### エ) 九州経済ヘッドライン

月 2 回メルマガで提供しているヘッドラインニュースを整理、データベース化した上で提供する。

##### オ) ビッグデータシステム

独自に収集したビッグデータを用いた地域経済動向の可視化(宿泊予約サイトの API を活用した全国の宿泊プランデータ等)。

##### カ) 宿泊施設レベニューマネジメント支援システム

宿泊施設の収益最適化に資する、宿泊プラン完売予測システム等の提供。

※本システムの開発にあたっては、長崎大学 ICT 基盤センターの一藤准教授、ならびに早稲田大学創造理工学部蓮池准教授と共同研究契約を締結して研究を進めている。福岡市を中心に、複数の宿泊先との連携を図り、宿泊関連データの利活用の協議を進めている他、上述の宿泊予約サイトの情報等を組み合わせて、レベニューマネジメント支援システム構築に向けた研究を進めている。

## (2) 募金活動の状況

平成30年度末時点の募金活動の状況は次のとおりである。

- ・ 募金目標額 1億円
- ・ 募集期間 平成28年4月1日～令和2年3月31日
- ・ 依頼先数 119社
- ・ 寄附承諾 96社/1億579万円

## 2. 地域経済研究事業

### (1) 自主研究事業

自主研究事業では、「①九州経済白書の刊行」「②月報等定期刊行物の発行」「③幹事会からの提案による自主研究」を中心に取り組んでいる。

#### ①九州経済白書の刊行

『スポーツの成長産業化と九州経済』 平成31年2月刊行

「九州経済白書」は、2月1日に「スポーツの成長産業化と九州経済」のタイトルで公表した。令和元年のラグビーワールドカップ、令和2年の東京オリンピック・パラリンピックを控え、スポーツに対する関心がこれまで以上に高まる中、成長産業化が期待されるスポーツ産業について、その実態を概観し、新たなビジネス・地域活性化の芽や課題を明らかにした。その上で、これらの大型スポーツイベント後も持続可能な形でスポーツの力を地域活性化に生かしていくための方策を取りまとめた。

#### ②月報等定期刊行物の発行

##### 1) 九州経済調査月報

毎号、特集としてテーマを設定し、一体性を持たせた編集を行った。ヘルスケア産業（6月号）や海洋エネルギー（10月号）、スマート農業（2月号）、スマートモビリティサービス（3月号）といった新しい産業のほか、インバウンド（7月号）や農産物輸出（8月号）、Society5.0（9月号）、ポスト支店経済（4月号）など、社会的関心の高いテーマの特集化に力を入れた。また、半導体産業の新たな動きなど、九州の基幹産業に関する特集も実施した。

発行日	内 容
5月号 4月27日(金) 発行	特 集 九州の地域研究 (Report) 2017年度九経調地域研究助成・顕彰事業概要と審査結果、研究発表会 災害派遣時の保育支援 八女市予約型乗合タクシーの評価 戦略的に創るコンパクトシティ
6月号 5月31日(木) 発行	特 集 ヘルスケア産業 (Report) 九州における次世代ヘルスケアビジネス 次世代ヘルスケアサービスにおける情報流通基盤の構築

	機械への生成：人類にとって AI・ロボットとはなんでありうるか
7月号 6月28日(木) 発行	<b>特集</b> <b>インバウンド 1,000 万人時代に向けた九州の戦略</b> (Report) インバウンド 1,000 万人時代に向けた九州の戦略 超広域連携による九州の新たなインバウンド戦略 スポーツと地域活性化 五つ星ホテルが開く九州のプレミアム経済 大分県における訪日外国人旅行者の現状 クルーズ船客の受入れ体制 ナイトタイムエコノミーの創出 (One point) ビッグデータでみる高級宿泊施設の分布 (連載) 価値創造の源流 (43) ニシム電子工業(株)
8月号 7月30日(月) 発行	<b>特集</b> <b>一次産業の成長産業化に向けたブランド戦略</b> (Report) 一次産業の成長産業化に向けたブランド戦略 イチゴ新品种「恋みのり」の挑戦 香港向け輸出に見る九州の農産物輸出ビジネスの展望 宮崎県内「畜産クラスター」からの発信 日本の農業の 30 年後を問う (One point) 九州の農水産物・飲食料品の品目別輸出状況 (連載) 価値創造の源流 (44) アイスマン(株) アグリプレナーの実践 (19) 新しい食肉用動物「ダチョウ肉」の普及に取り組む KO コープ 九州の文化・芸術 (4) 喜如嘉の芭蕉布
9月号 8月30日(木) 発行	<b>特集</b> <b>九州の Society5.0 企業</b> (Report) 九州の Society5.0 企業 九州における地域未来牽引企業の特徴 地方中小都市における知識産業集積の可能性 イノベーション創出に向けた福岡市のスタートアップ支援策 ドローンビジネスの潮流と九州での実戦ポテンシャル 民間農業ビジネススクール AGSA の挑戦 (連載) 価値創造の源流 (45) (株)ロジカルプロダクト
10月号 10月2日(火) 発行	<b>特集</b> <b>九州の多様性を生かした海洋エネルギー開発</b> (Report) 九州の多様性を生かした海洋エネルギー開発 九州における海洋エネルギー開発の動向 北九州市響灘地区洋上風力産業拠点の形成による地域振興・雇用創出 2018 年度九州経済の見通し (改訂) (連載) 九州の文化・芸術 (5) 久米島紬 価値創造の源流 (46) (一社) ジャパン・コスメティックセンター
11月号 10月31日(水) 発行	<b>特集</b> <b>シリコンアイランド九州の新しい地平</b> (Report) シリコンアイランド九州の新しい地平 半導体産業と九州のポテンシャル ビッグデータ時代におけるシリコンアイランド九州の可能性 IoT 社会を支える福岡の半導体関連産業 IoT/AI 時代を睨んだ九州におけるミニマルファブの展開 半導体関連企業の新事業展開 (連載) 価値創造の源流 (47) フェニテックセミコンダクター(株)鹿児島工場
12月号 11月29日(木) 発行	<b>特集</b> <b>九州における「新しい福祉」の萌芽</b> (Report) 九州における「新しい福祉」の萌芽 企業と福祉の接点に生じる共通価値～就労支援からみる新たな取り組みの視点～ 仕事と介護の両立の隠れた問題～介護によるプレゼンティーズム～

	<p>(One point) 雇用面からみた九州地域の医療・福祉業</p> <p>(連載) 地域 SDGs とスポーツ (1) スポーツの力が解決する地域課題 地域 SDGs とスポーツ (2) 全日本トライアスロン宮古島大会 九州の文化・芸術 (6) 福博喫茶文化小史</p>
<p>1 月号 12 月 26 日 (水) 発行</p>	<p><b>特 集 九州の新たな 1 年</b></p> <p>(Report) 九州の新たな 1 年 プラス成長維持も、正念場の一年 経済・産業で振り返る平成 地域創生のプレミアム (付加価値) 戦略～稼ぐ力で上質なマーケットを つくり出す～</p> <p>(連載) 地域 SDGs とスポーツ (3) ギラヴァンツ・オープンマインドプログラム</p>
<p>2 月号 1 月 31 日 (木) 発行</p>	<p><b>特 集 九州におけるスマート農業の未来</b></p> <p>(Report) 九州におけるスマート農業の未来 スマート農業の実現に向けた取り組みの現状と今後の展望 九州農政局におけるスマート農業推進に関する取り組み 九州におけるスマート農業の可能性</p> <p>(One point) 東京では「食べ物」、大阪では「温泉」が九州観光のキラーコンテンツ</p> <p>(連載) アグリプレナーの実践 (20) 南九州のサツマイモを世界に展開するくしま アオイファーム</p>
<p>3 月号 3 月 4 日 (月) 発行</p>	<p><b>特 集 スマートモビリティサービス</b></p> <p>(Report) スマートモビリティサービス モビリティ 2.0 時代の到来 ～「スマホ化する自動車」が地域、そして日本経済の活性化を促す～ 移動革命と MaaS 西日本鉄道とトヨタによるマルチモーダルモビリティサービス「my route」実証 実験 鹿児島島の未来の交通インフラを考える</p> <p>(One point) 九州地域における交通シェアリングビジネスの現状</p>
<p>4 月号 4 月 4 日 (木) 発行</p>	<p><b>特 集 ポスト支店経済</b></p> <p>(Report) ポスト支店経済 九州における年齢階級別人口移動 ポスト支店経済期における福岡の都市成長と九州</p> <p>(One point) 10 万人を超えた九州の外国人労働者数</p>

## 2) データ九州 (九州経済調査月報付録)

データ九州は、月報付録として年 4 回発行している。9 月号では、Society5.0 の実現に求められる技術分野で活躍する企業を集めた「九州・山口の Society5.0 企業 (2018)」を 10 月号、3 月号では設備投資動向をまとめた「九州・山口の設備投資 (2018 上半期 (1～6 月)、下半期 (7～12 月))」を発行した。4 月号では、「九州・山口の海外進出 2018」を発行した。

9 月号	データ九州 (No1164)	「九州・山口の Society5.0 企業 (2018)」
10 月号	データ九州 (No1165)	「九州・山口の設備投資 (2018 上半期 1～6 月)」
3 月号	データ九州 (No1166)	「九州・山口の設備投資 (2018 下半期 7～12 月)」
4 月号	データ九州 (No1167)	「九州・山口の海外進出 2018」

### 3) 2019年版 図説九州経済

九州・沖縄・山口の経済を、図表やデータで分かりやすく解説したもので、毎年1回刊行している。2019年版は、海外からのお客様のニーズを意識し、図表タイトル等や凡例での英語表記を充実させた。

『2019年版 図説九州経済』

平成30年10月17日刊行

### 4) メールマガジン（九経調ニュースレター）

九州・山口におけるビジネスの動きをヘッドライン形式で配信する「KYUSHU BUSINESS HEADLINE」を月2回配信した他、当会主催・共催のセミナー等の案内、当会の刊行物の案内を配信した。

メールマガジン配信件数 122 件 （平成30年4月1日～平成31年3月31日）

### ③幹事会からの提案による自主研究

「Society5.0を主導する九州の企業と事業」をテーマに、上期は、調査全体の設計（九州のSociety5.0関連企業の事例集の作成など）と、「九州・山口のSociety5.0企業」リスト作成を進めた。その結果、九州・山口の関連企業約300社を抽出し、リストは月報9月号付録「データ九州」で発表した。下期は、本格的な調査に移行し、事例集作成のための企業ヒアリングや事例分析などを進めた。報告書は6月末の完成を予定している。

#### ◆『Society5.0を主導する九州の企業と事業』報告書構成（案）

第1章：はじめに～Society5.0と九州での対応分野～

第2章：“まち”の変化に貢献するSociety5.0

第3章：“ひと”の変化に貢献するSociety5.0

第4章：“しごと”の変化に貢献するSociety5.0

第5章：九州におけるSociety5.0企業・事業の特徴

おわりに

### ④地域経済情報のデジタル配信

創立70周年記念事業で構築する情報プラットフォーム等を活用し、月報、データ九州、図説九州経済を始めとする地域経済情報のデジタル配信に向けて準備を進めた。

### ⑤その他の事業

地方銀行調査担当部長会議、地方シンクタンク協議会に参加する他、国内外の主要会議への協力、国の出先機関や自治体幹部等との意見交換会などを行った。

### 1) 九州・山口地方銀行調査担当部長会議

昭和42年度より毎年2回、九州・沖縄・山口の地方銀行や系列シンクタンクの部長級が集まり、各地の情勢報告と情報交換を行っている。九経調の参加・講演が恒例となっている。

日程	会議名	テーマ	講師・参加者	参加者数
6月5日 (火)	九州・山口地方銀行調査担当部長会議(佐世保)	「30年後に向けた九州・山口の発展戦略」	片山部長(講演)	15人
2月28日 (木)	九州・山口地方銀行調査担当部長会議(熊本)	「スポーツの成長産業化と九州経済」	大谷次長(講演)	13人

#### 加盟機関

(株)FFG ビジネスコンサルティング	(公財) 地方経済総合研究所	(株)りゅうぎん総合研究所
(株)ちくぎん地域経済研究所	(株)大銀経済経営研究所	(株)おきぎん経済研究所
(株)佐賀銀行総合企画部	(一財)みやぎん経済研究所	(一財)山口経済研究所
(株)長崎経済研究所	(株)九州経済研究所	(公財)九州経済調査協会

## 2) 地方シンクタンク協議会

当会は、地方シンクタンク協議会に加盟しており、3回の会合に参加した。6月の会合では、当会は「ITSが拓く地域経済活性化」を発表した。

日程	会議名	テーマ	講師・参加者	参加者数
6月6日 (水)	九州・沖縄ブロック総会・研究事例発表会・交流会(福岡)	事例発表「ITSが拓く地域経済活性化」	岡野部長(報告者)、渡辺研究員	17人
11月29日 (木)	九州・沖縄ブロック意見交換会	講演「伊都キャンパス移転とその効果」 視察「九州大学伊都キャンパス視察」	講師：安浦寛人氏 (九州大学副学長) 九経調参加者 田中副部長、小柳主査、渡辺研究員	14人
3月14日 (木)	九州・沖縄ブロック若手研究員交流会	講演「都市・地域のグローバル競争戦略」  論文発表： ①「沖縄県内の交通渋滞の現状及びその解消に向けた政策案」 ②「スポーツコミュニティによる防災力向上に関する一考察」	講師：久保隆行氏 (立命館アジア太平洋大学准教授)  (一財) 南西地域産業活性化センター (公財) 福岡アジア都市研究所 九経調参加者 原口研究員、竹下研究員、南研究員	17人

#### 九州・沖縄ブロック加盟機関

(公財)福岡アジア都市研究所	(株)よかネット	(株)ちくぎん地域経済研究所
(一財) 南西地域産業活性化センター	(公財)九州経済調査協会	

## 3) 国内主要会議、国際会議、意見交換会等

日程	会議名	テーマ	講師・参加者	参加者数
4月7日 (土)	(一社) 高齢社会共創センター 東京大学高齢社会総合研究機構	第1回リビングラボ・ネットワーク会議(日本・スウェーデン合同会議)	原口研究員	100人
5月9日 (水)	アジア太平洋地域 ITS フォーラム 2018 福岡	ITSが拓く地域経済活性化	中川主任研究員(報告)	70人

5月30日 (水)	福岡・釜山の交流拡大に向けたシンポジウム～日韓シンクタンク合同成果報告会（福岡市）	ビッグデータを活用した宿泊施設日次稼働率予測システム 道路情報システム（ITS）が拓く地域経済活性化	高木理事長、片山部長（報告）、中川主任研究員（報告）	45人
8月31日 (金)～9月1日 (土)	第13回福岡・釜山フォーラム、釜山会議2018（釜山市）	福岡・釜山を起点とした日韓パートナーリング	高木理事長（第1セッション報告）、加峯部長	70人
9月26日 (水)	国際社会学会議（ISSC）、九州大学、日本学会議、科学技術研究機構（JST）	第4回 World Social Science Forum『持続可能な未来のための生存・安全の確保』	原口研究員	500人
10月17日 (水)～19日 (金)	日韓海峡圏研究機関協議会	日韓海峡圏研究機関協議会総会会議・研究報告会「人口問題と地域活性化」	原口研究員、竹下研究員	50人
11月20日 (火)	九州経済国際化推進機構	第17回環黄海経済・技術交流会議「太陽光発電 O&M ビジネスの展望と韓国・中国でのビジネス展開可能性」	藤井次長	312人

#### 4) 東京大学地域未来社会連携研究機構との連携事業

地域経済社会の発展に寄与することを目的に、平成30年4月1日、東京大学地域未来社会連携研究機構と連携協定を締結した。3つの連携内容は、1.シンポジウムやワークショップ、共同研究等を通じた地域研究の推進、2.地域の課題に応えるプロフェッショナル人材の育成・交流、3.「地域未来投資促進法」等の国や自治体の各種事業との連携とし、当面、2.の連携内容に即して、当会自主研究や周年事業での技術的サポートおよび情報交換等進める予定である。

#### (2) 受託研究事業

平成30年度の受託研究は、計62本のプロジェクトに取り組んだ。

平成30年度は、地方自治体において総合計画や新しい法律の施行に沿った行政計画策定の業務が多く、5市の総合計画、および基本計画策定支援業務を受注した。また、前年度から続いて観光分野の受託調査も多く、平成30年度はアジアのみならず、欧米豪やFIT（海外個人旅行）に向けた九州観光のプロモーションを図るための基礎的調査を複数手がけ、九州の観光戦略に繋げる役割を果たした。

その他の産業分野については、ロボット産業やビッグデータ/IoT関連のメインプレイヤーとSIer（システムインテグレーター）の技術・業界動向調査を手がけ、それら産業振興に資する産学連携施設、およびオープンイノベーション拠点のあり方など、九州における次世代産業の振興に繋がる受託調査も行った。

#### 【分野別受託研究一覧】

(統計作成・分析)		
1	地域別支出総合指数(RDEI)の作成・分析・検証業務	内閣府
2	福岡市シティプロモーションサイトコンテンツデータ作成支援業務	㈱クープス（福岡市）
3	景気ウォッチャー調査（九州地域）	三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株) (内閣府)
4	図説九州経済2019のGISデータ整理業務	九州電力(株)
5	中小企業の動向分析業務	福岡県
(地方創生)		

6	にしきまるごと創造プロジェクト運営支援業務	錦町
7	「第2次佐賀市総合計画」及び「佐賀市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」の見直しに向けた基礎調査分析業務	佐賀市
8	人口減少問題講演会開催業務	佐賀市
9	「下関地域商社／海外販路開拓支援事業」に係る展開可能性事業者調査業務	下関市
<b>(地域振興)</b>		
10	行橋市における経済波及効果に関する分析業務	㈱日本経済研究所
11	九州経済を考える懇談会	(一財)九州地域産業活性化センター
12	地域政策デザイナー養成講座支援事業	地域政策デザイナー養成講座実行委員会
13	みやま柳川 IC 北地区工業団地整備による経済波及効果推計業務委託	みやま市
14	九州大学学術研究都市推進機構中期事業計画策定支援業務委託	(公財)九州大学学術研究都市推進機構
15	第19回 FINA 世界水泳選手権 2021 福岡大会に係る経済波及効果調査委託	第19回 FINA 世界水泳選手権 2021 福岡大会組織委員会
16	うるま市産業基盤整備計画基本構想策定事業	うるま市
<b>(産業振興)</b>		
<b>①産業全般</b>		
17	九州オープンイノベーションセンター構想研究会で利用する報告書作成に関する業務委託	(一財)九州地域産業活性化センター
18	北九州学術研究都市産学連携施設の機能と今後のあり方に関する基礎調査	北九州市
<b>②電子部品・デバイス関連</b>		
19	アジア半導体機構企画・運營業務	アジア半導体機構
20	GaN系半導体のアプリケーション調査	国立大学法人名古屋大学
<b>③環境・資源エネルギー</b>		
21	平成30年度地域中核企業創出・支援事業(太陽光発電の3R事業化促進事業)	九州経済産業局
22	自然エネルギーの普及と促進に係る事業(九州グリーン電力基金事業)における太陽光発電所の中古査定・評価等に関する調査	九州環境エネルギー産業振興機構(K-RIP)
23	地域の特性や資源を活かした分散型エネルギーシステム導入等事例集作成業務	福岡県
24	福岡県再生可能エネルギー導入支援システムに係るデータ更新業務	福岡県
<b>④観光</b>		
25	福岡県観光動態調査業務	福岡県
26	九州国立博物館来館者・居住者調査業務	福岡県立アジア文化交流センター
27	福岡市における新観光・MICEの課題抽出及び対応策検討業務委託	福岡市
28	欧米豪をターゲットとした九州観光関心度等の基礎調査	九州運輸局
29	九州における訪日外国人旅行者消費動向等調査事業	九州運輸局
30	九州観光に関する旅行者インサイト調査業務	(一社)九州観光推進機構
31	九州・中四国地域における観光振興事例調査	㈱北海道二十一世紀総合研究所
32	九州アジア観光アイランド特区ガイド活用事業(特区ガイド実態調査)	(一社)九州観光推進機構
<b>⑤医療・福祉</b>		
33	高齢社会課題解決に向けた共創拠点の構築	(国研)科学技術振興機構
34	平成30年度福岡市地域包括ケアシステム推進事業支援業務委託	福岡市
35	生活支援体制整備事業連携支援・調査業務委託	福岡市
36	大牟田市地域医療・介護連携ビジョン推進支援業務	大牟田市
37	IoTを用いた運動行動変容のためのプログラム開発：フレイルの観点から	(国研)日本医療研究開発機構

38	日本のリビング・ラボ推進現況と主要活動に関する報告書	科学技術政策研究院
39	福岡県ジェネリック医薬品アンケート及びヒアリング調査業務	福岡県
<b>⑥新産業・新技術</b>		
40	アジア半導体機構企画・運営業務	アジア半導体機構
41	平成 30 年度「地域中核企業創出・支援事業:産学連携・ベンチャー活用等による成長分野(医療・ヘルスケア、農林水産・食品等)展開」における大学シーズマップ作成に係る請負業務	(一財)九州地域産業活性化センター
42	平成 30 年度地域ものづくり企業の生産性革命に向けた「北九州地域を核としたシステムインテグレータ・ネットワーク構築事業」に係るシステムインテグレータ実態調査業務委託	(公財)北九州産業学術推進機構
43	介護ロボットの安全性検証施設に関する調査業務	(公財)北九州産業学術推進機構
<b>(社会資本)</b>		
44	福岡県自転車利用環境に関するアンケート調査	福岡県
45	平成 30 年度九州地域の港湾整備に関連する企業の投資動向調査	九州地方整備局
46	水前寺江津湖公園費用対効果分析業務委託	熊本市
47	平成 30 年度ウォーターフロント地区再整備に伴う効果等に関する更新業務	福岡市
48	宮崎市及び福岡市を起点とする時間地図印刷データ作成業務	宮崎県
<b>(雇用・人材育成等)</b>		
49	平成 30 年度生涯現役促進地域連携事業 食料品製造業事業所ヒアリング支援及び企業ニーズの把握・分析業務	(公社)福岡県雇用対策協会
50	卒業生アンケートに係る集計分析業務	下関市立大学
51	「少子高齢化・雇用委員会」運営支援業務	(一社)九州経済連合会
52	公的職業訓練に関するサービスガイドライン設計業務	職業訓練法人福岡地区職業訓練協会
<b>(行財政)</b>		
53	第 2 次下関市総合計画後期基本計画策定・編纂支援業務	下関市
54	久留米市新総合計画次期基本計画策定支援業務	久留米市
55	第 6 次田川市総合計画基本構想策定業務委託	田川市
56	第 2 次唐津市総合計画後期基本計画素案作成業務	唐津市
57	第 6 次荒尾市総合計画(仮称)策定支援業務	荒尾市
58	平成 30 年度県政世論調査業務	山口県
59	子育て等に関する県民意識調査	福岡県
<b>(その他)</b>		
60	2020 を契機としたスポーツ×地域産業等による地域・経済活性化モデル構築支援事業に関する役務請負	九州経済産業局
61	平成 30 年度政策金融評価の支援業務	沖縄振興開発金融公庫
62	平成 30 年度 2020 年以降における九州の持続可能な成長に向けた調査事業	九州経済産業局

### (3) 九経調地域研究助成・顕彰事業

九経調地域研究助成・顕彰事業は、九州の地域浮揚のための知恵やアイデア、人材を発掘するために、平成 26 年度から溝江建設㈱の支援を受けて実施している。

助成事業については、平成 30 年 4 月 13 日～5 月 31 日の応募期間に 27 本の申請があり、九経調地域研究助成・顕彰委員会で 6 本の助成先候補を選定し、理事会にて正式に助成先を決定した。顕彰事業については、九経調地域研究助成・顕彰委員会で審査し、最優秀賞(みぞえ賞)、優秀賞(溝江建設

賞)、奨励賞を選定、理事会にて正式決定した。さらに、平成31年3月11日の研究発表会において、表彰とみぞえ賞受賞者による発表を行った。

#### ■助成先の審査結果 (20万円助成/本)

	テーマ	申請者・研究代表者
1	自治体運行の地域公共交通に関するオープンデータ化とその効果に関する研究	稲永健太郎 (九州産業大学理工学部)
2	人口減少・超高齢社会における都市機能の連携・分担に関する研究～「ひとつの九州」と「ひとつひとつの九州」の両立に向けて～	吉次翼 (慶應義塾大学 SFC 研究所)
3	これからの地方の図書館の可能性	宇野鮎子 (宮崎県立日向高等学校)
4	過疎地域における賃貸住宅の移住促進と地域社会への影響についての研究—八女市上陽町久木原地区の新築賃貸集合住宅の事例を中心として—	長谷川繁 (八女里山賃貸(株)/株DMX)
5	中山間被災地域における生業継続のための交流空間デザイン	福田健 (九州大学大学院芸術工学府)
6	くるめ野菜の普及を通じた地域農業の振興と食文化の担い手育成	富吉満之 (久留米大学経済学部)

#### ■顕彰先の審査結果

顕彰内容	テーマ	申請代表者	備考
【最優秀賞】 (みぞえ賞) 副賞:30万円	過疎地域における賃貸住宅が移住促進と地域社会に与える影響に関する研究—八女市上陽町久木原地区の賃貸集合住宅の事例を中心として—	八女里山賃貸(株) 長谷川繁 (共同執筆:沖雅之・宮寄慧)	20万円 研究助成
【優秀賞】 (溝江建設賞) 副賞:10万円	該当なし		
【奨励賞】 副賞:記念品	新しい時代を迎える高等学校図書館の可能性	宮崎県立日向高等学校 学校司書エリアコーディネーター 宇野鮎子	20万円 研究助成
	くるめ野菜の普及を通じた地域農業の振興と食文化の担い手育成	久留米大学経済学部 准教授 富吉満之	20万円 研究助成

#### ■九経調地域研究助成・顕彰委員会 委員

	氏名(敬称略)	所属	役職	備考
1	川崎隆生	(株)西日本新聞社	会長	民間
2	安浦寛人	九州大学	副学長	大学
3	山岐真作	(株)日本政策投資銀行 九州支店	九州支店長	民間
4	松田美幸	福津市	副市長	公共
5	高木直人	(公財)九州経済調査協会	理事長	主催者

#### ■九経調地域研究助成・顕彰事業スケジュール

期間	内容
4月13日(金)～5月31日(木)	平成30年度 研究テーマの募集
6月18日(月)	平成30年度 第1回 九経調地域研究助成・顕彰委員会開催 助成先を選定(書面理事会で決定)(平成31年1月31日 論文提出締切り)
7月6日(金)～1月31日(木)	論文の一般募集
2月22日(金)	平成30年度 第2回 九経調地域研究助成・顕彰委員会開催

	最優秀賞（みぞえ賞）、奨励賞を選定（3月4日 理事会で決定）
3月11日（月）	研究発表会を開催。顕彰論文を表彰、みぞえ賞受賞者による発表（於：電気ビル共創館 カンファレンスA）来場者100人

### 3. 講演会・セミナーの開催

九経調では、研究成果を広く伝えるために、定例の講演会やセミナーを各地で開催している。また、BIZCOLIでは、多様なテーマで定期的にセミナーを開催している。平成30年度の九経調主催による講演会・セミナーは、合計74回であった。

#### （1）九州・沖縄・山口でのセミナー等

##### 九州経済白書説明会（計12回）

九州経済白書「スポーツの成長産業化と九州経済」の刊行後、九州・沖縄・山口の12都市で開催した。

地区	日時	会場	共催・後援機関	説明者	参加者数
福岡	2月8日 （金）	FFGホール（福岡銀行本店地下）	(株)ふくおかフィナンシャルグループ 福岡商工会議所 (株)FFGビジネスコンサルティング	大谷次長	178人
北九州	2月20日 （水）	FFG北九州本社ビル	(株)ふくおかフィナンシャルグループ （一社）西日本工業倶楽部 北九州商工会議所 (株)FFGビジネスコンサルティング	片山部長	60人
久留米	3月7日 （木）	筑邦銀行本店	(株)筑邦銀行 久留米商工会議所 (株)ちくぎん地域経済研究所	片山部長	64人
佐賀	2月15日 （金）	佐賀銀行本店	(株)佐賀銀行	片山部長	30人
長崎	2月21日 （木）	十八銀行本店	(株)十八銀行 (株)長崎経済研究所	大谷次長	39人
佐世保	3月6日 （水）	FFG佐世保ビル	(株)ふくおかフィナンシャルグループ (株)親和銀行 佐世保商工会議所 (株)FFGビジネスコンサルティング	大谷次長	14人
熊本	3月5日 （火）	肥後銀行熊本駅前支店	(株)肥後銀行 （公財）地方経済総合研究所 熊本経済同友会	片山部長	45人
大分	3月8日 （金）	大分銀行 宗麟館	(株)大分銀行 (株)大銀経済経営研究所	大谷次長	63人
宮崎	2月22日 （金）	ニューウェルシティ宮崎	(株)宮崎銀行 （一財）みやざん経済研究所	大谷次長	59人
鹿児島	2月26日 （火）	鹿児島中央ビルディング	(株)鹿児島銀行 (株)九州経済研究所	片山部長	62人
沖縄	2月19日 （火）	沖縄かりゆしアーバンリゾート・ナハ	(株)沖縄銀行 (株)おきぎん経済研究所	大谷次長	33人
山口	2月26日 （火）	シーモールパレス	(株)山口銀行 （一財）山口経済研究所	大谷次長	46人

## (2) 定例の講演会・セミナー

### ①九経調交流会（1回）

平成30年度は「公益資本主義 2050年の国家目標 天寿を全うする直前まで健康でいられる社会の実現」をテーマに、アライアンス・フォーラム財団代表理事の原丈人氏を講師にお招きして講演会を開催したのち、懇親会で会員同士の交流を深めた。

日 程	テーマ	講 師	参加者数
2月7日 (木)	公益資本主義 2050年の国家目標 天寿を全うする直前まで健康でいられる社会の実現	アライアンス・フォーラム財団代表理事、 デフタパートナーズグループ会長、内閣 府本府参与 原丈人氏	219人

### ②研究報告会（1回）

平成30年度は、前年度の幹事会提案の自主研究に基づいて「ITS（高度道路交通システム）が拓く地域経済活性化」をテーマに研究報告会を開催した。

日 程	テーマ	講 師	参加者数
7月18日 (水)	ITSが拓く地域経済活性化	中川主任研究員	75人

### ③アジア経済講演会（1回）

昭和37年以来、アジア経済研究所との共催で毎年開催している。平成30年度は、中国華南・珠江デルタ地域をテーマに開催した。

日 程	テーマ	講 師	参加者数
10月30日 (火)	発展する中国華南・珠江デルタ～ビッグベイ エリア構想と日系企業の勝算	ジェトロ・アジア経済研究所 開発研究 センター 企業・産業研究グループ研究員 丁可氏 ㈱安川電機 執行役員 中国統括 安川電 機(中国)有限公司 董事長 生山武史氏	57人

備考) ジェトロ・アジア経済研究所、ジェトロ福岡、九経調の三者共催

### ④調査技法セミナー（2日間開催。1回）

九州・山口の地方銀行系シンクタンク研究者を主な対象とした勉強会を毎年開催している。平成30年度は、GIS（地理情報システム）、BI（ビジネス・インテリジェンス）ツールを活用した、地図データやビッグデータの可視化・分析に関する実践的なプログラムを組み、合計25名で実施した。

日 程	内 容	講 師	参加者数
7月25日 (水)	QGIS 入門演習	小柳研究主査	23人
7月26日 (木)	Tableau 入門	㈱カホエンタープライズ 最高技術責任者 宮田和三 郎氏、マネージャー 山縣一輝氏	19人

注) 自主研究・事業基金を活用した事業

参加機関

㈱FFG ビジネスコンサルティング	㈱長崎経済研究所	㈱九州経済研究所
㈱NCB リサーチ&コンサルティング	(一財)山口経済研究所	㈱北九州経済研究所
㈱大銀経済経営研究所	(一財)みやぎん経済研究所	㈱ちくぎん地域経済研究所
(公財)九州経済調査協会		

⑤経済講演会（1回）

三井住友アセットマネジメント㈱理事・チーフエコノミストの宅森昭吉氏を招いて、「街角から日本の景気を展望する」をテーマに、㈱ふくおかフィナンシャルグループとの共催にて開催した。

日程	テーマ	講師	参加者数
10月16日 (火)	街角から日本の景気を展望する	三井住友アセットマネジメント㈱ 理事・チーフエコノミスト 宅森昭吉氏	106人

⑥地域研究顕彰事業研究発表会（1回）

前出の九経調地域研究顕彰事業において選ばれた優秀な論文を顕彰し、顕彰された論文についてプレゼンテーションを行う研究発表会を開催した。

日程会場	発表者	参加者数
3月11日 (月) 電気ビル 共創館	<p>【論文提出者】</p> <p>①「自治体運行の地域公共交通に関するオープンデータ化とその効果に関する研究」 稲永 健太郎（九州産業大学理工学部）</p> <p>②「人口減少・超高齢社会における都市機能の連携・分担に関する研究～「ひとつの九州」と「ひとつひとつの九州」の両立に向けて～」 吉次 翼（慶應義塾大学 SFC 研究所）</p> <p>③「新しい時代を迎える高等学校図書館の可能性」 宇野 鮎子（宮崎県立日向高等学校）</p> <p>④「過疎地域における賃貸住宅が移住促進と地域社会に与える影響に関する研究－八女市上陽町久木原地区の賃貸集合住宅の事例を中心として－」 長谷川 繁（八女里山賃貸㈱/㈱DMX）</p> <p>⑤「中山間被災地域における生業継続のための交流空間デザイン－熊本地震後の南阿蘇村を対象として－」 福田 健（九州大学大学院芸術工学府）</p> <p>⑥「くるめ野菜の普及を通じた地域農業の振興と食文化の担い手育成」 富吉 満之（久留米大学経済学部）</p> <p>【前年度最優秀賞受賞者】</p> <p>①「災害派遣時における保育支援」 蓮池勢津子（航空自衛隊築城基地）</p>	100人

(3) BIZCOLI でのセミナー・イベント

BIZCOLI では、自主事業として数多くのセミナーやイベントを開催しており、平成 30 年度は合計 56 回であった。セミナー終了後には、交流ラウンジで名刺交換会を開催し、参加者相互の人脈形成の場を提供している。

①イブニングセミナー（計 11 回）

当会研究員や当会月報への寄稿者によるセミナーを不定期に開催している。年間を通じて、インバウンドや農業成長産業化、Society5.0、海洋エネルギー、シリコンアイランド、スマート農業、スマートモビリティサービスなどといった九州の成長戦略に係るセミナーを開催した。

日 程	テーマ	講 師	参加者数
6月1日(金)	ニュータウン地域における高齢化の現状	竹下研究員	40人
7月17日(火)	インバウンド1,000万人時代に向けた九州戦略	松嶋主任研究員、島田研究主査	41人
8月21日(火)	一次産業の成長産業化に向けたブランド化戦略	松嶋主任研究員、野見山調査役	23人
9月11日(火)	九州の Society 5.0 企業	松嶋主任研究員、渡辺研究員	28人
9月28日(金)	中国の資源ごみ輸入規制の動向と九州への影響 ～世界を漂う廃棄物の行方～	八木研究員	22人
10月9日(火)	九州の多様性を生かした海洋エネルギー開発	松嶋主任研究員、小柳研究主査	13人
11月13日(火)	シリコンアイランド九州の新しい地平	岡野部長、松嶋主任研究員	32人
12月11日(火)	「新しい福祉」の萌芽	西部ガス絆結(株) 代表取締役社長 船越哲郎氏 (株)ふくしごと コミュニケーション ディレクター 山内泰氏 ラボラトリオ(株) 統括マネージャー 南伸太郎氏 松嶋主任研究員	26人
1月8日(火)	九州の新たな1年	松嶋主任研究員、小柳研究主査	26人
2月13日(水)	九州におけるスマート農業の未来 東京・大阪 在住者の九州観光に関するイメージアンケート	松嶋主任研究員	9人
3月12日(火)	スマートモビリティサービス	松嶋主任研究員	27人

## ②地域経営セミナー（計16回）

地域活性化や企業競争力強化をテーマに開催しており、上期は「地域創生のプレミアム戦略」や「九州バカ 世界とつながる地元創生起業論」といった書籍の著者を招聘し開催した。

日 程	テーマ	講 師	参加者数
5月16日 (水)	生産性を高める職場の基礎代謝	特定非営利活動法人沖縄人財クラスタ研究会 代表理事 白井旬氏	18人
7月10日 (火)	地域創生のプレミアム戦略 ～稼ぐ力で上質なマーケットをつくり出す～	中央大学大学院経済学研究科 教授 山崎朗氏	32人
8月10日 (金)	世界とつながる地元創生起業論	有限会社一平 代表取締役 村岡浩司氏	54人
8月23日 (木)	2030SDGs カードゲームによる組織活性化 &リーダー人材育成ワークショップ	特定非営利活動法人沖縄人財クラスタ研究会 代 表理事 白井旬氏	35人
8月30日 (木)	デジタルフォレンジックに触れる	EY 新日本有限監査法人 Forensics 事業部 Technology チームジャパンリーダー 杉山一 郎氏、同部 マネージャー 柳裕二氏	11人
9月19日 (水)	サイバー攻撃の現状と求められる施策 第1回サイバー攻撃の現状	EY 新日本有限監査法人 Forensics 事業部 Technology チームジャパンリーダー 杉山一 郎氏、同部 一瀬友祐氏	20人
10月10日 (水)	サイバー攻撃の現状と求められる施策 第2回サイバー攻撃への対策	EY 新日本有限監査法人 Forensics 事業部 Technology チームジャパンリーダー 杉山一 郎氏、同部 マネージャー 一瀬友祐氏	17人
10月16日 (火)	レゴ(R)ブロックで描く組織と地域の未 来デザイン	特定非営利活動法人沖縄人財クラスタ研究会 理事 白井旬氏	15人
10月31日 (水)	サイバー攻撃の現状と求められる施策 第3回サイバー攻撃への対策	EY 新日本有限監査法人 Forensics 事業部 Technology チームジャパンリーダー 杉山一 郎氏、同部 マネージャー 一瀬友祐氏	9人
12月14日 (金)	PR も同時にできる！Makuake クラウド ファンディングセミナー	(株)マクアケ 取締役 坊垣佳奈氏	27人

1月17日 (木)	第1回 未来会計セミナー 『未来からの逆算』が会社を大きく変える！	(株)日本BIGネットワーク 代表取締役 IG 会計グループ 代表、日本 M&A 協会 会長 岩永経世氏	19人
1月17日 (木)	続編！「職場の基礎代謝」アップ 社員・顧客・会社を元気にする「不」の解消法	特定非営利活動法人沖縄人財クラスタ研究会 理事 白井旬氏	27人
2月1日 (金)	わかりやすい！中国越境 EC セミナー	(株)ナセバナル 代表取締役 橋谷亮治氏	18人
2月13日 (水)	第2回 未来会計セミナー 『経営者目線の“決算書”の見方、活かし方』	(株)IG プレーン 未来会計コンサル 山本要輔氏	12人
3月5日 (火)	2030SDGs カードゲームを活用した理想の組織・地域づくりワークショップ	特定非営利活動法人沖縄人財クラスタ研究会 理事 白井旬氏	24人
3月26日 (火)	第3回未来会計セミナー 『自社の資金繰りは 銀行でも会計事務所でもない 経営者が一番解る』	(株)IG プレーン 未来会計コンサル 寺下祐介氏	19人

### ③共催セミナー（計7回）

会員との共催によるセミナーに取り組んでおり、平成30年度は九州朝日放送(株)、(株)電通九州、福津市、九州産業大学産業経営研究所、専門図書館協議会、若林ビジネスサポートと実施した。

日程	テーマ	講師	共催機関	参加者数
5月23日 (水)	ナイトタイムエコノミーの創出～デジタルクリエイティブによるソリューション～	チームラボ 中村洋太氏 (株)ホリーアイランドセールス 代表取締役 小川和也氏	(株)電通九州、若林ビジネスサポート	69人
5月31日 (木)	インバウンドの新たなステージをむかえて 第一部：「山奥の小さな旅館が外国人で満室になる理由」 第二部：「タイ人を九州に誘致する方法」	湯平温泉「山城屋」代表 二宮謙児氏、俳優 佐野ひろ氏	九州朝日放送(株)	95人
9月4日 (火)	温泉旅館の生き残りをかけた長期滞在戦略～別府市鉄輪温泉の取り組み～	九州産業大学地域共創学部 観光学科 教授 浦達雄氏	九州産業大学	35人
10月9日 (火)	地方創生に必要なモノ・コト・シテン	(株)電通 日本開発室インバウンドソリューション開発部長 高橋邦之氏	(株)電通九州、若林ビジネスサポート	107人
11月21日 (水)	福津市の住み良さは「住み良さランキング2018 総合評価」九州・沖縄ブロック1位	福津市長 原崎智仁氏	福津市	48人
2月15日 (金)	アニメ聖地巡礼 これからの観光地づくり～九州の知られざるポテンシャルに迫る～	関東学院大学経営学部 教授 岩崎達也氏 中京大学経営学部 准教授 津村 将章氏 九州産業大学 地域共創学部 准教授 大方優子氏	九州産業大学	39人
3月22日 (金)	九州大学中央図書館視察会 「九州大学中央図書館のコンセプト～開館までの軌跡とともに」	九州大学附属図書館 図書館企画課 企画係長 山根泰志氏	専門図書館協議会	14人

### ④九州国立博物館応援セミナー（計3回）

九州国立博物館の企画展にあわせて、3回開催した。

日 程	テーマ	講 師	参加者数
5月29日 (火)	至上の印象派展～ビュールレ・コレクション	九州国立博物館 特任研究員 碁信祐爾氏	35人
10月23日 (火)	オークラコレクション～古今の美を収集した大倉父子の夢	九州国立博物館 主任研究員 山下善也氏	25人
2月18日 (月)	京都・醍醐寺～真言密教の宇宙	九州国立博物館 主任研究員 森實久美子氏	21人

### ⑤サイエンスカフェ（計11回）

サイエンスカフェは、九州大学が企画し当会が主催して行う科学者による市民向け勉強会である。大学の若手研究者が多彩なテーマで科学の最前線について話題提供しており、2015年にノーベル物理学賞を受賞した梶田先生の特別講演も含め、計11回開催した。

日 程	テーマ	講 師	参加者数
4月6日 (金)	「動き」と「計算」の関係に迫る！	九州大学大学院システム情報科学研究院 情報学部門准教授 山内由紀子氏	36人
4月15日 (日)	特別版「宇宙の謎に迫る！」	東京大学卓越教授・特別荣誉教授、東京大学宇宙線研究所長 梶田隆章氏	221人
5月25日 (金)	磁性ゴムの謎に迫る！	九州大学大学院工学研究院 機械工学部門 准教授 津守不二夫氏	36人
6月22日 (金)	CGの謎に迫る！	九州大学大学院芸術工学研究院 助教 森本有紀氏	31人
8月3日 (金)	同期現象の謎に数学で迫る！	九州大学マス・フォア・インダストリ研究所 准教授 千葉逸人氏	36人
9月21日 (金)	水素細菌の謎に迫る！	九州大学カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所 准教授 尹基石氏	39人
10月19日 (金)	ロボットの身体・知能に迫る！	九州大学大学院工学研究院機械工学部門 准教授 田原健二氏	40人
11月16日 (金)	日本酒の香りを科学する！	九州大学大学院理学研究院科学部門 准教授 村山美乃氏	43人
12月14日 (金)	次元の謎に迫る！	九州大学基幹教育院自然科学理論系部門 准教授 小島健太郎氏	51人
1月25日 (金)	身体の中にお医者さんを送り込む！	九州大学大学院工学研究院応用化学部門 准教授 岸村顕広氏	33人
3月2日 (土)	身体も心！	九州大学基幹教育院人文社会化学部門 准教授 山田祐樹氏	34人

### ⑥ビズコリクラブ（計2回）

ビズコリクラブは、教養を深める少人数セミナーである。平成30年は明治維新150年の節目の年であり、幕末維新をテーマに講師を招聘した。

日 程	テーマ	講 師	参加者数
10月19日 (金)	幕末と維新の薩摩 ー明治維新と薩摩藩、島津家ー	㈱島津興業 代表取締役社長 島津忠裕氏	11人
2月12日 (火)	幕末の長州と筑前が果たした役割	萩博物館特別学芸員／防府天満宮歴史館顧問／至誠館大学特任教授 一坂太郎氏	10人

### ⑦文化アートイベント（計3回）

文化セミナーは6月に「ART FAIR ASIA FUKUOKA 2018」との連動企画で、アートと地域づくりに関するテーマで開催。12月には、「現代アートを買おう！サラリーマンコレクターの経済学」をテーマにART FAIR ASIA 実行委員会と共催で開催した。

日程	テーマ	講師	参加者数
6月29日 (金)	ART FAIR ASIA FUKUOKA 2018 プレイベント「秘密企業×アート」	TERRADA ART ASSIST(株) 代表取締役 是川泰之氏	46人
11月12日 (月)	特別講演会「社会とデザイン」Design for Society	九州大学大学院芸術工学研究院 コンテン ツ・クリエイティブデザイン部門 教授 富松潔氏 Rocket Road(株) 代表取締役社長 泉幸典氏	18人
12月14日 (金)	現代アートを買おう！サラリーマンコレク ターの経済学	アート・コレクター、横浜美術大学教授 京都造形芸術大学客員教授 宮津大輔氏	71人

### ⑧まちづくりセミナー（計2回）

まちづくりに関するテーマで開催しており、平成30年度は「稼ぐ」と「離島」で開催した。

日程	テーマ	講師	参加者数
6月26日 (火)	かせぐまちづくり	フィールド・フロー(株)代表取締役 渋谷健氏	39人
9月13日 (木)	日本の離島は最先端！	NPO 法人離島経済新聞社 統括編集長 鯨本あつこ氏	35人

### ⑨ビッグデータセミナー（計1回）

会員企業におけるAIやビッグデータの活用を促進するため、情報提供のためのセミナーを開催した。先進的な活用事例や、データストアとしてのクラウド基盤、BIツールなどを用いた可視化・活用技術など実践的な内容を想定しており、平成30年度はBIツールをテーマに開催した。

日程	テーマ	講師	参加者数
3月6日 (水)	経営に活かすデータ分析セミナー 第1回「BIツールによる経営革新」	(株)カホエンタープライズ コンサルタント 福田三佳氏	17人

## 4. 経済図書館（BIZCOLI）事業

BIZCOLIは、「九州における知の集積・交流・創造拠点」をコンセプトに、“知”を活用する人が集まる空間づくりに努めている。知の集積拠点としては、業界専門書籍やマーケティング関連書籍の充実を図り、新聞記事等のインターネットによる検索サービスを提供している。知の交流拠点としては、セミナーやイベントを開催して、人が集まり、知的刺激を受ける場を提供している。知の創造拠点としては、企業との共同展示を通じて、アイデアの創出や発想の転換を促進している。

また、ビジネスに集中できるマイデスクゾーン（個室）を提供しており、企画書作成や自己研鑽の空間として活用されている。

## (1) 地域経済図書館としてのサービス

### 1) BIZCOLI の利用状況

平成 30 年度の利用者数は 18,461 人となった。平成 29 年度に開館以来はじめて対前年を下回ったものの、平成 30 年度はサービス向上や広報活動に力を入れたことから、再度増加に転じており、前年度を大きく上回った (10%増)。また、3 月 13 日には、累計の来館者数が 10 万人に到達した。

#### BIZCOLI 利用者数

年 度	利用者数	年 度	利用者数
平成 24 年度	8,044 人	平成 28 年度	16,984 人
平成 25 年度	12,238 人	平成 29 年度	16,743 人
平成 26 年度	13,479 人	平成 30 年度	18,461 人
平成 27 年度	15,486 人		

### 2) 企業・団体との共同展示

BIZCOLI では、書籍や資料のほか、企業の新製品や話題のグッズを展示することで、豊かな発想につながる仕掛けづくりに努めている。平成 30 年度は、26 件の行政や企業、団体等と連携して、常設展示、企画展示を行った。

#### ①常設展示

企業・団体名	展示物など
大分県	県作成のパンフレット、関連統計書など
沖縄県	県作成のパンフレット、関連統計書など
鹿児島県	県作成のパンフレット、関連統計書など
ギャラリー風	絵画の提供
九州エネルギー問題懇話会	書籍、資料の提供
(一社)九州観光推進機構	写真、資料の提供
(一社)九州経済連合会	写真、資料の提供
九州防衛局	防衛白書、地図、スクランブル発信数のグラフなど
熊本県	県作成のパンフレット、関連統計書など
熊本市	政令市作成のパンフレット、関連統計書など
佐賀県	県作成のパンフレット、関連統計書など
(株)ゼンリン	交流ラウンジの地図
DRATION	ドローンの提供
長崎県	県作成のパンフレット、関連統計書など
福岡県	県作成のパンフレット、関連統計書など
福岡財務支局	「九州の未来力」関係資料
福岡市	県作成のパンフレット、関連統計書など
みぞえ画廊	絵画の提供
宮崎県	県作成のパンフレット、関連統計書など
(株)安川電機	双腕ロボットの模型
山口県	県作成のパンフレット、関連統計書など

## ②企画展示

企業・団体名	展示物など
(一社)九州経済連合会	写真、資料の提供
㈱電通九州	電通九州のクリエイターによる“感じる”“考える”“伝える”をテーマとした書籍と書評を展示
㈱西日本新聞社	パネル「2027 首都・福岡」の展示
㈱野村総合研究所	パネル「未来年表 2017-2100」の展示
福岡商工会議所	パネル「二十年後ノ大福岡構想圏」の展示

### (2) 講演会・セミナー会場の運営

BIZCOLI のミーティングルームの提供を行っている。平成 30 年度は、240 件の利用があり、収益額は対前年度比プラス 3%の 219 万円だった。

## 5. 経済団体等支援事業

### (1) 福岡経済同友会からの事務局受託

会員数 514名 (3月末現在)

#### 平成30年度の主な活動 (福岡経済同友会／九州経済同友会)

福岡経済同友会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 通常総会 (1回)、常任幹事会 (3回)、幹事会 (4回) の開催</li> <li>・ 同友フォーラム</li> <li>・ 交流委員会。例会10回開催</li> <li>・ 国際委員会。ドイツ、チェコへの海外視察</li> <li>・ 県立高等学校、市立中学校にて出前講座 16回開催</li> <li>・ 九州メンタープロジェクトメンティー発表会の開催</li> <li>・ カップリングパーティーの開催</li> <li>・ その他、各委員会において講演会、視察会等を開催 など</li> </ul>
九州経済同友会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 代表幹事会 (2回。企画委員会合同会議を含む)</li> <li>・ 企画委員会 (4回。企画委員会合同会議を含む)</li> <li>・ 九州経済同友会大会 (1回)</li> <li>・ 会員合同懇談会 (1回)</li> <li>・ 九州はひとつ委員会 (1回)</li> <li>・ 提言「九州における人口減少・少子化対策のあり方」発表</li> <li>・ 九州地域戦略会議、同幹事会に参加</li> <li>・ 九州合同プロモーション in France</li> <li>・ 全国経済同友会セミナー</li> <li>・ 西日本経済同友会 代表者会議に参加 など</li> </ul>

\*その他講演会、会合など開催 上記を含む総会合数 154回(うち共催・後援 31回)

### (2) 九州経済を考える懇談会の共同事務局

九州経済を考える懇談会は、九州の経済団体のトップが九州経済に関する重要課題について、認識を共有し、課題解決策について議論する会議体である。平成 22 年度に「地域経営を考える政策懇談会」として始まり、平成 25 年 1 月から現在の名称に変更した。(一社)九州経済連合会、(一財)九州地

域産業活性化センター、(公財)九州経済調査協会の三者が共同事務局を組織して運営しており、当会理事長がコーディネーターを務めている。平成30年度は4回開催した。

No	日時・場所	テーマ	参加者
第1回	8月22日 (水) 九経調 会議室	1) 第一次産業の魅力づくりについて 2) 「祭りアイランド九州」の取組について 3) フランスでの九州PR活動実施結果と今後の課題について 4) 女性活躍推進に関する取組について 5) 「九州・大学発ベンチャー振興実践会議」実施結果と今後の対応について	(一社)九州経済連合会 会長 麻生泰氏(座長) (一財)九州地域産業活性化センター 会長 麻生渡氏 九州商工会議所連合会 会長 藤永憲一氏 九州経済同友会 代表幹事 貫正義氏 九州経営者協会 会長 竹島和幸氏 (公財)九州経済調査協会 理事長 高木直人(コーディネーター)
第2回	10月4日 (木) 九経連 会議室	1) 「事業承継対策」について 2) 「祭りアイランド九州」の取組について	(一社)九州経済連合会 会長 麻生泰氏(座長) (一財)九州地域産業活性化センター 会長 麻生渡氏 九州商工会議所連合会 会長 藤永憲一氏 九州経済同友会 代表幹事 貫正義氏 九州経営者協会 会長 竹島和幸氏 (公財)九州経済調査協会 理事長 高木直人(コーディネーター)
第3回	1月30日 (水) 九経調 会議室	1) 「日本・九州経済停滞の原因と実態および日本における貧困下の実態と対策」について 2) 「労働力不足と人材育成」について 3) 「祭りアイランド九州」経済界内の負担金(案)について 4) 次年度懇談会の進め方について	(一社)九州経済連合会 会長 麻生泰氏(座長) (一財)九州地域産業活性化センター 会長 麻生渡氏 九州商工会議所連合会 会長 藤永憲一氏 九州経済同友会 代表幹事 貫正義氏 九州経営者協会 会長 竹島和幸氏 (公財)九州経済調査協会 理事長 高木直人(コーディネーター)
第4回	3月8日 (金) 九経調 会議室	1) 「九州オープンイノベーションセンター構想」について 2) 九州におけるリカレント教育(学び直し)の現状について 3) 次年度懇談会の進め方について 4) 「九州・大学発ベンチャー振興実践会議」実施結果について	(一社)九州経済連合会 会長 麻生泰氏(座長) (一財)九州地域産業活性化センター 会長 麻生渡氏 九州商工会議所連合会 会長 藤永憲一氏 九州経済同友会 代表幹事 貫正義氏 九州経営者協会 会長 竹島和幸氏 (公財)九州経済調査協会 理事長 高木直人(コーディネーター)

### (3) 地域政策デザイナー養成講座の事務局

「地域政策デザイナー養成講座」(事務局長:谷口博文 九州大学 ロバート・ファン/アントレプレナーシップ・センター長、学術研究・産学官連携本部教授)は、地域の具体的な課題を把握し、国内外の情勢や近未来をとらえた広い視野で、地域像をデザイン、政策立案できる人材を「官」「民」を問わず育て、九州地域の発展に貢献することを目的に、平成22年度から開始した九州大学のセミナーである。九州大学、(一社)九州経済連合会、(一財)九州地域産業活性化センター、(株)西日本新聞社、そして当会が実行委員会メンバーとなっている。

平成30年度は72名(受講生37名、聴講生35名)が受講した。4月から11月までに15回の授業を実施し、11月17日には研究発表会を開催した。

平成 30 年度 地域政策デザイナー養成講座 講師一覧

氏 名	所 属
安浦 寛人	九州大学 理事・副学長
谷口 博文	九州大学 学術研究・産学官連携本部 教授
岡野 秀之	(公財)九州経済調査協会 事業開発部長兼 BIZCOLI 館長
石丸 修平	福岡地域戦略推進協議会 事務局長/九州大学 客員准教授
佐脇 紀代志	内閣府規制改革推進室 参事官
佐々木 紀彦	NewsPicks 編集長
竹本 吉輝	(株)トビムシ 代表取締役
松尾 元信	金融庁総務企画局 参事官
遠藤 幹子	(一社) マザー・アーキテクチャ 代表理事・建築家
村岡 浩司	(有) 一平 代表取締役
アハメッド・アシル	九州大学 システム情報科学研究院 准教授
脇山 真治	九州大学 芸術工学研究院教授
春日 博文	ポート(株) 代表取締役 CEO
長野 恭紘	別府市長

(4) 九州水フォーラム 2018 の事務局のサポート

九州水フォーラムは、「九州ならではの水のありかた」を、地域、全国、国際の多様な視野から捉えるものである。九州の水の文化や技術を発信し、日本や世界の水問題へ貢献することを目的としている。昨年度まで事務局は当会にあったが、平成 30 年度から九州大学大学院工学研究院環境社会部門生態工学研究室へ移っている。弊会は事務局の引継業務並びに運営のサポートを行い、5 回開催された幹事会に参加した。平成 30 年度の九州水フォーラムのテーマは「水の恵みの享受と災害からの復興)」で、電気ビル共創館カンファレンスにおいて、11 月に開催された。

日 程	テーマ	内 容	参加者数
11 月 19 日 (月)	「水の恵みの享受と災害からの復興)」	<p>&lt;基調講演&gt;「気候変動と水」 講師： 国立環境研究地球環境センター 気候変動リスク評価研究室主任研究員 花崎直太氏</p> <p>&lt;ポスターセッション&gt; &lt;パネルディスカッション&gt; 「災害を乗り越えて生きて行く、地域社会と文化の力に支えられて」 パネリスト： 福岡管区气象台 気象防災部地球環境課・海洋課 地球温暖化情報官 風間千尋氏 福岡県男女共同参画審議会 委員 前杷木町長 中嶋玲子氏 国際連合人間移住計画 (ハビタット) 補佐官 星野幸代氏 九州大学 大学院教授 工学研究院附属アジア防災研究センター長 九州大学 災害復興支援団团长 三谷泰浩氏</p> <p>モデレーター： アジア太平洋水フォーラム友の会 綿末しのぶ氏</p>	72 人

## 6. 社会貢献活動等

社会貢献活動として、行政や経済団体等への委員派遣、大学への非常勤講師の派遣、テレビ・ラジオへの出演、新聞・雑誌への取材対応と掲載、雑誌等への寄稿等を行っている。なお、外部主催の講演会への講師派遣、セミナー等への参加・企画協力については、巻末の資料編に掲載している。

### 対外活動実績（平成 30 年度）

区 分	内 容	件数等
(1) 行政機関・経済団体等が開催する各種審議会・委員会への委員派遣	【行政】九州経済産業局、九州地方整備局、九州農政局、福岡県、長崎県、北九州市、福岡市、久留米市、行橋市 【団体】(公財)経営者顕彰財団、(公財)福岡県リサイクル総合研究事業化センター、(公財)福岡アジア都市研究所、(公財)福岡県産業・科学技術振興財団、(公財)機械振興協会、(公財)日本生産性本部、(一社)九州経済連合会、(一社)九州観光推進機構、(一財)九州産業技術センター 【民間・大学】九州電力㈱、福岡大学、㈱福岡放送	就任件数計 22 件
(2) 大学への非常勤講師の派遣	福岡大学、九州産業大学、中村学園大学、近畿大学、西南学院大学、流通科学大学 * 1 コマの派遣は含まず	計 6 大学 8 講座
(3) テレビ・ラジオ等への出演	RKB「今日感テレビ」、TNC「CUBE」、TNC「もちもち浜 S 特報ライブ」 NHK 福岡「ロクいち!福岡」、KBC「アサデス。」、KBC 九州朝日放送「シリタカ!」FBS 福岡放送「めんたい PLUS」、TVQ「ふくおかサテライト」、TVQ「ぐっ!ジョブ」、KTN テレビ長崎、MBC「NEWS NOW」、NHK 宮崎放送局、鹿児島読売テレビ「鹿児島 KYT ニュース」	延 29 回
(4) 新聞・雑誌等への寄稿・コメント掲載	西日本新聞、日本経済新聞、朝日新聞、毎日新聞、読売新聞、佐賀新聞、長崎新聞、熊本日日新聞、宮崎日日新聞、南日本新聞、産経新聞、河北新報、東奥日報、沖縄タイムス、琉球新聞、建設通信新聞、中国新聞セレクト、鹿児島建設新聞、旬刊旅行新聞、日本経済新聞電子版ニュース、西日本新聞経済電子版「qBiz」、日刊工業新聞「News ウェーブ 21」、聯合ニュース、電子デバイス新聞、ビジネスレイバートレンド、@PRESS、週刊金融財政事情、財界九州、PRESIDENT Online、LINE ニュース等	延 184 件
(5) インターシップの受入等	沖縄人財クラスタ研究会（琉球大学、沖縄国際大学）、福岡大学	計 3 大学

## 7. 運営基盤の拡充

### (1) 会員数の増加

#### ① 賛助会員

BIZCOLI や研究成果の活用、講演会、講師派遣、研究員のネットワークなどを通じて、全職員一丸となって会員拡大に努めている。平成 30 年度入会は 38 件であり、前年の 42 件を若干下回った。しかしながら、退会は 26 件でとどまり、期首 581 会員から 12 会員純増して 593 会員となった。会費実勢額は 1 億 2,791 万円である。

## 賛助会員の動向

	合 計				
	維持会員	普通会員	個人会員	町村会員	
平成 30 年度期首	581	73	491	15	2
入 会	38	1	34	3	0
退 会	26	0	26	0	0
増 減	12	1	8	3	0
会員種別変更	0	0	0	0	0
平成 30 年度末	593	74	499	18	2

- ・平成 27 年度末 会員数 576 会員      ・会費実勢額 1 億 2,648 万円
- ・平成 28 年度末 会員数 574 会員      ・会費実勢額 1 億 2,574 万円
- ・平成 29 年度末 会員数 581 会員      ・会費実勢額 1 億 2,625 万円
- ・平成 30 年度末 会員数 593 会員      ・会費実勢額 1 億 2,791 万円

## ②BIZCOLI 会員

平成 30 年度は、期首 102 会員から 3 会員純減して 99 会員となった。会費実勢額（月会費×12 ヶ月）は、721.2 万円となった。

### BIZCOLI 会員の内訳（99 会員）

種 別	会員数	種 別	会員数
フルタイム	6	フルタイム+土曜日	5
デイトタイム	11	デイトタイム+土曜日	2
ナイトタイム	48	ナイトタイム+土曜日	11
土曜日	16	合 計	99

## （2）理事会、評議員会、幹事会、企画委員会の開催

公益財団法人に移行して 6 年目を迎え、理事会、評議員会の決議の下、適正な組織運営を行っている。また、幹事会や企画委員会を定例化して、公益財団としての組織力を強化している。平成 30 年度は理事会を 5 回、評議員会を 4 回開催した他、幹事会を 2 回、企画委員会を 1 回開催した。幹事会提案による自主研究の報告会として「ITS が拓く地域経済活性化」をテーマに開催した。

## ①理事会の開催状況

開催日	開催理事会	議 案 等
5 月 21 日 (月)	第 26 回理事会	<b>【決議事項】</b> 第 1 号議案 平成 29 年度事業報告（案）について 第 2 号議案 平成 29 年度決算（案）について 第 3 号議案 幹事の選任について 第 4 号議案 評議員会の招集について <b>【報告事項】</b> 第 1 項 代表理事及び常務理事の職務執行状況の報告 第 2 項 その他
7 月 5 日 (木)	第 27 回理事会 (書面)	<b>【決議事項】</b> 第 1 号議案 幹事の選任について

		第2号議案 参与の委嘱について 第3号議案 九経調地域研究助成・顕彰事業 助成先の決定について
8月17日 (金)	第28回理事会 (書面)	【決議事項】 第1号議案 幹事の選任について 第2号議案 参与の委嘱について 第3号議案 評議員会(書面表決)の招集について
10月22日 (月)	第29回理事会	【決議事項】 第1号議案 平成30年度更正予算(案)について 第2号議案 顧問、参与の委嘱について 第3号議案 評議員会の招集について 【報告事項】 第1項 平成30年度上期事業報告について 第2項 代表理事及び常務理事の職務執行状況の報告 第3項 幹事会の開催について 第4項 企画委員会の開催について 第5項 その他
3月4日 (月)	第30回理事会	【決議事項】 第1号議案 平成31年度事業計画(案)について 第2号議案 平成31年度予算(案)について 第3号議案 内閣府への定期提出書類について 第4号議案 幹事の選任について 第5号議案 顧問、参与の委嘱について 第6号議案 評議員会の招集について 第7号議案 九経調地域研究助成・顕彰事業 顕彰作品の選定について 【報告事項】 第1項 創立70周年記念事業の進捗について 第2項 その他

## ②評議員会の開催状況

開催日	開催評議員会	議案等
6月13日 (水)	第18回評議員会	【決議事項】 第1号議案 平成29年度事業報告(案)について 第2号議案 平成29年度決算(案)について 第3号議案 評議員の選任について 【報告事項】 第1項 その他
8月31日 (金)	第19回評議員会 (書面)	【決議事項】 第1号議案 評議員の選任の件
11月16日 (金)	第20回評議員会	【報告事項】 第1項 平成30年度上期事業報告について 第2項 平成30年度更正予算について 第3項 顧問、参与の委嘱について 第4項 幹事会の開催について 第5項 企画委員会の開催について 第6項 その他
3月15日 (金)	第21回評議員会	【決議事項】 第1号議案 評議員の選任について 【報告事項】 第1項 平成31年度事業計画について 第2項 平成31年度予算について 第3項 幹事の選任について

		第4項 顧問、参与の委嘱について 第5項 九経調地域研究助成・顕彰事業 顕彰作品について 第6項 その他
--	--	--

### ③幹事会の開催状況

開催日	開催幹事会	議案等
6月15日 (金)	第8回幹事会 (書面)	議案I 幹事会議長の選任について
2月28日 (木)	第9回幹事会	1 新幹事の紹介 2 平成30年度幹事会からの提案による自主研究の中間報告 3 平成31年度幹事会からの提案による自主研究のテーマ選定 4 創立70周年記念事業の進捗報告

### ④企画委員会の開催状況

開催日	開催企画委員会	議案等
12月6日 (木)	企画委員会	1 平成30年度自主研究の中間報告 2 平成31年度自主研究テーマ(案)について 3 創立70周年記念事業の進捗報告 4 その他

### (3) 人材育成の強化

当会では、研究員の資質向上に取り組み、専門分野に偏らない、新しい分野への知見の蓄積を進めている。また、国内・海外を問わず外部との交流を積極的に行うことで、各研究員がネットワークを広げることを重視している。

平成30年度は、前年度に続いて新卒社員を採用したことから、若手研究員の育成に力を入れている。前年度から引き続いて、研究員3年目研修として(株)日本経済研究所主催の地域シンクタンク研修等への参加、及び新人研究員を対象に九州大学政策デザイナー養成講座聴講を通じたグループワークの心得などの能力向上を図ったほか、新たな分析技術・知識の共有化を促すため、新人研究員自らが講師となって研究員に必要な情報技術を活用した分析ツールの紹介等を行う講習を開催した。

## 資料

### 1. 外部主催の講演会への講師派遣（計 57 件）

調査研究業務を通じて蓄積した知見は、地域貢献の一環として幅広く公開している。その手段の一つとして、会員をはじめとする外部からの依頼に応え、当会から講師を派遣した。

#### 【講師派遣一覧】

日程	依頼先	会合名・タイトル	講演者	参加者数
4月10日 (火)	福岡県経営者協会	スマホ時代の新しい消費と流通	大谷次長	20人
4月13日 (金)	三菱電機(株)九州支社	九州支社 経営方針説明会「九州経済の短・中期見通しについて」	小柳研究主査	60人
4月16日 (月)	九州電力(株)東京支社	九州経済講演会「スマホ時代の新しい消費と流通」	大谷次長	50人
4月16日 (月)	(株)西日本新聞社	西日本新聞 新聞広告基礎講座【2】九州経済情報の収集と編集からみた「新聞」	能本主任研究員	50人
4月17日 (火)	福岡銀行協会	福岡銀行協会情報交換会「スマホ時代の新しい消費と流通」	大谷次長	20人
4月17日 (火)	(株)サワライズ	社内研修会「2018年度の九州経済の見通し」	小柳研究主査	20人
4月20日 (金)	日本証券アナリスト協会	スマホ時代の新しい消費と流通	大谷次長	15人
5月19日 (土)	福岡県土木長友会	福岡県土木長友会講演会「道を生かす」	藤井次長	90人
5月19日 (土)	日本経営診断学会九州支部	スマホ時代の新しい消費と流通	大谷次長	20人
5月23日 (水)	柳川商工会議所	柳川・大川商工会議所合同研修「スマホ時代の新しい消費と流通」	大谷次長	75人
5月24日 (木)	佐賀県	佐賀県産業人材確保プロジェクト推進会議総会	大谷次長	20人
6月5日 (火)	熊本県	熊本県内中山間地域における農業集落等実態調査 報告会	能本主任研究員	40人
6月14日 (木)	(一財)九州産業技術センター	九州・台湾環境エネルギービジネス交流会～太陽光発電 O&M 市場の展望～	藤井次長	80人
6月19日 (火)	(一社)九州経済連合会	全国経済人連合会（韓国）「Japan Insight Trip 2018」	小柳研究主査	12人
6月29日 (金)	九州産業大学	九州産業大学講演会	岡野部長	25人
7月14日 (土)	九州女子大学	図書館司書希望者への BIZCOLI 案内	岡野部長	27人
7月26日 (木)	福岡不動産鑑定士懇話会	ニュータウン地域における高齢化の現状	竹下研究員	13人
7月27日 (金)	(一社)太陽光発電アフターメンテナンス協会	太陽光発電アフターメンテナンス協会 太陽光発電 O&M セミナー 「太陽光発電の 3R 事業化促進事業の取組み」	藤井次長	35人
8月17日 (金)	(株)福岡リアルティ/福岡地所 (株)/(株)エフ・ジェイ ホテルズ	中期的な福岡都市圏の成長の可能性	片山部長	40人
8月23日 (木)	九州環境エネルギー産業推進機構	第 117 回エコ塾 in 宮崎基調講演「九州の太陽光発電の O&M の実態と九州からの挑戦」	藤井次長	47人

8月28日 (火)	久留米学術研究都市づくり推進協議会	久留米市経済の現状とその構造～久留米市産業 連関表より	片山部長	40人
9月14日 (金)	NEXCO 西日本九州支社	平成30年度第2回九州支社CS推進本部会議「都 市再構築と地方創造のデザイン」	藤井次長	34人
9月14日 (金)	公益財団法人トヨタ財団(NPO 法人アカツキ)	トヨタ財団「国内助成プログラム」公募説明会 in 福岡 「市民活動団体等向け調査技法」	原口研究員	45人
10月3日 (水)	佐賀市	講演会「未来の年表」～人口減少佐賀でこれから起 きること～ プログラム第1部「佐賀市の人口の見通し」	中川主任研究員	384人
10月17日 (水)	百道会	百道会10月例会「人材枯渇時代を生き抜く地域戦 略」	大谷次長	50人
10月20日 (土)	大学行政管理学会(事務局:西 南学院大学)	大学行政管理学会 特別シンポジウム「大学におけ る将来構想をともに考える」	大谷次長	40人
10月23日 (火)	西日本新聞社	日本政策金融公庫 10周年記念 地域活性化シン ポジウム 海外展開やインバウンド需要への対応について	岡野部長	205人
10月24日 (水)	九州地方整備局	地域活性化企画研修	片山部長	25人
10月26日 (金)	熊本県・ポリテクセンター熊本	高齢者雇用促進セミナー「65歳超従業員の仕事 力化を考える 年齢にかかわらず企業で働く『しくみ』 づくり」	大谷次長	70人
11月2日 (金)	㈱三井住友銀行 熊本法人営 業部	取引先向け講演会	小柳研究主査	60人
11月9日 (金)	㈱九州総合設計	社内研修会「九州の社会経済構造／九州の最近の 景気動向」	小柳研究主査	24人
11月14日 (水)	九経局、福岡県、九州環境エ ネルギー産業推進機構、(一 社)太陽光発電アフターメン テナンス協会、九経調	太陽光発電所のO&Mと中古売買の関係	藤井次長	92人
11月15日 (木)	九州ビルディング協会	九州ビルディング協会 11月例会「九州経済・産業の 動向～図説九州経済2019から」	藤井次長	51人
11月16日 (金)	玄友会	玄友会勉強会「成長都市・福岡の強み」	小柳研究主査	60人
11月21日 (水)	福岡城南ロータリークラブ	福岡城南ロータリークラブ例会「ロータリー財団グロ ーバル補助金奨学生としての留学ご報告」	平松研究員	65人
11月22日 (木)	エア・ウォーター・マテリアル(株)	インテグリス製品 勉強会	岡野部長	20人
11月30日 (金)	九州運輸局	第63回九州運輸コロキウム「欧米豪からみた九州 の関心度」	島田研究主査	200人
12月4日 (火)	㈱レイメイ藤井	レイメイ藤井会	小柳研究主査	42人
12月8日 (土)	あおもり新幹線研究連絡会	新幹線フォーラム「青函・北陸・九州 新幹線は地域 をどう変えるのか」	大谷次長	35人
12月11日 (火)	福岡県	太陽光発電事業の適性化に向けた取組に関するセ ミナー	藤井次長	118人
12月12日 (水)	九州財務局 宮崎財務事務所	第2回みやざき活性化フォーラム「中核企業と地域 産業の新陳代謝 ～コラボレーションによる新事業 で変わる地域産業のカたち～」	岡野部長	30人
12月13日 (木)	三井住友信託銀行 福岡支店	三井住友信託銀行福岡支店 90周年記念セミナー 「九州地区のインバウンドの現状と将来動向」	島田研究主査	130人
12月19日 (水)	北九州市立大学	環境都市論「九州の再生可能エネルギー」	松嶋主任研究員	50人
12月26日 (水)	(一社)九州経済連合会	九州経済連合会事務局勉強会「2019年度九州 経済の見通し」	小柳研究主査	30人
1月22日 (火)	九州運輸局	物流効率化シンポジウム in 大分	岡野部長	140人

1月25日 (金)	国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構	第6回太陽光発電技術戦略委員会	藤井次長	30人
1月29日 (火)	三井不動産リアルティ九州(株)	リアルティセミナー	島田研究主査	60人
2月5日 (火)	(一社)九州経済連合会	第2回長崎地域委員会「異業種参入からの農業への参入の現状と今後の展開」	岡野部長	35人
2月6日 (水)	(公財)福岡県リサイクル総合研究事業化センター	第2回福岡県太陽光発電(PV)保守・リサイクル推進協議会「長期安定稼働を見据えた太陽光発電所のO&Mとセカンダリマーケットを巡る動向」	藤井次長	30人
2月13日 (水)	大分県	大分県政策委員会「外国人労働者の受け入れについて」	大谷次長	50人
2月15日 (金)	(一社)九州経済連合会	第2回宮崎地域委員会「IoTの現状と今後の展望」	岡野部長	32人
2月17日 (日)	(公財)久留米市生きがい健康づくり財団(久留米市生涯学習センター)	平成30年度 時事講座・後期	小柳研究主査	60人
2月19日 (火)	熊本/大分経済同友会	熊本大分経済同友会交流懇談会「スポーツの成長産業化と九州経済」	片山部長	50人
2月22日 (金)	南小国町	南小国町 ドローンを活用したまちづくりシンポジウム	松嶋主任研究員	50人
2月28日 (木)	(株)オービック	オービック情報システムセミナー「スポーツの成長産業化と九州経済」	大谷次長	50人
3月13日 (水)	福岡県経営者協会	福岡県経営者協会一月会「スポーツの成長産業化と九州経済」	大谷次長	50人
3月13日 (水)	(株)福岡リアルティ	定期研究会「2019年、2020年の国際的なイベントがもたらす福岡・九州への経済効果」	片山部長	50人

## 2. セミナー等への参加・企画協力(計19件)

産学官が主催し、当会が賛同するセミナーについては、告知や集客、BIZCOLIの会議室提供などで協力した。

### 【協力実績】

日程・場所	主催者	会合名	備考
5月8日(火)～10日(木) 福岡国際会議場	アジア太平洋地域 ITS フォーラム 2018 福岡実行委員会	アジア太平洋地域 ITS フォーラム 2018 福岡	後援
6月4日(月) TKP ガーデンシティ天神	(一社)九州ニュービジネス協議会	第139回ベンチャープラザ二月会	後援
7月10日(火) 久留米シティプラザ	駐福岡大韓民国総領事館、久留米市、 大韓貿易投資振興公社	2018 韓国人材活用セミナーin 久留米市	後援
7月19日(木) 福岡アジア美術館	(公財)福岡アジア都市研究所	住みやすく 働きやすい 都市『福岡』のしくみを考える	後援
8月6日(月) TKP ガーデンシティ天神	(一社)九州ニュービジネス協議会	第140回ベンチャープラザ二月会	後援
9月14日(金) BIZCOLI	(公財)トヨタ財団/認定 NPO 法人ア カツキ	トヨタ財団「国内助成プログラム」公募説明会in 福岡～地域課題解決に取り組む市民活動団体等のための調査技術入門セミナー	後援
10月16日(火) 電気ビル共創館	福岡県、福岡経済同友会	第6回社会貢献セミナー・交流会 「企業と NPO との協働推進～社会貢献セミナー～」	後援
10月22日(月) 電気ビル共創館	(一社)ジャパン・コスメティックセン ター	九州コスメセミナー	共催

11月12日(月) BIZCOLI	計測自動制御学会	特別講演会「社会とデザイン」	共催
11月14日(水) 博多バスターミナル	九州経済産業局/福岡県/九州環境エネルギー産業推進機構/(一社)太陽光発電アフターメンテナンス協会/九経調	太陽光発電所メンテナンスビジネスのあり方と発電所中古売買 セミナー	共催
11月19日(月)・26日(月)・12月3日(月)・10日(月) BIZCOLI	福岡大学、㈱福岡銀行	「福岡大学×福岡銀行」アイデアソン	協賛
11月22日(木) 福岡市科学館	(公財)福岡アジア都市研究所	平成30年度第2回都市セミナー 「eスポーツの今と未来」～eスポーツによる都市・地域の活性化と将来展望～	後援
11月28日(水) ㈱新出光ファシリティーズ 新門司ソーラーパーク	九州経済産業局/福岡県/北九州市/(一社)太陽光発電アフターメンテナンス協会/九経調	メンテナンス技術者育成講座 PVams O&M メニュー研修会	共催
12月22日(土) BIZCOLI 交流ラウンジ	(公社)日本気象学会、福岡管区気象台、(一社)日本気象予報士会	気象サイエンスカフェ in 九州～2018年夏の「危険な暑さ」その真相に迫る	後援
1月29日(火) 熊本キャッスルホテル	マレーシア投資開発庁、国際機関日本アセアンセンター	マレーシアにおける電子・電機産業の現状と展望/Industry4.0とビジネス機会	後援
2月13日(水) 九州大学	九州大学	九州大学「持続可能な社会を拓く決断科学大学院プログラム」成果報告会	後援
2月16日(土) TKP ガーデンシティ天神	福岡市	福岡市「ライフプラン応援セミナー」～「人生の実りの秋」に始めよう！」	共催
3月2日(土) 電気ビル本館	日本学術会議若手アカデミー	地方における若手科学者を中心とした学術活動の活性化 シチズンサイエンスを通じた地方課題解決～市民と科学者が“つながる場”について考える～	共催
3月7日(木) レソラ天神	EY 新日本有限責任監査法人	成長シナリオと課題解決型ビジネスモデル	後援

# 事業報告

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)



公益財団法人九州経済調査協会  
KYUSHU ECONOMIC RESEARCH CENTER

# 令和元年度事業報告について

## 事業報告

定款第5条に基づき、令和元年度は、以下の事業を実施した。(総括)

1. 創立70周年記念事業 (1) 事業概要 ①「30年後に向けた九州地域発展戦略」に関する研究 ②九州・沖縄・山口各県の未来を考えるシンポジウム等の開催 ③ビッグデータを活用した新たな情報サービスの提供 (2) 募金活動の状況
2. 地域経済研究事業 (1) 自主研究事業 ①九州経済白書の刊行 ②月報等定期刊行物の発行 ③幹事会からの提案による自主研究 ④地域経済情報のデジタル配信 ⑤その他の事業 (2) 受託研究事業 (3) 九経調地域研究助成・顕彰事業
3. 講演会・セミナーの開催 (1) 九州・沖縄・山口でのセミナー等 ①九州経済白書説明会 (2) 定例の講演会・セミナー ①九経調交流会 ②研究報告会 ③アジア経済講演会 ④調査技法セミナー ⑤経済講演会 ⑥地域研究顕彰事業研究発表会 (3) BIZCOLIでのセミナー・イベント ①イブニングセミナー ②地域経営セミナー ③九州国立博物館応援セミナー ④サイエンス・カフェ ⑤BIZCOLI倶楽部 ⑥文化アートイベント ⑦ビッグデータセミナー
4. 経済図書館(BIZCOLI)事業 (1) 地域経済図書館としてのサービス (2) 講演会・セミナー会場の運営 (3) スキルアップのための個室空間の提供
5. 経済団体等支援事業 (1) 福岡経済同友会からの事務局受託 (2) 九州経済を考える懇談会の共同事務局 (3) 地域政策デザイナー養成講座の事務局
6. 社会貢献活動等 (1) 行政機関・経済団体等が開催する各種審議会・委員会への委員派遣 (2) 大学への非常勤講師の派遣 (3) テレビ・ラジオ等への出演 (4) 新聞・雑誌等への寄稿・コメント掲載
7. 運営基盤の拡充 (1) 会員数の増加 (2) 理事会、評議員会、幹事会、企画委員会、参与会の開催 (3) 人材育成の強化

## 1. 創立 70 周年記念事業

### (1) 事業概要

#### ①「30 年後に向けた九州地域発展戦略」に関する研究

令和元年 12 月に「30 年後に向けた九州地域発展戦略」を刊行した。12 月に開催した「未来を考えるシンポジウム」をはじめとして、関係各所で総論を中心に報告した。その他、数多くの新聞各紙で報道され、講演依頼、外部寄稿等（計 6 カ所程度）にも積極的に対応した。各論についても、ビズコリトークの一環として計 3 日、1 回当たり 2 名が登壇し 6 章分のセミナーを行った。

また、当該分野の識者を招聘しての未来セミナーを開催し、30 年後の未来に関する情報収集に努めた。10 月には、「社会的インパクト投資が変える未来の世界」について開催した。

#### ②九州・沖縄・山口各県の未来を考えるシンポジウム等の開催

九州・沖縄・山口の各県において「未来を考えるシンポジウム」を開催した。令和元年度は、長崎、福岡、沖縄で開催した。

日時・会場	テーマ・講師	共催・後援機関	参加者数
【長崎】 9月26日 (木) 長崎県庁	次世代モビリティが地域を変える～新幹線開通後の長崎県内の新たなエコシステム構築に向けて <基調講演> 「新たなモビリティサービスが地域を活性化する」 東京大学生産技術研究所 教授 須田義大氏 <パネルディスカッション> 「長崎県内の新たなモビリティシステム構築に向けて」 コーディネーター：日本銀行長崎支店長 下田尚人氏 パネリスト： SBドライブ(株)代表取締役社長 佐治友基氏 長崎県立大学 国際社会学部長 森田均氏 みなと観光バス(株)代表取締役 松本浩之氏 一般社団法人 EMOBIA 代表理事 浦正勝氏	共催： (株)十八銀行 (株)親和銀行 (株)長崎経済研究所 当会 後援： 長崎県 長崎市 長崎経済同友会	148人
【福岡】 12月16日 (月) ホテルオークラ 福岡	日本・九州の未来を拓く～持続的発展に求められるビジョンと戦略 <特別講演> 「持続的経済成長に向けた日本の課題」 元公益社団法人経済同友会 代表幹事 元武田薬品工業株式会社 相談役 長谷川閑史氏 <報告> 「30 年後に向けた九州地域発展戦略」 当会 調査研究部長 片山礼二郎	主催： 当会 後援： 九州地方知事会 (一社)九州経済連合会 九州商工会議所連合会 九州経済同友会 九州経営者協会	294名
【沖縄】 1月31日 (金) ロワジュールホテル那覇	アジアの人・モノ・データの結節点 OKINAWA <基調講演> 「ポテンシャルを發揮してアジアで輝くために」 東京大学 教授 松原宏氏 <パネルディスカッション> コーディネーター：東京大学 教授 松原宏氏 パネリスト： アイペックスグローバルオペレーションズ(株) 代表取締役社長 西山朋宏氏	共催： (株)沖縄銀行 (株)おきぎん経済研究所 当会 後援： 内閣府沖縄総合事務局 沖縄県	128人

	(株)リウボウホールディングス 代表取締役会長 糸数剛一氏 (株)リクルートライフスタイル沖縄 代表取締役社長 有木真理氏		
--	--	--	--

### ③ビッグデータを活用した新たな情報サービスの提供

- 九州地域経済分析プラットフォーム（愛称：DATASALAD／データサラダ）

オープンデータ・ビッグデータを活用した「九州地域経済分析プラットフォーム（愛称：DATASALAD／データサラダ）」を立ち上げた（令和元年11月ベータ版公開、令和2年4月本格稼働）。同プラットフォームでは、①アウトルック、②ビッグデータ、③景気指標、④産業指標、⑤社会指標、⑥経済マップ、⑦経済トレンドという切り口でデータを提供した。

	データの内容等
①アウトルック	都道府県別の主要な景気指標を提供。
②ビッグデータ	宿泊予約サイトのAPI（ソフトウェアの機能を共有する仕組み）を活用した全国の宿泊プランデータや、都道府県別の求人数等について日々収集しているデータを掲載。これらのデータは、新型コロナウイルスの影響に関する政府の閣僚会議資料にも掲載された。
③景気指標	新規・独自のコンテンツである都道府県予測 CI（景気動向指数）を軸に、九州経済調査月報において景気分析に用いている月次データ等をデジタルデータで提供。都道府県予測 CI に関しては、九州地域（九州・沖縄・山口）に加えて、全国の都道府県を作成しており、九州地域の全国各地との比較やポジショニングの把握ができるようにした。
④産業指標 ⑤社会指標 ⑥経済マップ	産業指標・社会指標に関しては、人口、産業構造、貿易、出入国などの指標を掲載。経済マップに関しては、将来推計人口や将来世帯数などのマーケティング・地域政策の基礎データに加えて、公示地価と都道府県地価調査の地価データを掲載。
⑦経済トレンド	メルマガ配信している「KYUSHU BUSINESS HEADLINE」をデータベースとして、海外進出や設備投資、新規事業等の個別企業の動きを取りまとめたデータに関して、検索可能な形で提供。

- レベニューマネジメント支援システム

データサラダのために収集した各宿泊施設の予約に係る各種データより、宿泊商品の完売確率システムを開発した。また、より詳細なデータや指標を入手したい事業者にむけて、宿泊事業者と共同研究契約及び秘密保持契約を締結したうえで、キャンセル率や長期（1年程度）に渡る予約曲線等の予測モデルを開発した。

## （2）募金活動の状況

令和元年度末時点の募金活動の状況は次のとおりであった。

- 募金目標額 1億円
- 募集期間 平成28年4月1日～令和2年3月31日
- 依頼先数 125社
- 寄附承諾 107社／1億651万円

## 2. 地域経済研究事業

### (1) 自主研究事業

自主研究事業では、「①九州経済白書の刊行」「②月報等定期刊行物の発行」「③幹事会からの提案による自主研究」を中心に取り組んだ。

#### ①九州経済白書の刊行

「九州経済白書」は、その年の経済・社会情勢を踏まえて、毎年テーマを変えながら調査・研究を行っている。53回目となる令和元年度は、「ベンチャー企業の成長による地域活性化」をテーマに調査執筆し、令和2年2月に発刊した。バブル経済崩壊以降、わが国は「失われた30年」による低迷が続き、新たなビジネス創出が十分ではなかった。新たなビジネスにより市場を開拓するためには、企業の新陳代謝が必要だが、これに貢献すると期待されるのがベンチャー企業である。ベンチャー企業に焦点をあて、九州地域のベンチャー企業と支援サイド（金融機関、産業界、行政等）の実態や特徴、九州地域の強みや課題をとりまとめた。その上で、九州地域における地域活性化につながるベンチャー企業のあり方と、そのために必要な支援策・取組みについて提案した。

なお、2月5日の福岡会場より、九州・沖縄・山口12会場で白書説明会を実施予定だったが、新型コロナウイルス感染症が拡大している状況を受け、説明会は2月21日までの6会場までを実施し、残り6会場での開催は延期とした。

#### ②月報等定期刊行物の発行

##### 1) 九州経済調査月報

上期は、九経調地域研究助成・顕彰事業の表彰作品を5月号に掲載した。空港開発（6月号）や港湾開発（8月号）など、九州における重要なインフラ整備に関する特集のほか、市場の変化が著しい太陽光発電（9月号）の特集を実施した。また、カルチャーコンテンツ（7月号）など、地域の資源を活用した地方創生の取り組みとその成果を分析する地方創生特集（10月号）にも力を入れた。

下期は11月号において、70周年記念事業で構築した九州地域経済分析プラットフォーム（DATASALAD/データサラダ）について、オリジナルなビッグデータである「日次宿泊稼働指数」や「都道府県予測CI（景気動向指数）」を紹介し、1月号では、恒例となった九州の新たな1年を特集した。

発行日	内 容
5月号 4月26日 (金) 発行	<b>特 集 九州の地域研究</b> (Report) 2018年度九経調地域研究助成・顕彰事業概要と審査結果、研究発表会 過疎地域における賃貸住宅が移住促進と地域社会に与える影響に関する研究 新しい時代を迎える高等学校図書館の可能性 くるめ野菜の普及を通じた地域農業の振興と卸売市場の変化 (One point) 売上が増加する福岡市都心商業地 (連載) 価値創造の源流 (48) ㈱佐喜眞義肢

6月号 5月31日 (金) 発行	<b>特集</b> (Report) <b>九州の空港開発</b> 九州の空港開発 2030年訪日外国人6,000万人時代は地方空港から 地方空港の概念を覆す「みやこ下地島空港ターミナル」 プレミアム沖縄創生戦略 (連載) 地域SDGsとスポーツ(4) 大分国際車いすマラソン
7月号 7月1日 (月) 発行	<b>特集</b> (Report) <b>カルチャーコンテンツによる地方創生</b> カルチャーコンテンツによる地方創生 コンテンツツーリズムを楽しむ人々 沖縄県におけるコンテンツツーリズムによる地域振興 長崎発コスプレイベント「キャラめるPOP NAGASAKI 2」の実践 (One point) ビッグデータでみる高級宿泊施設の分布 (連載) 価値創造の源流(49) 株くらて学園 地域SDGsとスポーツ(5) 飯塚国際車いす大会
8月号 7月31日 (水) 発行	<b>特集</b> (Report) <b>港湾が繋ぐ九州経済</b> 港湾が繋ぐ九州経済 「KYUSHU コネクトポート構想」を策定 九州の港湾と内航 RORO/フェリーへのモーダルシフト 北部九州港の現状と展望－国際物流の視点から－ PORT2030 から今後の九州における港湾空間形成の取り組みを考える (One point) 平成30年間における九州地域の貿易構造の変化 (連載) 価値創造の源流(50) 小原醸造株
9月号 9月2日 (金) 発行	<b>特集</b> (Report) <b>太陽光発電市場の新たなステージ</b> 太陽光発電市場の新たなステージ 日本における太陽光発電産業の現状と将来展望 求められる太陽光発電所のO&Mとセカンダリマーケットの成熟～九州発の O&M ビジネス確立を目指して～ 卒FITがもたらす新天地～プロシューマーの視点から～ (連載) アグリプレナーの実践(21) 先端技術や国際基準を取り入れ、周年安定出荷に取り組む重元園芸
10月号 10月1日 (火) 発行	<b>特集</b> (Report) <b>地方創生事業の成果</b> 地方創生事業の成果 地方創生の実現に求められる地域人材“志民”の育成 地方創生事業の現状と成功要因 九州における地方創生事例 新市場に挑む鹿児島県茶 2019年度九州経済の見通し(改訂)～成長率を下方修正
11月号 10月31日 (木) 発行	<b>特集</b> (Report) <b>ビッグデータによる地域経済分析</b> ビッグデータによる地域経済分析 ～プラットフォームとしてのDATASALADの開発 データ活用仮設量産フレームワークDIVAと主客一体経営 経済統計利活用の課題とDATASALADが目指すもの CI手法の応用による九州地域の景気分析と景気予測の可能性 宿泊施設向けレベニューマネジメント支援システムについて DATASALAD「市区町村別宿泊施設稼働状況」を活用した観光動向分析 地震復興インデックスによる熊本地震の被害と復興状況の把握

12月号 12月2日 (月) 発行	<b>特 集</b> (Report) <b>地域ものづくり企業の生産性向上</b> 地域ものづくり企業の生産性向上 ロボット導入と中小ものづくり現場における生産性向上 製造業の生産性向上をサポートする北部九州のものづくり系 Sler 稼ぐ事業・地域を創るために (One point) 岐路に立つ九州のインバウンド戦略
1月号 12月27日 (金) 発行	<b>特 集</b> (Report) <b>九州の新たな1年</b> 九州の新たな1年 外需持ち直しにより成長率上向く 日次データと機械学習の活用による景気予測 欧米の先を行く企業統治「公益資本主義」 (One point) 駆け込み需要の業態特性と地域特性
2月号 1月31日 (金) 発行	<b>特 集</b> (Report) <b>福岡都市圏の成長力</b> 福岡都市圏の成長力 世界の地方中枢都市としての福岡のグローバルな成長を検証する 福岡都市圏における人口成長点と非成長点 福岡都市圏の未来の交通インフラを考えるシンポジウム (連載) アグリプレナーの実践 (22) 農業スタートアップの集積地を目指すこゆ財団 九州今昔物語 (8) 海運シンポジウム「令和の時代によみがえる北前船」 基調講演「北前船と玄界灘の海運」講演録
3月号 3月2日 (月) 発行	<b>特 集</b> (Report) <b>地域公共交通と MaaS</b> 地域公共交通と MaaS 地域公共交通の「これまで」と「これから」 転換期の地域公共交通と MaaS の可能性 九州における経路検索の状況と九州運輸局の取り組み 次世代モビリティが地域を変える (One point) 日本の二酸化炭素の排出量ほどの程度か
4月号 4月1日 (水) 発行	<b>特 集</b> (Report) <b>オリンピック・パラリンピック後のインバウンド戦略</b> オリンピック・パラリンピック後のインバウンド戦略 東京 2020 退会後の地方のインバウンド戦略 オリンピック・パラリンピック後に向けた九州の観光 九州観光への提案 英国ラグビーワールドカップ in 九州 (One point) 2018年の鉄道ダイヤ見直しに沿線住民に与えた影響 新型コロナウイルス感染拡大による宿泊施設への影響

## 2) データ九州 (九州経済調査月報付録)

データ九州は、九州経済調査月報付録として1年に4回発行している。9月号と3月号では、それぞれ上半期と下半期の「設備投資」の動向をまとめた。11月号では、地方創生の第一期を総括したアンケート調査結果を、4月号では恒例の「海外進出」を取りまとめた。

なお、データ九州は No.1171 をもって冊子の発行を終了し、今後は九州地域経済分析プラットフォーム (DATASALAD/データサラダ) にてデジタルデータとして提供していくことになった。

- |      |                 |                               |
|------|-----------------|-------------------------------|
| 9月号  | データ九州 (No.1168) | 「九州・山口の設備投資 (2019 上半期 1~6月)」  |
| 11月号 | データ九州 (No.1169) | 「地方創生事業に関するアンケート 集計結果」        |
| 3月号  | データ九州 (No.1170) | 「九州・山口の設備投資 (2019 下半期 7~12月)」 |

### 3) 2020年版 図説九州経済

九州・沖縄・山口の経済を、図表やデータで分かりやすく解説したもので、毎年1回刊行している。2020年版も海外からのお客様のニーズを意識し、図表タイトル等や凡例での英語表記を充実させるほか、九州地域の観光分野でニーズの高い温泉マップを追加した。

『2020年版 図説九州経済』

令和元年10月17日刊行

### 4) メールマガジン(九経調ニュースレター)

九州・山口におけるビジネスの動きをヘッドライン形式で配信する「KYUSHU BUSINESS HEADLINE」を月2回配信した他、当会主催・共催のセミナー等の案内、当会の刊行物の案内を配信した。

メールマガジン配信件数144件 (平成31年4月1日～令和2年3月31日)

### ③幹事会からの提案による自主研究

「九州におけるリカレント教育のあり方(仮題)」をテーマに、上期は、①教育機関向け、②企業向け、③個人向けの3本のアンケート調査を実施した。下期はアンケート調査結果の分析をもとに、参考となる取組みを行う企業や大学等へのヒアリングを進め、報告書の作成を進めた。

#### ◆『九州におけるリカレント教育のあり方(仮題)』報告書構成(案)

はじめに

第1章 経済社会の変化とリカレントの必要性

第2章 九州におけるリカレントの現状と推進に向けた課題

第3章 リカレント推進に資する先進的な事例

第4章 生涯活躍できる地域・九州の実現に向けて(提言)

### ④地域経済情報のデジタル配信

創立70周年記念事業で構築した九州地域経済分析プラットフォーム(DATASALAD/データサラダ)を活用して、月報、データ九州、図説九州経済を始めとする地域経済情報のデジタル配信に向けて準備を進めた。月報掲載の主要統計とデータ九州のデータを中心としつつ、主要な景気指標と予測指標を中心に、時系列データとマップの形式で提供を図った。

### ⑤その他の事業

地方銀行調査担当部長会議、地方シンクタンク協議会に参加する他、国内外の主要会議への協力、国の出先機関や自治体幹部等との意見交換会などを行った。

## A. 国内研究会の開催、参加

### 1) 九州・山口地方銀行調査担当部長会議

昭和 42 年度より毎年 2 回、九州・沖縄・山口の地方銀行や系列シンクタンクの部長級が集まり、各地の情勢報告と情報交換を行っている。令和元年度は下関と久留米で開催された。

日程	会議名	テーマ	講師・参加者	参加者数
7月25日 (木)	九州・山口地方銀行調査担当部長会議（下関）	「欧米豪から見た九州の関心度」	片山部長（講演）	15人
12月5日 (木)	九州・山口地方銀行調査担当部長会議（久留米）	「地域経済データを活用した新たなデジタル情報サービスについて」	片山部長（講演）	13人

### 加盟機関

(株)FFG ビジネスコンサルティング	(公財) 地方経済総合研究所	(株)りゅうぎん総合研究所
(株)ちくぎん地域経済研究所	(株)大銀経済経営研究所	(株)おきぎん経済研究所
(株)佐賀銀行総合企画部	(一財) みやぎん経済研究所	(一財) 山口経済研究所
(株)長崎経済研究所	(株)九州経済研究所	(公財) 九州経済調査協会

### 2) 地方シンクタンク協議会

当会は、地方シンクタンク協議会に加盟している。令和元年度は、九州・沖縄ブロック総会の後に開催された研究事例発表会において、当会から九州地域経済分析プラットフォーム（DATASALAD / データサラダ）について発表した。今年は全国の地方シンクタンクを集めての総会、経営者会議が福岡市内で開催され、当会を始めとして九州・沖縄ブロックに加盟する 5 機関が参加した。なお、3 月に予定していた九州・沖縄ブロックの若手研究員交流会は、新型コロナウイルス感染拡大を考慮して中止した。

日程	会議名	テーマ	講師・参加者	参加者数
6月20日 (木)	地方シンクタンク協議会 九州・沖縄ブロック総会・研究事例発表会・交流会（那覇）	「九州地域経済分析プラットフォーム（仮）」	岡野部長（報告者）、田中副部長	14人
6月20日 (木)	地方シンクタンク協議会 九州・沖縄ブロック意見交換会（那覇）	「那覇市観光協会の事業概要と沖縄（那覇市）の観光について」	(一社)那覇市観光協会事務局長 大城弘明氏	16人
7月5日 (金)	地方シンクタンク協議会総会、経営者会議	「産学官での事業創出プラットフォームの取組から」	福岡地域戦略推進協議会事務局長 石丸修平氏	30人
3月 【中止】	地方シンクタンク協議会 九州・沖縄ブロック若手研究員交流会	—	—	—

### 九州・沖縄ブロック加盟機関

(公財)福岡アジア都市研究所	(株)よかネット	(株)ちくぎん地域経済研究所
(一財) 南西地域産業活性化センター	(公財)九州経済調査協会	

## B. 国際会議の開催、参加

日程	会議名	テーマ	講師・参加者	参加者数
7月12日(金)	釜山-福岡の交流拡大に向けたシンポジウム	スポーツの成長産業化と九州経済	高木理事長、加峯部長、大谷次長	40人
2月15日(土)	第14回 福岡・釜山フォーラム、釜山会議 2019 (釜山広域市)	釜山・福岡から日韓の未来を創る	高木理事長、加峯部長	50人

## C. 東京大学地域未来社会連携研究機構との連携事業

地域経済社会の発展に寄与することを目的に、平成30年4月1日、東京大学地域未来社会連携研究機構と連携協定を締結した。3つの連携内容として、①シンポジウムやワークショップ、共同研究等を通じた地域研究の推進、②地域の課題に応えるプロフェッショナル人材の育成・交流、③「地域未来投資促進法」等の国や自治体の各種事業との連携がある。

令和元年度は、東京大学で開催された機構主催の公開シンポジウム「データ駆動型社会における地方創生」において、「地域経済データ基盤「データサラダ」による地方創生への挑戦」と題して当会から報告を行ったほか、当会70周年記念事業の沖縄開催のシンポジウム「アジアの人・モノ・データの結節点 OKINAWA」において、機構長の東京大学松原宏先生に基調講演を務めていただくなど連携を深めた。

## D. 在外公館に対する九州経済セミナー

在福の総領事館・領事館等の職員向けに、九州経済の理解促進とPRを兼ねて、九州経済の現状や将来に関するセミナーを開催した。

日程	会議名	内容	当方参加者	参加者数
1月24日(金)	在外公館に向けた九州経済セミナー	九州経済のアウトライン 30年後に向けた九州地域発展戦略	高木理事長、片山部長、加峯部長	15人

### 参加機関

在福岡アメリカ領事館	中華人民共和国駐福岡総領事館	駐福岡大韓民国総領事館
在福岡ベトナム総領事館	在福岡タイ王国総領事館	韓国貿易センター

## (2) 受託研究事業

令和元年度の受託研究は計61本のプロジェクトに取り組んだ。

令和元年度は、平成30年度に続き、地方自治体の総合計画、地方創生総合戦略策定支援の業務が多く、7市の総合計画・総合戦略(及び人口ビジョン)策定支援業務を受託した。また、産業振興の分野では農林水産・食料品分野が多く、「スマート農業」「農林水産物輸出」「農漁村集落の維持」等の調査研究を行った。この他、新型コロナウイルス対策としてビッグデータを用いた来街者数への影響調査も行った。

## 【分野別受託研究一覧】

<b>(統計作成・分析)</b>		
1	地域別支出総合指数(RDEI)の作成・分析・検証業務	内閣府
2	福岡市シティプロモーションサイトコンテンツデータ作成支援業務	(株)バズフック
3	景気ウォッチャー調査(九州地域)	三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株) (内閣府)
4	中小企業の動向分析業務	福岡県
<b>(地方創生)</b>		
5	第2期古賀市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定支援業務委託	古賀市
6	「第2次佐賀市総合計画」及び「佐賀市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の見直し等に向けた調査分析業務	佐賀市
7	にしきまるごと創造プロジェクト運営支援業務	錦町
8	次期総合戦略並びに人口ビジョン策定支援等業務委託	下関市
<b>(地域振興)</b>		
9	九大学研都市中期経営計画策定業務	(公財)九州大学学術研究都市推進機構
<b>(産業振興)</b>		
<b>① 産業全般</b>		
10	熊本県産業振興ビジョン(仮称)策定基礎調査業務	熊本県
<b>② 電子部品・デバイス関連</b>		
11	アジア半導体機構企画・運営業務	アジア半導体機構
	先進的IoT製品・サービスの調査	福岡県
<b>③ 環境・資源エネルギー</b>		
12	平成31年度地域中核企業創出・支援事業(太陽光発電の3R事業化促進事業)	(一財)九州産業技術センター
13	熊本県の太陽光発電地域サポート体制構築事業	熊本県
<b>④ 観光</b>		
14	第2期九州観光戦略第3次アクションプラン支援業務	(一社)九州経済連合会
15	持続可能な観光振興に係る方向性検討業務委託	福岡市
16	福岡県、福岡市におけるRWCの経済波及効果測定業務	RWC2019福岡開催推進委員会
17	「産業ガイド」等の改訂作業(仮称)	(公財)福岡観光コンベンションビューロー
<b>⑤ 農林水産・食料品</b>		
18	令和元年度九州SDGs経営推進モデル事業及び食料品製造業の競争力強化による輸出戦略策定調査事業	九州経済産業局
19	新しい日田の森林・林業・木材産業ビジョン改訂	日田市
20	少子高齢化社会における第一次産業の維持発展方策に関する調査研究に係る基礎調査業務	(一財)地方自治研究機構
21	東北活性研の白書執筆支援業務(仮)	(公財)東北活性化研究センター
<b>⑥ 医療・福祉</b>		
22	福岡県ジェネリック医薬品ガイドブック等作成業務	福岡県
23	平成31年度福岡市地域包括ケアシステム推進事業支援業務委託	福岡市
24	大牟田市地域医療・介護連携ビジョン推進支援業務	大牟田市
<b>⑦ 新産業・新技術</b>		
25	平成31年度中小企業知的財産活動支援事業費補助金(地域中小企業知的財産支援力強化事業)	九州経済産業局

26	宇宙産業リスト作成業務	大分県産業創造機構
<b>⑧ 流通・物流</b>		
27	「沖縄県内物流に関する需給バランスの現状と将来推計」の調査・分析業務	沖縄振興開発金融公庫
28	大分市公設地方卸売市場の整備・運営化に関する基本計画策定業務委託	大分市
29	小売販売額・入込客数調査業務委託	熊本市
<b>(社会資本)</b>		
30	下関港長州出島の産業振興用地売却に係る企業動向分析及び公募要綱策定等支援業務	下関市
31	令和元年度九州地域の港湾整備に関連する企業の投資動向調査	九州地方整備局
32	大分駅前新設の広場における経済的効果・評価業務(仮)	大分市
33	行橋市における経済波及効果に関する分析業務 2	㈱日本総合研究所
34	令和元年度生活交通に関する住民意識調査業務	福岡市
<b>(雇用・人材育成等)</b>		
35	公的職業訓練に関するサービスガイドライン設計業務	職業訓練法人福岡地区職業訓練協会
36	平成 31 年度飲食サービス業事業所ヒアリング支援及び企業ニーズの把握・分析業務委託	(公社)福岡県雇用対策協会
37	石垣市における人手不足の実態調査及びその対処策の立案等業務	石垣市
<b>(アジア戦略)</b>		
38	中小企業 ODA 案件化調査	中島物産㈱ (JICA)
<b>(行財政)</b>		
39	長崎県の近未来像 (グランドデザイン) 策定に関する業務委託	長崎県
40	直方市総合計画策定支援業務	直方市
41	第 6 次田川市総合計画基本構想策定業務委託	田川市
42	第 2 次唐津市総合計画後期基本計画作成業務	唐津市
43	第 2 次下関市総合計画後期基本計画策定・編纂支援業務	下関市
<b>(その他)</b>		
44	平成 31 年度「九州経済産業局における地域中小企業・小規模事業者の人材確保支援事業」	WorkStep㈱ (九州経済産業局)
45	企業誘致・県外 UI ターン (仮)	沖縄県 大阪事務所
46	政策金融評価の支援業務	沖縄振興開発金融公庫
47	地域政策デザイナー養成講座支援事業	地域政策デザイナー養成講座実行委員会
<b>(シンポジウム等)</b>		
48	九州経済を考える懇談会の実施	(一財)九州地域産業活性化センター
49	福岡都市圏道路企画調査業務	九州地方整備局 福岡国道事務所

### (3) 九経調地域研究助成・顕彰事業

九経調地域研究助成・顕彰事業は、九州の地域浮揚のための知恵やアイデア、人材を発掘するために、平成 26 年度から実施している。助成事業については、4 月 2 日～5 月 31 日の応募期間に 17 本の申請があり、6 月 25 日に開催した「九経調地域研究助成・顕彰委員会」で 3 本の助成先候補を選定後、理事会にて助成先を決定した。顕彰事業は、7 月 22 日～1 月 31 日に一般論文を募集、助成論文 3 本と合わせて計 4 本の論文が審査対象となり、2 月 21 日に開催した「九経調地域研究助成・顕彰委員会」で最優秀賞と優秀賞を選定、理事会にて顕彰先を決定した。

### 助成先の審査結果（10万円助成／本）

	テーマ	申請者・研究代表者
1	利用者が飛躍的に増加した駅前図書館の事業運営とその成立する立地の条件～駅前市街地の賑わい復興のために～	佐倉浩之 九州大学経済学府 産業マネジメント専攻
2	超高齢化や急速に変化する社会に適応した、公益的信託運用組織のあり方についての研究	原口唯 ㈱YOUI 代表取締役
3	企業向け参加型セミナーによる障害者雇用の促進を目指した新たな価値創造	田中美佳 (一社)Togatherland

### 顕彰先の審査結果

顕彰内容	テーマ	研究代表者	備考
【最優秀賞】 副賞:10万円	多様な個性を活かす職場づくりを目指した新たな価値創造～発達障害の視点を通して働き方を相乗共創する～	田中美佳 (一社)Togatherland	10万円 研究助成
【優秀賞】 副賞:記念品	超高齢化や急速に変化する社会に適応した、公益目的的信託運用組織のあり方について	原口唯 ㈱YOUI 代表取締役	10万円 研究助成

### 九経調地域研究助成・顕彰委員会 委員

	氏名（敬称略）	所属	役職	備考
1	安浦 寛人	九州大学	理事・副学長	大学
2	松田 美幸	福津市	副市長	公共
3	柴田 建哉	㈱西日本新聞社	社長	民間
4	磯崎 隆郎	㈱日本政策投資銀行	九州支店長	民間
5	高木 直人	(公財)九州経済調査協会	理事長	主催者

### 九経調地域研究助成・顕彰事業スケジュール

期間	内容
4月2日（火）～5月31日（金）	研究テーマの募集
6月25日（火）	令和元年度 第1回 九経調地域研究助成・顕彰委員会 助成先を選定（書面理事会で決定）（令和2年1月31日 論文提出締切り）
7月22日（月）～1月31日（金）	論文の一般募集
2月21日（金）	令和元年度 第2回 九経調地域研究助成・顕彰委員会 最優秀賞、優秀賞を選定（3月2日、理事会で決定）
3月9日（月） 【中止】	研究発表会。顕彰論文を表彰、みぞえ賞受賞者による発表 （於：電気ビル共創館 カンファレンス C）

## 3. 講演会・セミナーの開催

当会では、研究成果を広く伝えるために、定例の講演会やセミナーを各地で開催した。当会主催で開催した講演会・セミナーは70回で、中止や延期となったケースは12回であった。

(1) 九州・沖縄・山口でのセミナー等

①九州経済白書説明会（開催 6 回、延期 6 回）

九州経済白書の刊行に際し、関係機関の協力を得ながら令和 2 年 2～3 月に九州・沖縄・山口 12 会場で説明会を計画していたが、新型コロナウイルスの影響により 6 カ所で開催を延期とした。

地区	日時	会場	共催・後援機関	説明者	参加者数
福岡	2月5日 (水)	FFG ホール(福岡銀行本店地下)	(株)ふくおかフィナンシャルグループ 福岡商工会議所 (株)FFG ビジネスコンサルティング	藤井次長	189 人
北九州	2月27日 (木) 【延期】	FFG 北九州本社ビル	(株)ふくおかフィナンシャルグループ (一社)西日本工業倶楽部 北九州商工会議所 (株)FFG ビジネスコンサルティング	藤井次長	—
久留米	3月5日 (木) 【延期】	筑邦銀行本店	(株)筑邦銀行 久留米商工会議所 (株)ちくぎん地域経済研究所	藤井次長	—
佐賀	3月3日 (火) 【延期】	佐賀銀行本店	(株)佐賀銀行	藤井次長	—
長崎	2月10日 (月)	十八銀行本店	(株)十八銀行 (株)長崎経済研究所	片山部長	60 人
佐世保	2月20日 (木)	FFG 佐世保ビル	(株)ふくおかフィナンシャルグループ (株)親和銀行 佐世保商工会議所 (株)FFG ビジネスコンサルティング	片山部長	20 人
熊本	2月18日 (火)	肥後銀行熊本駅前支店	(株)肥後銀行 (公財)地方経済総合研究所 熊本経済同友会	藤井次長	48 人
大分	3月12日 (木) 【延期】	大分銀行 宗麟館	(株)大分銀行 (株)大銀経済経営研究所	藤井次長	—
宮崎	3月6日 (金) 【延期】	宮崎観光ホテル	(株)宮崎銀行 (一財)みやぎん経済研究所	藤井次長	—
鹿児島	2月21日 (金)	鹿児島銀行本店 別館ビル3階	(株)鹿児島銀行 (株)九州経済研究所	片山部長	50 人
沖縄	2月14日 (金)	パシフィックホテル沖縄	(株)沖縄銀行 (株)おきぎん経済研究所	藤井次長	37 人
山口	3月12日 (木) 【延期】	シーモールパレス	(株)山口銀行 (一財)山口経済研究所	片山部長	—

(2) 定例の講演会・セミナー

①九経調交流会（開催 1 回）

当会会員との交流を目的に毎年開催しており、令和元年度は 12 月に福岡で創立 70 周年記念事業「未来を考えるシンポジウム」と併せて開催した。経済同友会の元代表幹事の長谷川閑史氏による特別講演「持続的経済成長に向けた日本の課題」と併せて、70 周年事業で研究してきた「30 年後に向けた九州地域発展戦略」を発表した。

日 程	テーマ	講 師	参加者数
12月16日 (月)	日本・九州の未来を拓く～持続的発展に求められるビジョンと戦略 <特別講演> 「持続的経済成長に向けた日本の課題」 <報告> 「30年後に向けた九州地域発展戦略」	<特別講演> 公益社団法人経済同友会 元代表幹事 武田薬品工業株式会社 元相談役 長谷川閑史氏 <報告> 当会 調査研究部長 片山礼二郎	294名

## ②研究報告会（開催1回）

令和元年度は、前年度の幹事会提案に基づいて「Society5.0による地方創生～社会課題の解決を目指す九州企業～」をテーマに研究報告会を開催した。

日 程	テーマ	講 師	参加者数
7月24日 (水)	Society5.0による地方創生～社会課題の解決を目指す九州企業～	藤井次長	102人

## ③アジア経済講演会（開催1回）

昭和37年以来、アジア経済研究所との共催で毎年開催している。令和元年度は、ベトナム経済をテーマに開催した。

日 程	テーマ	講 師	参加者数
10月9日 (水)	新時代のベトナム経済 ～次なるビジネスチャンスと日越関係～	ジェトロ・アジア経済研究所 東南アジアⅡ研究グループ長 藤田麻衣氏 中島物産(株) 代表取締役社長 中島康宏氏	61人

※ジェトロ・アジア経済研究所、ジェトロ福岡、当会の三者共催

## ④調査技法セミナー（開催1回、※2日間開催）

九州・山口の地方銀行系シンクタンク研究者を主な対象とした勉強会を毎年開催している。令和元年度は、創立70周年記念事業で構築した九州地域経済分析プラットフォーム（DATASALAD/データサラダ）に連動するプログラムで開催した。

日 程	内 容	講 師	参加者数
2月3日(月)	DATASALADの紹介・デモ	岡野部長、渡辺研究員	15人
	景気動向指数（CI）による景気動向把握	松嶋主任研究員	15人
	統計利用の効率化～DATASALADの裏側	小柳研究主査	15人
2月4日(火)	データ活用アイデアソン		9人

注) 自主研究・事業基金を活用した事業

### 参加機関

(株)福岡銀行	(株)長崎経済研究所	(株)九州経済研究所
(株)NCBリサーチ&コンサルティング	(一財)山口経済研究所	(株)りゅうぎん総合研究所
(株)大銀経済経営研究所	(一財)みやぎん経済研究所	沖縄振興開発金融公庫

(公財)九州経済調査協会		
--------------	--	--

### ⑤経済講演会（開催 1 回）

(株)日本総合研究所チェアマン・エメリタスの高橋進氏を招いて、「内外経済の展望と政策課題～地域再生なくして日本再生なし～」をテーマに、(株)ふくおかフィナンシャルグループとの共催にて 10 月に開催した。

日 程	テーマ	講 師	参加者数
10 月 24 日 (木)	内外経済の展望と政策課題～地域再生なくして日本再生なし～	(株)日本総合研究所 チェアマン・エメリタス (名誉理事長) 高橋進氏	177 人

### ⑥地域研究顕彰事業研究発表会（中止 1 回）

助成論文と自由応募論文の執筆者による研究発表と優秀作品に対する顕彰を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のために中止とした。

日程会場	発 表 者	参加者数
3 月 9 日 (月) 電気ビル 共創館 カンファ レンス 【中止】	<p>【論文提出者】</p> <p>①「九州・山口の中心市街地活性化に繋がる公立図書館の立地と運営」 佐倉浩之（九州大学経済学府産業マネジメント専攻）</p> <p>① 超高齢化や急速に変化する社会に適応した、公益目的の信託運用組織のあり方について 原口唯（(株)YOUI 代表取締役）</p> <p>③多様な個性を活かす職場づくりを目指した新たな価値創造 ～発達障害の視点を通して働き方を相乗共創する～ 田中美佳（(一社)Togatherland）</p> <p>④伝統工芸産業支援・振興手法の再構築の可能性について －佐賀県ふるさと納税と NPO による新たな支援事例より－ 大淵和憲（九州産業大学伝統みらい研究センター）</p> <p>【前年度最優秀賞受賞者】</p> <p>⑤過疎地域における賃貸住宅が移住促進と地域社会に与える影響に関する研究 －八女市上陽町久木原地区の賃貸集合住宅の事例を中心として－ 長谷川繁（八女里山賃貸(株)）</p>	—

### （3）BIZCOLI でのセミナー・イベント

BIZCOLI では、自主事業として数多くのセミナーやイベントを開催している。令和元年度は合計 59 回を実施し、5 回を中止または延期とした。セミナー終了後には、交流ラウンジで名刺交換会を開催し、参加者相互の人脈形成の場を提供した。

#### ①イブニングセミナー（開催 11 回、中止 1 回）

当会研究員や月報への寄稿者によるセミナーを毎月開催している。上期は、ポスト支店経済や地域研究、空港開発などといった九州のインフラに係るセミナー、下期はビッグデータによる地域経済分析、福岡都市圏の成長力などといった九州の成長戦略に係るセミナーを開催した。

日程	テーマ	講師	参加者数
4月9日(火)	ポスト支店経済	大谷次長、松嶋主任研究員、小柳研究主査	30人
5月14日(火)	九州の地域研究	松嶋主任研究員	18人
6月11日(火)	九州の空港開発	松嶋主任研究員、渡辺研究員	44人
7月9日(火)	カルチャーコンテンツによる地方創生	松嶋主任研究員、渡辺研究員	17人
8月6日(火)	港湾が繋ぐ九州経済	松嶋主任研究員、渡辺研究員	23人
9月9日(月)	太陽光発電の新たなステージ	藤井次長、松嶋主任研究員	46人
10月8日(火)	地方創生事業の成果	松嶋主任研究員、小柳研究主査	31人
11月12日(火)	ビックデータによる地域経済分析	岡野部長兼 BIZCOLI 館長、松嶋主任研究員、小柳研究主査	33人
12月10日(火)	地域ものづくり企業の生産性向上	松嶋主任研究員、渡辺研究員	16人
1月14日(火)	九州の新たな1年	松嶋主任研究員、小柳研究主査、渡辺研究員	44人
2月7日(金)	福岡都市圏の成長力	松嶋主任研究員、渡辺研究員	26人
3月【中止】	地域公共交通と MaaS	松嶋主任研究員、渡辺研究員	—

## ②地域経営セミナー（開催 31 回、中止 2 回）

ビジネスの最前線で活躍する講師による、経営スキルアップセミナーを開催した。いずれも講師への依頼等で会員企業の協力を得て実現した。

日程	テーマ	講師	参加者数
5月15日(水)	なぜ、あの会社ばかり良い人材が集まるか？	シンワラボ(株) 代表取締役 加藤シゲキ氏	7人
5月22日(水)	第4回未来会計セミナー ～“経営計画（目標設定）”の良否で、業績の全てが決まる～	(株)IG プレーン 代表取締役社長 野口雄介氏	23人
5月24日(金)	わかりやすい！中国越境 EC セミナー ～九州は食品を出品すべき～	(株)ナセバナル 代表取締役 橋谷亮治氏	17人
5月29日(水)	Web サイトで差が出る人材採用現場 ～効果的な自社サイトの活用法～	(株)AliveCast チームマネージャー 伊藤辰彦氏	20人
6月5日(水)	コラボトーク ～日本の離島は最先端！	NPO 法人離島経済新聞社 統括編集長 鯨本あつこ氏	20人
6月14日(金)	ビジネスのための拡張現実 (AR) テクノロジー ～学生を魅了する英語学習プロセスをビジネスに応用する可能性～	九州産業大学語学教育研究センター 常勤講師 アダム・ストーン氏 九州産業大学語学教育研究センター 常勤講師 サミュエル・テイラー氏	36人
6月25日(火)	モビリティサービスとまちづくりの今	一般社団法人 EMOBIA 代表理事 浦正勝氏	42人
7月3日(水)	外国人技能実習制度及び特定技能 VISA におけるリスクマネジメントセミナー ～内在するリスクとその対処～	UT グローバル(株) 代表取締役 磯部将樹氏	26人
7月4日(木)	幸せな着ぐるみ工場 ～あたたかいキャラクターを生み続ける女子力の現場～	KIGURUMI.BIZ(株) 代表取締役 加納ひろみ氏	39人
7月9日	Fukuoka WooCommerce Meetup with	PayPal Pte.Ltd.東京支店	13人

(火)	PayPal & Snow Monkey	Channel Partner Manager 田坂佳子氏 WooCommerce コアコントリビューター 田中昌平氏 フリーランス WordPress テーマ プラグインデベロッパー キタジマタカシ氏	
7月16日 (火)	中国経済と米中関係の行方	日本国際問題研究所 客員研究員 津上俊哉氏	36人
7月31日 (水)	ジチタイワークス	(株)リクルートライフスタイル じゃらんリサーチセンター 九州グループマネージャー 小野郁氏 (株)コロプラ インキュベーション本部 おでかけ研究所 事業部長 酒井幸輝氏	34人
8月20日 (火)	職場でも家庭でも使えるアンガーマネジメント	マルプロ 代表 丸山啓太氏	39人
8月27日 (火)	貴重な資源「日本の森」を守るため新しいことに挑む林業経営！	田島山業(株) 代表取締役 田島信太郎氏	32人
9月5日 (木)	持続可能な開発 SDGs と利益の創造と社会への貢献を同時に実現していくためのノウハウ	(株)テーブルクロス 代表取締役 CEO 城宝薫氏	37人
9月17日 (火)	第5回未来会計セミナー ～原価計算をとりいれよう！	IG 会計グループ (株)IG ブレーン 未来会計コンサル 寺下祐介氏	18人
9月20日 (金)	第3弾 わかりやすい！中国越境 EC セミナー中国ネット通販最大の商戦日 独身の日に迫る！ ～中国越境 EC の専門家 橋谷氏が語る リアルな現地情報とその実態	(株)ナセバナル 代表取締役 橋谷亮治氏	7人
10月11日 (金)	第6回未来会計セミナー ～中小建設業の利益改善モデル	(株)IG ブレーン 代表取締役社長 野口雄介氏	10人
10月15日 (火)	地方創生の実現に求められる地域人材“志民”の育成	(一財)日本経済研究所 常務理事 地域未来研究センター長 兼 調査局長 東洋大学大学院 経済学研究科 客員教授 大西達也氏 副都心黒崎開発推進会議 幹事長 池本綾女氏	35人
10月29日 (火)	DESIGN × BUSINESS デザインとビジネス	タカスガクデザイン アンド アソシエイツ (株) 代表取締役 高須学氏	45人
10月30日 (水)	事例で学ぶ！働き方改革セミナー	(株)L is B 代表取締役/CEO 横井太輔氏	12人
11月19日 (火)	大人のこだわり文房具 ～日本初!!のノート専門店ができるまで～	プレイズストア オーナー 高山啓太氏	30人
11月25日 (月)	第1回グローバル人材育成セミナー ～新たな英語研究スタイル“オンライン英会話”	(株)レアジョブ 九州支社 支社長 池川穰司氏 スマートメソッド®コース認定アドバイザー 蒲池琴美氏 西部ガス(株) 人事労政部 人財活性化推進グループ 小川周太郎氏	14人
11月27日 (水)	第7回未来会計セミナー ～資金繰り完全マスター (再)	(株)IG ブレーン 未来会計コンサル 寺下祐介氏	14人
11月27日 (水)	幸福な職場づくり&働き方改革に効く！ ～【不の解消マネジメント】カード体験～	特定非営利活動法人沖縄人材クラスタ研究会 代表理事 白井旬氏	16人
12月17日	IT戦略の作り方、磨き方	ケンブリッジ・テクノロジー・パートナーズ	27人

(火)		(株) アソシエイト・ディレクター 望月秀明氏	
12月19日 (木)	地域産業のイノベーションシステム	中央大学経済学部教授/学部長 山崎朗氏	33人
12月20日 (金)	第8回未来会計セミナー ～ビジネスモデルの作り方	(株)IG プレーン 代表取締役社長 野口雄介氏	16人
12月24日 (火)	第2回グローバル人材育成セミナー ～九州のグローバルソリューション～少し 先の未来～	(株)レアジョブ 九州支社 支社長 池川穰司氏 スマートメソッド®コース認定アドバイザー 蒲池琴美氏 (株)九電ビジネスフロント 取締役 KYUDEN GLOBAL 事業本部長 橋本良幸氏	11人
1月22日 (水)	採用サイトで応募数7倍 ～効果的な自社サイトの活用法～	(株)AliveCast チームマネージャー 伊藤辰彦氏	10人
2月18日 (火)	よなよなエール流 ファンマーケティング 戦略～チームとビールのつくりかた～	(株)ヤッホーブルーイング よなよなビール広め隊 (広報) ユニットディレクター 原謙太郎氏	47人
3月3日 (火) 【中止】	第3回グローバル人材育成セミナー ～TECH 業界のグローバル化～ベトナムで 活躍する日本人～	(株)レアジョブ 九州支社 支社長 池川穰司氏 スマートメソッド®コース認定アドバイザー 蒲池琴美氏 (株)パソナテック アシスタントマネージャー 中野弘基氏 Asian Tech Co., Ltd. プロジェクトマネージャー/ビジネスアナ リスト 久保利彦氏	—
3月6日 (金) 【中止】	専門図書館協議会 九州地区研修会& BIZCOLI コラボセミナー ウィキペディアで学ぶ情報リテラシー～今 さら聞けない、ウィキペディアとは～	ウィキペディア日本語版 元管理者 海瀬氏	—

### ③九州国立博物館応援セミナー（開催4回）

九州国立博物館の特別展の開催にあわせて4回開催した。

日程	テーマ	講師	参加者数
5月16日 (木)	京都 大報恩寺 快慶・定慶のみほとけ	九州国立博物館 展示課長 楠井隆志氏	35人
8月9日 (金)	室町将軍～戦乱と美の足利十五代～	九州国立博物館 展示課 主任研究員 一瀬智氏	30人
10月18日 (金)	三国志	九州国立博物館 企画課主任研究員 川村佳男氏	31人
2月21日 (金)	フランス絵画の精華	九州国立博物館 特任研究員 基信祐爾氏	24人

### ④サイエンス・カフェ（開催9回、中止1回）

サイエンス・カフェは、九州大学が企画して当会が主催する科学者による市民向け勉強会である。大学の若手研究者が多彩なテーマで科学の最前線について話題提供しており、数学や再生可能エネルギー、宇宙線、プラズマ、伝統建築などをテーマとして取り上げ、9回開催した。

日 程	テーマ	講 師	参加者数
4月19日 (金)	数学的に美しい？	九州大学マス・フォア・インダストリ研究所 准教授 富安亮子氏	39人
5月17日 (金)	線香花火の不思議に迫る！	九州大学大学院工学研究院 航空宇宙工学部門 准教授 井上智博氏	36人
6月28日 (金)	再生可能エネルギー量を上げろ！	九州大学大学院工学研究院 機械工学部門助教 立川雄也氏	35人
8月2日 (金)	透視はもはや超能力ではない！？	九州大学大学院総合理工学研究院 エネルギー科学部門 准教授 金政浩氏	32人
9月6日 (金)	光の可能性に迫る！	九州大学カーボンニュートラル・エネルギー 国際研究所 准教授 高橋幸奈氏	39人
10月25日 (金)	プラズマプロセス技術に迫る！	九州大学大学院システム情報科学研究員 助教 鎌滝晋礼氏	28人
11月22日 (金)	つぶつぶの物理に迫る！	九州大学大学院理学研究院物理学部門 准教授 稲垣紫緒氏	25人
12月13日 (金)	宇宙の謎にみんなで迫る！	高エネルギー加速器研究機構 素粒子原子核研究所 助教 上野一樹氏 高エネルギー加速器研究機構 広報室 科学コミュニケーター 高橋奨太氏	25人
1月24日 (金)	ニマラタンの謎に迫る！	京都大学防災研究所気象水象災害研究部門 准教授 西嶋一欽氏	22人
3月13日 (金) 【中止】	ブラックホールの謎に迫る！	九州大学大学院理学研究院物理学部門 助教 町田真美氏	—

#### ⑤BIZCOLI 倶楽部 （開催 2 回）

BIZCOLI 倶楽部は、教養を深める少人数セミナーとして平成 27 年度に開始した。令和元年度は、令和ゆかりの地である太宰府をテーマに開催した。

日 程	テーマ	講 師	参加者数
9月10日(火)	令和と万葉集、そして太宰府	奈良大学 教授 上野誠氏	9人
1月21日(火)	太宰府学事始め	太宰府天満宮 権宮司 味酒安則氏	10人

#### ⑥文化アートイベント（開催 1 回）

文化セミナーはアートと地域づくりに関するテーマで開催している。今回は「博多の仙厓さん」として武士や庶民に慕われた仙厓義梵をテーマに開催した。

日 程	テーマ	講 師	参加者数
9月12日(木)	仙厓さんの禅画で笑おう	福岡市美術館 館長 中山喜一朗氏	25人

#### ⑦ビッグデータセミナー（開催1回、延期1回）

AIやビッグデータの活用を促進するため、情報提供のためのセミナーを開催しており、先進的な活用事例や、データストアとしてのクラウド基盤、BIツールなどを用いた可視化・活用技術など実践的な内容の情報提供を行なっている。令和元年度は、地理情報の活用をテーマに1回開催した。

日 程	テーマ	講 師	参加者数
7月18日(木)	地図による可視化と位置情報活用	小柳研究主査	18人
2月25日(火) 【延期】	Twitterデータによる空間分析	渡辺研究員	—

#### 4. 経済図書館（BIZCOLI）事業

BIZCOLIは、「九州における知の集積・交流・創造拠点」をコンセプトに、“知”を活用する人が集まる空間づくりに努めている。知の集積拠点としては、業界専門書籍やマーケティング関連書籍の充実を図り、新聞記事等のインターネットによる検索サービスを提供している。知の交流拠点としては、セミナーやイベントを開催して、人が集まり、知的刺激を受ける場を提供している。知の創造拠点としては、企業との共同展示を通じて、アイデアの創出や発想の転換を促進している。

また、ビジネスに集中できるマイデスクゾーン（個室）を提供しており、企画書作成や自己研鑽の空間として活用されている。

##### （1）地域経済図書館としてのサービス

###### 1) BIZCOLIの利用状況

令和元年度の利用者数は、年間ではじめて2万人の大台を超え、20,544人となった。前年度を2,083人上回り、対前年度比11%増となっている。知名度の向上やセミナー等の定期開催、広報にも努めたため、利用者数は着実に増加している。なお、年度末には、新型コロナウイルスの影響で、2月の利用者が大きく減少したものの、各種の安全対策に努め、安心してご利用いただけるとの信任を得たことと、リモートワーク推進の場としての活用が進んだことから、3月の利用者は対前年を上回った。

##### BIZCOLI 利用者数

年 度	利用者数	年 度	利用者数
平成24年度	8,044人	平成28年度	16,984人
平成25年度	12,238人	平成29年度	16,743人
平成26年度	13,479人	平成30年度	18,461人
平成27年度	15,486人	令和元年度	20,544人

## 2) 企業・団体との共同展示

BIZCOLI では、書籍や資料のほか、地域内のプロジェクト、企業の新製品・新サービス、話題のグッズなどを展示することで、豊かな発想につながる仕掛けづくりに努めている。令和元年度は 27 件の行政や企業、団体等と連携して、常設展示、企画展示を行った。

### ①常設展示

企業・団体名	展示物など
大分県	県作成のパンフレット、関連統計書など
沖縄県	県作成のパンフレット、関連統計書など
鹿児島県	県作成のパンフレット、関連統計書など
ギャラリー風	絵画の提供
九州エネルギー問題懇話会	書籍、資料の提供
(一社)九州観光推進機構	写真、資料の提供
(一社)九州経済連合会	写真、資料の提供
九州防衛局	防衛白書、地図、スクランブル発信数のグラフなど
熊本県	県作成のパンフレット、関連統計書など
熊本市	政令市作成のパンフレット、関連統計書など
佐賀県	県作成のパンフレット、関連統計書など
(株)ゼンリン	交流ラウンジの地図
DRATION	ドローンの提供
長崎県	県作成のパンフレット、関連統計書など
福岡県	県作成のパンフレット、関連統計書など
福岡財務支局	「九州の未来力」関係資料
福岡市	県作成のパンフレット、関連統計書など
みぞえ画廊	絵画の提供
宮崎県	県作成のパンフレット、関連統計書など
(株)安川電機	双腕ロボットの模型
山口県	県作成のパンフレット、関連統計書など

### ②企画展示

企業・団体名	展示物など
(一社)九州経済連合会	写真、資料の提供
田島山業(株)	同社PR映像の上映
日本航空(株)	エアバス A350 ファーストクラス・シート展示
(株)野村総合研究所	パネル「未来年表 2019-2100」の展示
(株)ヤッホーブルーイング	同社商品と経営セミナー資料、星野レポートの関連書籍の展示
国連 WFP 協会	レッドカップキャンペーン関連資料の展示 (SDG s)

## (2) 講演会・セミナー会場の運営

BIZCOLI ではミーティングルームの提供を行っている。令和元年度は 232 件の利用があり、収益額は対前年比マイナス 8%の 202 万 3 千円だった。1 月までは順調に推移していたが、新型コロナウイルスの影響で 2 月と 3 月が伸び悩んだ。

### (3) スキルアップのための個室空間の提供

BIZCOLI では、ビジネスに関する企画や自己研鑽のために更に集中できる空間として、マイデスクゾーン（個室）を提供している。令和元年度は、延べ 2,881 時間の利用があり、収益額は対前年度比 13%増の 28 万 8 千円だった。

## 5. 経済団体等支援事業

### (1) 福岡経済同友会からの事務局受託

会員数 505名（3月末現在）

#### 令和元年度の主な活動（福岡経済同友会／九州経済同友会）

福岡経済同友会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 通常総会、正副代表幹事会、常任幹事会、幹事会の開催</li> <li>・ 例会の開催</li> <li>・ 筑豊地域委員会での意見書の発表、提出</li> <li>・ 県立高等学校、市立中学校への出前講座の開催</li> <li>・ その他、11委員会において講演会、視察会等を開催</li> <li>・ 全国経済同友会への参加</li> </ul>
九州経済同友会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 代表幹事会</li> <li>・ 企画委員会</li> <li>・ 会員合同懇談会</li> <li>・ 九州はひとつ委員会</li> <li>・ 九州地域戦略会議、同幹事会への参加</li> <li>・ 九州経済を考える懇談会</li> <li>・ 西日本経済同友会 代表者会議に参加</li> </ul>

\*上記を含む総会合数 146 回（うち共催・後援 25 回）。新型コロナウイルスによる中止 17 回

### (2) 九州経済を考える懇談会の共同事務局

九州を代表する経済団体のトップが、九州経済の現状・将来動向に関する重要課題について、認識の共有と課題解決の方向性について議論するものである。平成 22 年度に「地域経営を考える政策懇談会」として開始され、平成 25 年 1 月から現在の名称に変更した。（一社）九州経済連合会、（一財）九州地域産業活性化センター、（公財）九州経済調査協会の三者が共同事務局を組織して運営しており、当会理事長がコーディネーターを務めている。令和元年度は次の通り 3 回開催した。

#### 令和元年度の主な活動

No	日時・場所	討議テーマ	参加者
第 1 回	10 月 2 日 (水) 当会会議室	1) 九州における人口減少・少子化対策のあり方、提言実践としての「出会い場づくり」について 2) 「福岡空港の取組み」について	(一社)九州経済連合会 会長 麻生泰氏 (座長) (一財)九州地域産業活性化センター 会長 麻生渡氏 九州商工会議所連合会 会長 藤永憲一氏 九州経済同友会 代表幹事 貫正義氏 九州経営者協会 会長 竹島和幸氏 (公財)九州経済調査協会 理事長 高木直人(コーディネーター)
第 2 回	1 月 30 日 (木)	1) 「九州プロモーションセンター in ハノイの設立」について	(一社)九州経済連合会 会長 麻生泰氏 (座長) (一財)九州地域産業活性化センター 会長 麻生渡氏

	当国会議室	2) 「外国人労働者の受入れ状況と対策」について	九州商工会議所連合会 会長 藤永憲一氏 九州経済同友会 代表幹事 貫正義氏 九州経営者協会 会長 竹島和幸氏 (公財)九州経済調査協会 理事長 高木直人(コーディネーター)
第3回	3月6日 (金) 九経連 会議室	1) 「食産業の振興」について 2) 「30年後に向けた九州地域発展戦略」について	(一社)九州経済連合会 会長 麻生泰氏(座長) (一財)九州地域産業活性化センター 会長 麻生渡氏 九州商工会議所連合会 会長 藤永憲一氏 九州経済同友会 代表幹事 貫正義氏 九州経営者協会 会長 竹島和幸氏 (公財)九州経済調査協会 理事長 高木直人(コーディネーター)

### (3) 地域政策デザイナー養成講座の事務局

「地域政策デザイナー養成講座」(理事長：安浦寛人 九州大学 理事・副学長)は、地域の具体的な課題を把握し、国内外の情勢や近未来をとらえた広い視野で、地域像をデザイン、政策立案できる人材を「官」「民」を問わず育て、九州地域の発展に貢献することを目的に、平成22年度から開始した九州大学のセミナーである。九州大学、(一社)九州経済連合会、(一財)九州地域産業活性化センター、(株)西日本新聞社、そして当会が実行委員会メンバーとなっている。

令和元年度は61名(受講生35名、聴講生26名)が受講した。9月末までに11回の授業を実施し、11月には研究発表会を開催した。

#### 令和元年度 地域政策デザイナー養成講座 講師一覧

氏名(敬称略)	所 属
安浦 寛人	九州大学 理事・副学長
石丸 修平	福岡地域戦略推進協議会 事務局長/九州大学 客員准教授
村岡 浩司	(株)一平ホールディングス 代表取締役社長
星野 幸代	国際連合人間居住計画(ハビタット)福岡本部 本部長補佐官
原口 悠	特定非営利活動法人ドットファイブトーキョー 代表理事
木藤 亮太	(株)油津応援団 専務取締役/(株)ホーホウ 代表取締役
天野 宏欣	Local Knowledge Platform 合同会社 代表社員
麻生 泰	(一社)九州経済連合会 会長

## 6. 社会貢献活動等

社会貢献活動として、行政や経済団体等への委員派遣、大学への非常勤講師の派遣、テレビ・ラジオへの出演、新聞・雑誌への取材対応と掲載、雑誌等への寄稿等を行った。なお、外部主催の講演会への講師派遣、セミナー等への参加・企画協力については、巻末に掲載している。

## 対外活動実績（令和元年度）

区 分	内 容	件数等
（１）行政機関・経済団体等が開催する各種審議会・委員会への委員派遣	<p>【行政】</p> 九州経済産業局、九州管区行政評価局、福岡県、福岡県立図書館、長崎県、熊本県、北九州市、福岡市、久留米市、行橋市、糸島市	就任件数 計 26 件
	<p>【団体】</p> （一財）九州産業技術センター、（公財）福岡アジア都市研究所、（公財）日本生産性本部、（独法）経済産業研究所、九州環境エネルギー産業推進機構(K-RIP)、（公財）福岡県リサイクル総合研究事業化センター、（公財）福岡県産業・科学技術振興財団、（公財）経営者顕彰財団、福岡アジア高齢社会デザイン協議会、九州版炭素マイレージ制度推進協議会	
（２）大学への非常勤講師の派遣	福岡大学、九州産業大学、西南学院大学 ＊ 1 コマの派遣は含まず	計 3 大学 3 講座
（３）テレビ・ラジオ等への出演	NHK 福岡「ロクいち！福岡」、NHK 熊本、KBC「シリタカ!」、RKB「今日感テレビ」、FBS「めんたい Plus」、TNC「ももち浜ストア」、「ももち浜 S 特報ライブ」、「CUBE」、TVQ「ぐっ！ジョブ」、「ふくおかサテライト」、南海放送（愛媛県）	延 34 回
（４）新聞・雑誌等への寄稿・コメント掲載	西日本新聞、日本経済新聞、朝日新聞、読売新聞、佐賀新聞、長崎新聞、熊本日日新聞、大分合同新聞、宮崎日日新聞、南日本新聞、建設通信新聞、鹿児島建設新聞、琉球新報、沖縄八重山日報、八重山毎日新聞、糸島新聞、日本食糧新聞、日本経済新聞電子版ニュース、日刊建設工業新聞、商業施設新聞、日本海事新聞、電子デバイス産業新聞、ビジネスレイバートレンド、週刊金融財政事情、フクリパ、ニッキン、日経 MJ、ディスクロージャー	延 202 件

## 7. 運営基盤の拡充

### （１）会員数の増加

#### ①賛助会員

BIZCOLI や研究成果の活用、講演会、講師派遣、研究員のネットワークなどを通じて、全職員一丸となって会員拡大に努めている。令和元年度の入会は前年度 38 件を下回る 30 件であった。また、退会は 33 件となり、期首 593 会員から 3 会員純減して 590 会員となった。1 月末から年度末にかけて、新型コロナウイルスの影響で、新規の入会交渉と、退会申出企業に対する継続交渉を行いにくい状況になったことが響いた。

なお、会員数は減少したものの、普通会员から維持会員への変更等により、会費実勢額は前年度を上回る 1 億 2,796 万円となった。

## 賛助会員の動向

	合 計				
	維持会員	普通会員	個人会員	町村会員	
令和元年度期首	593	74	499	18	2
入 会	30	0	30	0	0
退 会	33	0	32	1	0
増 減	-3	0	-2	-1	0
会員種別変更	1	1	-1	0	0
令和元年度末	590	75	496	17	2

- ・平成 27 年度末 会員数 576 会員 ・会費実勢額 1 億 2,648 万円
- ・平成 28 年度末 会員数 574 会員 ・会費実勢額 1 億 2,574 万円
- ・平成 29 年度末 会員数 581 会員 ・会費実勢額 1 億 2,625 万円
- ・平成 30 年度末 会員数 593 会員 ・会費実勢額 1 億 2,791 万円
- ・令和元年度末 会員数 590 会員 ・会費実勢額 1 億 2,796 万円

## ②BIZCOLI 会員

令和元年度は、期首 99 会員から 2 会員純増して 101 会員となった。会費実勢額（月会費×12 カ月）は、令和元年度末で 754 万円となった。

### BIZCOLI 会員の内訳（101 会員）

種 別	会員数	種 別	会員数
フルタイム	4	フルタイム+土曜日	5
デイトタイム	13	デイトタイム+土曜日	2
ナイトタイム	51	ナイトタイム+土曜日	16
土曜日	10	合 計	101

## （2）理事会、評議員会、幹事会、企画委員会、参与会の開催

公益財団法人に移行して 7 年目を迎え、理事会、評議員会の決議の下、適正な組織運営を行っている。また、幹事会や参与会を定例化して、公益財団としての組織力を強化している。

令和元年度は理事会を 6 回、評議員会を 3 回開催した他、幹事会を 2 回、企画委員会を 1 回開催した。幹事会提案による自主研究報告会「Society5.0 による地方創生～社会課題の解決を目指す九州企業」を 7 月に開催した。参与会については、新型コロナウイルス感染拡大防止のために延期とした。

## ①理事会の開催状況

開催日	開催理事会	議 案 等
5 月 15 日 (水)	第 31 回理事会	<b>【決議事項】</b> 第 1 号議案 平成 30 年度事業報告（案）について 第 2 号議案 平成 30 年度決算（案）について 第 3 号議案 幹事の選任について 第 4 号議案 参与の委嘱について

		第5号議案 評議員会の招集について 【報告事項】 第1項 代表理事及び常務理事の職務執行状況の報告 第2項 その他
5月31日 (金)	第32回理事会 (書面)	【決議事項】 第1号議案 代表理事・会長の選定について 第2号議案 代表理事・理事長の選定について 第3号議案 業務執行理事の選定について 第4号議案 役員報酬について 第5号議案 幹事の選任について
7月22日 (月)	第33回理事会 (書面)	【決議事項】 第1号議案 幹事の選任について 第2号議案 参与の委嘱について 第3号議案 九経調地域研究助成・顕彰事業 助成先の決定について
10月18日 (金)	第34回理事会	【決議事項】 第1号議案 令和元年度更正予算(案)について 第2号議案 幹事の選任について 第3号議案 参与の委嘱について 第4号議案 評議員会の招集について 【報告事項】 第1項 令和元年度上期事業報告について 第2項 代表理事及び常務理事の職務執行状況の報告 第3項 幹事会の開催について 第4項 企画委員会の開催について 第5項 その他
1月24日 (金)	第35回理事会 (書面)	【決議事項】 第1号議案 参与の委嘱について
3月2日 (月)	第36回理事会	【決議事項】 第1号議案 令和2年度事業計画(案)について 第2号議案 令和2年度予算(案)について 第3号議案 内閣府への定期提出書類について 第4号議案 顧問、参与の委嘱について 第5号議案 評議員会の招集について 第6号議案 九経調地域研究助成・顕彰事業顕彰作品の選定について 【報告事項】 第1項 創立70周年記念事業の進捗について 第2項 その他

## ②評議員会の開催状況

開催日	開催評議員会	議案等
5月31日 (金)	第22回評議員会	【決議事項】 第1号議案 平成30年度事業報告(案)について 第2号議案 平成30年度決算(案)について 第3号議案 評議員の選任について 第4号議案 評議員会議長の選任について 第5号議案 理事の選任について 【報告事項】 第1項 その他
11月11日 (月)	第23回評議員会	【報告事項】 第1項 令和元年度上期事業報告について

		第2項 令和元年度更正予算について 第3項 幹事の選任について 第4項 参与の委嘱について 第5項 幹事会の開催について 第6項 企画委員会の開催について 第7項 その他
3月17日 (火)	第24回評議員会 (書面)	<b>【報告事項】</b> 第1項 令和2年度事業計画について 第2項 令和2年度予算について 第3項 顧問、参与の委嘱について 第4項 九経調地域研究助成・顕彰事業 顕彰作品の選定について 第5項 創立70周年記念事業の進捗について 第6項 その他

### ③幹事会の開催状況

開催日	開催幹事会	議案等
6月21日 (金)	第10回幹事会 (書面)	1 幹事会議長、副議長の選任について
2月13日 (木)	第11回幹事会	1 新幹事の紹介 2 令和元年度幹事会からの提案による自主研究の中間報告 3 令和2年度幹事会からの提案による自主研究のテーマ選定 4 その他

### ④企画委員会の開催状況

開催日	開催企画委員会	議案等
12月13日 (金)	企画委員会	1 令和元年度自主研究の中間報告 2 令和2年度自主研究について 3 その他

### ⑤参与会の開催状況

開催日	開催参与会	議案等
3月4日 (水) 【延期】	第10回参与会	1 2020年版九州経済白書について 2 その他

### (3) 人材育成の強化

当会では、研究員の資質向上に取り組み、専門分野に偏らない、新しい分野への知見の蓄積を進めている。また、国内・海外を問わず外部との交流を積極的に行うことで、各研究員がネットワークを広げることを重視している。

令和元年度は、前年度に続いて新卒社員を採用したことから、若手研究員の育成に力を入れた。(株)日本経済研究所主催の地域シンクタンク研修等への参加や、産業技術に関する知見の涵養、人脈構築、中国事情の情報収集のため、中国で開催された第18回環黄海経済・技術交流会議へ派遣した。

(参考)

## 1. 外部主催の講演会への講師派遣（計 58 件）

調査研究業務を通じて蓄積した知見は、地域貢献の一環として幅広く公開している。その手段の一つとして、会員をはじめとする外部からの依頼に応え、当会から講師を派遣した。

### 講師派遣一覧

月 日	依頼先	会合名・タイトル等	講演者	参加者数
4月16日 (火)	(株)サワライズ	社内研修会「九州の経済動向及び福岡市情勢について」	小柳研究主査	15人
4月17日 (水)	一八会・さかえ会	一八会・さかえ会「今後の日本・九州経済」	小柳研究主査	40人
4月18日 (木)	三菱電機(株)九州支社	経営方針説明会「九州経済の短・中期見通し」	小柳研究主査	65人
4月18日 (木)	(一社)太陽光発電協会	公共産業部会「九州における太陽光発電所O&Mとセカンダリマーケットの関係」	藤井次長	80人
5月10日 (金)	(公社)日本証券アナリスト協会	日本証券アナリスト協会 例会	片山部長	20人
5月14日 (火)	九州電力(株)東京支社	九州経済講演会「スポーツの成長産業化と九州経済」	大谷次長	55人
5月20日 (月)	(公財)福岡観光コンベンションビューロー	在日フランス商工会議所フランス・福岡(九州)経済フォーラム	大谷次長	80人
5月23日 (木)	北海道新幹線建設促進期成会	第4回北海道新幹線札幌開業を見据えた研究会「人口減少下での新幹線開業とまちづくり・地域交通」	大谷次長	30人
5月29日 (水)	福岡ロータリークラブ	福岡ロータリークラブ例会「スポーツの成長産業化と九州経済」	大谷次長	90人
5月31日 (金)	福岡県高等学校地理研究会	福岡県高等学校地理研究会 福岡地区総会	渡辺研究員	22人
6月20日 (木)	地方シンクタンク協議会	九州地区交流会「地方創生とEBPMに寄与するビッグデータ時代の新たな情報サービスづくりへの挑戦」	岡野部長	13人
6月22日 (土)	日本観光研究学会	九州・韓国南部支部 研究会「九州における訪日外国人の消費動向調査」/「欧米豪をターゲットとした九州観光関心度等の基礎調査」	島田主任研究員、 竹下研究員	30人
7月4日 (木)	福岡市	日本海側航路シンポジウム in 福岡「博多・敦賀航路のPR」	岡野部長	250人
7月13日 (土)	長崎大学工学研究院	社会人向け先端IT特別講座「ビッグデータ活用ビジネスと九経調ー長崎大学共同研究の内容」	片山部長	50人
7月13日 (土)	九州女子大学	図書館司書希望者へのBIZCOLI案内	岡野部長	24人
7月24日 (水)	三井物産アグロビジネス(株)	第28回九州三井アグロ会講演会 二部「九州スマート農業の未来」	中川主任研究員	50人
7月24日 (水)	(株)福岡リアルティ	福岡市の商業、インバウンド、ホテルを取り巻く環境について	片山部長	60人
7月25日 (木)	福岡県	九州・山口各県合同職員研修会「地域課題解決に向けたIoT技術の活用について～IoTによるビジネス展開と地域活性化～」	岡野部長	50人
7月26日 (金)	北恵(株)	キタケイビルダーズフェア「地方中核都市の創生と再構築」	岡野部長	100人
7月31日 (水)	(一社)九州経済連合会	東九州軸推進機構第29回総会「道を生かす～九州の道路ストック活用調査～」	藤井次長	170人
8月3日	長崎県佐々町	BIZCOLI視察「人がつながる、アイデアが生まれ	岡野部長	12人

(土)		る会員制ライブラリー-BIZCOLI の挑戦		
8月7日 (水)	福岡県	九州地域戦略会議第16回夏季セミナー第1分科会「新たな外国人材の受入れに係る現状と課題」	大谷次長	40人
8月8日 (木)	九州大学学術研究都市推進機構	伊都キャンパス農場フォーラム「オンキャンパス農場と地域社会との連携を考える」	岡野部長	270人
8月8日 (木)	NECソリューションイノベータ㈱	共創推進 Day アイデアソン「九州経済の現状と課題」	岡野部長	60人
8月24日 (土)	日本経営診断学会九州部会	日本経営診断学会九州部会「九州地域における外国人労働者の動向」	大谷次長	15人
9月12日 (木)	エア・ウォーター・マテリアル㈱	インテグリス製品勉強会「九州の景気と半導体関連の動向」	小柳研究主査	23人
9月18日 (水)	九州地方整備局	福岡都市圏の未来の交通インフラを考えるシンポジウム	岡野部長	581人
9月25日 (水)	九州経済産業局	九州地域再生可能エネルギー連絡会議「求められる太陽光発電所のO&Mとセカンダリマーケットの成熟」	藤井次長	50人
10月15日 (火)	全九州リネンサプライ協議会	勉強会	小柳研究主査	80人
10月18日 (金)	福岡東南ロータリークラブ	福岡東南ロータリークラブ例会「スポーツの成長産業化と九州経済」	大谷次長	50人
10月21日 (月)	福岡大学	ベンチャー企業論	藤井次長	50人
11月7日 (木)	九州運輸局	地域公共交通のあり方を考えるシンポジウム in 九州	大谷次長	200人
11月12日 (火)	福岡県、九州大学科学技術イノベーション政策教育研究センター	データ分析・利活用による政策立案(EBPM)推進事業「人口減少社会を迎える2040年の九州を考える」	片山部長	100人
11月14日 (木)	専門図書館協議会	図書館総合展「あなたも使える専門図書館～BIZCOLI」	平田次長	90人
11月16日 (土)	九州・沖縄不動産鑑定士協会連合会	九州・沖縄不動産鑑定士協会連合会研修会	片山部長	270人
11月21日 (木)	九州ビルディング協会	九州ビルディング協会 11月例会	小柳研究主査	50人
11月21日 (木)	福岡県みやこ町	みやこ町企業連絡協議会「Society5.0による地方創生」	藤井次長	30人
11月22日 (金)	(公財)福岡アジア都市研究所	URC都市セミナー「都市のアップデート戦略～クリエイティブな都市へ向けて」	岡野部長	99人
11月26日 (火)	三菱電機㈱九州支社	三菱電機グループセミナー2019in長崎 感謝の集い	小柳研究主査	60人
11月29日 (金)	北九州市立大学	環境都市論	松嶋主任研究員	80人
12月3日 (火)	気象庁	気象ビジネスコンソーシアム	松嶋主任研究員	60人
12月5日 (木)	(一社)九州経済連合会	第1回資源エネルギー・環境委員会	藤井次長	68人
12月11日 (水)	(公財)長崎県産業振興財団	第128回エコ塾in長崎 脱炭素社会実現に向けた環境エネルギービジネスと九州の未来	藤井次長	80人
12月26日 (木)	(一社)九州経済連合会	事務局員勉強会	小柳研究主査	50人
1月20日 (月)	九州地方整備局	国土と地域の将来像に関する有識者セミナー	岡野部長	40人
1月20日 (月)	㈱福岡銀行	九州の経済動向について	片山部長	50人
1月21日 (火)	福岡県警察本部	地方IoTビジネス創出事業 福岡県IoT推進ラボ「30年後に向けた九州地域発展戦略」	片山部長	85人
1月22日	福岡ロータリークラブ	直近の経済動向と2020年度九州経済見通し	岡野部長	100人

(水)				人
1月23日 (木)	嘉麻福友会	セミナー・新年会「2020年度九州経済の見通し」	小柳研究主査	25人
1月27日 (月)	福岡銀行/西鉄/西日本新聞	朝ラボ「30年後に向けた九州地域発展戦略」	片山部長	14人
1月29日 (水)	(一社)九州経済連合会	女性の会「30年後に向けた九州地域発展戦略」	片山部長	10人
1月29日 (水)	専修大学	研究会「九州経済の概況について」	島田主任研究員	15人
1月31日 (金)	九州各県議会議長会(大分県議会議務局)	九州各県議会議員交流セミナー「スポーツの成長産業化と九州創生」	大谷次長	150人
2月6日 (木)	(株)福岡リアルティ	福岡・九州経済における韓国人観光客減少の影響	片山部長	60人
2月6日 (木)	伊万里市	アジアとともに成長する九州の経済と産業	岡野部長	50人
2月12日 (水)	東京大学地域未来社会連携研究機構	九州地域経済分析プラットフォーム(DATASALAD)による地方創生への挑戦	岡野部長	60人
2月12日 (水)	(株)佐賀銀行	2020年度九州経済見通し	松嶋主任研究員	50人
2月21日 (金)	(株)九州経済研究所	K-Biz セミナー「30年後に向けた九州地域発展戦略」	片山部長	8人

## 2. セミナー等への参加・企画協力(計9件)

産学官が主催し、当会が賛同するセミナーについては、告知や集客、BIZCOLIの会議室提供などで協力した。

### 協力実績

日程・場所	主催者	会合名	備考
4月6日(土) 電気ビル共創館	国連経済社会理事会特別諮問非政府機関 アライアンス・フォーラム財団	原丈人氏提唱・公益資本主義についての勉強会	後援
6月1日(土) ～3月14日(土)	SDGs Design International Awards 2019	九州大学大学院芸術工学研究院 SDGs デザインユニット、九州大学未来デザイン学センター	後援
6月2日(日) The Company 中洲川端	福岡地域戦略推進協議会 (株)chaintope	地方創生トークンサミット 2019	後援
6月17日(月) TKP ガーデンシティ天神	(一社)九州ニュービジネス協議会	第143回ベンチャープラザ二月会	後援
8月1日(木) 福岡アジア美術館	(公財)福岡アジア都市研究所	変貌する中国の大都市～上海市・広州市の最新情報を中心にレポート～	後援
8月7日(水) 福岡サンパレス	(公財)福岡県産業・科学技術振興財団(ふくおかIST)	ふくおか CASE カーエレ開発アライアンス発足記念講演会	後援
8月8日(木) 九州大学伊都キャンパス	九州大学大学院農学研究院、アグリコロボいとしま、(公財)九州大学学術研究都市推進機構	伊都キャンパス農場フォーラム～地域・アジアに開かれた未来志向のオンキャンパス農場を共創する	後援
10月31日(木) アクロス福岡	九州経済産業局	九州SDGs経営推進セミナー～SDGsを原動力とした企業経営・自治体経営～	運営支援
1月21日(火) 北九州国際会議場 1月22日(水) 安川電機本社	九州経済産業局、北九州市、(公財)北九州産業学術推進機構、(一社)日本ロボット工業会 FA・ロボットシステムインテグレーション協会、(株)安川電機	ロボット活用・導入実践フォーラム「九州SIerDAYS」	後援